



小さなBikeの大きなお祭り
2019誰でもエンジョイ耐久

DE耐!

参加の手引き&特別規則書

ちょっと **DE耐!** 3時間30分耐久

7.13 SAT

誰でもエンジョイ耐久

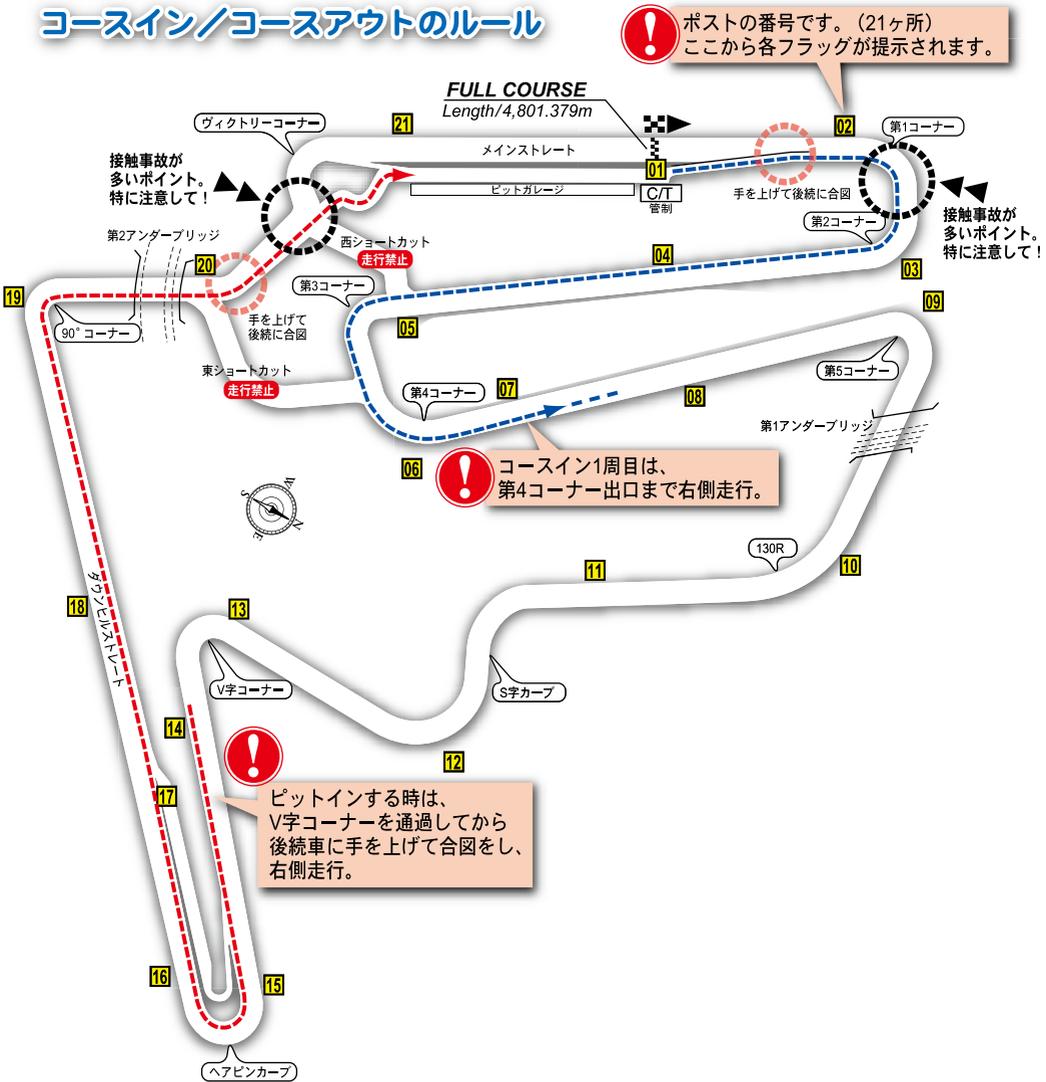
DE耐! 7時間耐久

11.9 SAT / 10 SUN

ROAD COURSE

ロードコース

コースイン/コースアウトのルール



小さなバイクの大きなお祭り 2019 暫定

暫定

誰でもエンジョイ耐久 “D.E.耐!” 暫定タイムスケジュール

5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21

11/8<金>		関係者ゲートオープン 5:00					観客ゲートオープン 8:00				
バス走行 走行券販売 参加受付	15 30	15 30	00 00	00 00	30 30	30 30	赤旗中断による走行時間の延長は基本的にはございませんので予めご了承下さい。				
走行前ブリーフィング ビデオ講習 特別スポーツ走行	15 30 45 25	15 30 45 25	00 00 15 15	00 00 15 15	15 15 30 30	15 15 30 30	参加受付の会場はブリーフィングルームです				
装備品チェック (45番ピット)	特別スポーツ走行する方は7分間のビデオ講習受講必要	特別スポーツ走行にご参加の方はピットレーンにお集まりください。	30 30	30 30	00 00	00 00	日曜日参加チームは、17:00までに第1パドックから車両・荷物を退出してください。土曜参加チームの決勝準備のためご協力をお願いします。				
公式車検 (43~44番ピット)			30 30	30 30	00 00	00 00					

11/9<土>		関係者ゲートオープン 4:00					観客ゲートオープン 8:00					
参加受付 コントロールタワー1F ブリーフィングルーム	45 15	45 15					00 30	日曜日参加者 参加受付				
公式車検 装備品チェック (43~45番ピット)	00 45	00 45					15 15	日曜日参加者 車検&装備品チェック				
スタート前チェック (燃料補給エリア)	00 45	00 45						<p>◆燃料タンクを外して、空にした状態で車両と共に持ち込んで下さい。</p> <p>◆公式車検を事前に受けている場合には、燃料補給のみこの時間帯に行ってください。</p>				
ブリーフィング (ホームストレート)		00 40						<p>装備品と車両の検査になります。ライダーが全員揃っていても受けられません。人数分の装備品をお持ち下さい。(搬入車両は第2パドックに駐車してください。)</p>				
スタート進行			00					<p>日曜日参加チームは16:30から第1パドックに車両を入れることができます。</p>				
ファイナルイベント			30					<p>大型車両搬入可</p>				
フィナーレセレモニー							30	<p>土曜参加チームはフィナーレセレモニー終了後、速やかにパドックより撤収してください。車輛保管は正式結果発表と同時に解除となります。日曜チームのパドックオープンは16:30~20:30までです。</p>				

11/10<日>		関係者ゲートオープン 4:00					観客ゲートオープン 8:00					
参加受付 コントロールタワー1F ブリーフィングルーム	45 15	45 15										
公式車検 装備品チェック (43~45番ピット)	00 45	00 45										
スタート前チェック (燃料補給エリア)	00 45	00 45						<p>◆燃料タンクを外して、空にした状態で車両と共に持ち込んで下さい。</p> <p>◆燃料補給のみこの時間帯に行ってください。</p>				
ブリーフィング (ホームストレート)		00 40						<p>第2パドック側のゲートよりピットレーンに進入可。</p>				
スタート進行			00					<p>大型車両搬入可</p>				
ファイナルイベント			30									
フィナーレセレモニー							30	<p>フィナーレセレモニー終了後、速やかにパドックから撤収してください。車輛保管は正式結果発表と同時に解除となります。</p>				

5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21

*この暫定タイムスケジュールは、あくまでも目安となります。

2019 暫定

ちょっと“DE耐!” 暫定タイムスケジュール

6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17

7/12(金) 関係者ゲートオープン 5:00		7/12(金)より指定ピットボックスの利用できません											
参加者専用スポーツ走行		★ 特スポ プリーフィング ピットレーン		01 AGr.	02 BGr.		01 AGr.	02 BGr.	★ 特スポ プリーフィング ピットレーン		01 AGr.	02 BGr.	
参加受付 (タワー1Fフリーフィングルーム)	有料：3,300円/30分 走行券販売：7:30～(タワー1F受付)								15 AGr.	45 BGr.		40 AGr.	40 BGr.
公式車検 (43～44番ピット)									公式車検 ※DE 耐全クラス				
装備品検査 (45番ピット)	土曜日グループ分け略称 AGr.: DE耐!・NSF100 BGr.: GROM・GROM Cup・KSR110・Z125PROクラス・エンジョイクラス										装備品検査 ※DE 耐全クラス		

7/13(土) 関係者ゲートオープン 5:00														
安全運転座学 (プリーフィングルーム)	安全運転座学													
参加受付 (タワー1Fインタビュールーム)	参加受付													
公式車検 (43～44番ピット)	公式車検													
装備品検査 (45番ピット)	装備品検査													
スタート前チェック 車検場(43-44番ピット)にて	スタート前チェック													
プリーフィング (ホームストレート)	プリーフィング													
スタート進行	スタート進行													
ファイナルイベント	ちょっとDE耐! 決勝													
暫定表彰式												表彰式		

6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17

※この暫定タイムスケジュールは、あくまでも目安となります。

DE耐！イベント趣旨

誰でもエンジョイ耐久“DE耐！”は「単に勝敗を競うのではなく、みんなでBIKEを楽しもう！」を合い言葉に、モーターサイクルスポーツファンの皆様に、ご家族やお友達と共にBIKEでサーキットを走ることを楽しんでいただきたいという願いを込めて開催しているイベントです。

サーキット走行の経験が無い方でも安価で気軽に参加できるサーキット走行の入口として 2003年から開催し続けております。参加するライダーは毎年半数以上のライダーが初めてサーキットを走行する方です。

ツインリンクもてぎは“DE耐！”を参加型モータースポーツの入り口として長期的に育て、初心者の方にもお楽しみいただけるように、より多くの皆様にモーターサイクルスポーツを楽しんでいただけるイベントを目指します。

ツインリンクもてぎ
“DE耐！” 大会事務局

《昨年度からの主な変更点》

【講習の名称変更】

『安全運転講習』⇒『ビデオ講習』、『DE耐！講習会』⇒『安全運転座学』となります。

【ライダー参加の走行条件・DE耐！講習の参加義務の条件】

前々度の走行実績があれば走行条件クリアとなっておりますが、前年度の走行実績で免除へ変更となります。

北ショートコース選手権の走行実績が除外となります。

【ライダー装備の更新】

60歳以上のライダーはエアバッグの装着を特に推奨します。2020年より義務予定。

脊柱プロテクションの外側は硬質の樹脂製素材になります。

【レバーガード】

レバーガードの装着を推奨します。取り付け時のレバーガードの装着方法を掲載しています。

【オイルクーラーの固定方法】

DE耐！クラスのみで使用できるオイルクーラーのホース取り付けは、バンド固定は禁止となります。

【NSF100マフラー】

告知期間を経て本年度よりマフラーは純正品のみとなります。

【タイヤ速度記号の更新】

タイヤ速度記号が不適切であったため、現状に合うように更新。

【ライダー交代時のエンジン停止】

安全のため、ライダー交代時はエンジン停止となります。

【誓約書・承諾書の署名】

鉛筆・消せるボールペンでの署名は認められません。ご注意ください。

【ライダー呼称】

色のライダー呼称でしたが、便宜上アルファベットへの呼称に変更となります。

【自身所有の計測器使用可能】

自身で所有する『AMB社製TranX260・TranXPRO（通称：マイボンダー）』を使用することができます。

.....

【事前ショップ車検店舗追加】

ライコランド様が2店舗追加、新たに南海部品様4店舗が加まりました。

【新クラス追加】

MONKEY125等検討。

【更新情報のご案内】

《ブルテンのご案内》

走行会のご案内や大会の規則変更など、重要な情報はDE耐！ホームページ上に設けられる【ブルテン】に随時掲載させていただきます。大会参加に必要な書類もこちらに掲載いたしますので、参加者の皆様は随時ご確認ください。

DE耐！ホームページ ⇒ <https://www.twinring.jp/detail/>

《2020年変更予定》

- ヤング割（20～25歳のライダーは参加料5,000円割引当該人数分適用）
- DE耐！参加のライダー・ピットクルーの中からMotoGPの観戦券&パドックパス1組2名招待。
※他諸条件当該の方より審査。
- 副賞の賞品（家電など）充実。
- 参加受付にて別途徴収していたガソリン代は参加料に含むに変更。

目次

コースイン / コースアウトのルール	表 2(表紙裏)
DE 耐！暫定タイムスケジュール	1
ちょっと DE 耐！暫定タイムスケジュール	2
DE 耐！イベント趣旨・昨年度からの主な変更点	3
2020 年変更予定	4
目次	5

参加の手引き

DE 耐！とは？	6
① 4ストミニバイク走行会	7
② 4ストミニバイク初心者走行会	
③ ビデオ講習	
④ ロードコース バスガイド	
⑤ 初心者専用走行枠	
⑥ 安全運転座学	
⑦ フリーフィング	
⑧ サーキットアドバイザー	
⑨ 技術アドバイザー	
● 走行が初めての方	8
● ペナルティー	
● コース	9
● 車両	10
● ライダーの参加資格	
● 参加のステップ	
① 参加申込み	
② 参加料支払い	11
③ イベントリーリスト公開	
④ 同ヒット申請	
⑤ チーム編成登録書送付	
⑥ チーム編成登録書登録 (郵送)	
⑦ チーム編成登録内容の変更	
⑧ 受理書送付	12
⑨ ビット・パドック割り	
⑩ 参加受付書類準備	
● 代表者ミーティング	13
● 4ストミニバイク走行会	
● ファイナルイベント当日の流れ	14
① 参加受付	
② 公式車両検査 (車検)	
③ スタート前チェック	
④ 燃料補給 (DE 耐！のみ)	
⑤ フリーフィング	
● 公式車両検査 (車検)	15
① エンジン	
② タイヤ	
③ キャブレター・インジェクション	
④ ガソリンタンク	
⑤ 外装	
⑥ アンダーカウル	
⑦ ハンドルバー、レバー類	
⑧ ブレーキ	
⑨ マフラー	
⑩ フットレスト	
⑪ チェーンガード	
⑫ オイル / ガソリンキャッチタンク	
⑬ 保安部品	
⑭ その他	16
⑮ ガソリンタンク	
⑯ ヘルメット	
⑰ レーシングスーツ	
⑱ チェストガード、背柱プロテクション	
⑲ エアバッグ	
● DE 耐！事前ショップ車検	17
● スタート進行方法	19
① グリッドへ車両移動	
② フォームアップラップ	
● スタート	
● 燃料補給	
● DE 耐！の燃料補給	
● ちょっと DE 耐！の燃料補給	21
● 決勝 (ファイナルイベント) の一時停止	22
● コール	
● 表彰	
● 賞典	23
● サーキットのルールとマナー	24
レコードラインイメージ図	25
● コースイン	26
● ビットイン	27
● コースアウト	
● ビット・パドックの使用方法	28
公 示	32

第 1 章 DE 耐！特別規則

第 1 条 競技会の名称・格式	
第 2 条 主催者	
第 3 条 開催場所とコース	
第 4 条 大会役員	
第 5 条 参加資格	
第 6 条 開催日程	33
第 7 条 参加申込み・チーム編成登録書送付先	
第 8 条 参加申し込み	
第 9 条 ライダー	35
第 10 条 ビットクルー	

第 11 条 クレデンシャル (身分証) と車両通行証	
第 12 条 参加料、登録料と共済会掛け金	36
第 13 条 料金規定	
第 14 条 もてぎ鈴鹿 (MS) 共済会	
第 15 条 参加受付 (書類審査)	37
第 16 条 参加車両	
第 17 条 自動車番読取装置 (トランスポンダー) の装着	
第 18 条 燃料規定	38
第 19 条 車両検査	
第 20 条 スタート前チェック	39
第 21 条 ビット・パドックの使用	
第 22 条 公式予選	40
第 23 条 スタート進行 (手順)	
第 24 条 ビット作業	41
第 25 条 ビットサイン	
第 26 条 決勝 (ファイナルイベント) 中の燃料補給	42
第 27 条 フルコースコースジョン	43
第 28 条 走行の中断	44
第 29 条 赤旗中断されたレースの再スタート	
第 30 条 イベント終了	45
第 31 条 順位および完走の認定	
第 32 条 暫定表彰と終了後の車両保管	
第 33 条 大会の中止	46
第 34 条 賞典	
第 35 条 ペナルティー (反則行為については、ペナルティーを科す場合がある)	47
第 36 条 負傷時の医師室受診	48
第 37 条 主催者の権限	49
第 38 条 損害の補償	
第 39 条 大会役員の責任	
第 40 条 本規則の解釈	
第 41 条 プルデンおよび公式通知の発行	50
第 42 条 広告に関する事項	
第 43 条 本特別規則の施行	

第 2 章 ちょっと DE 耐！特別規則

第 44 条 競技会の名称・格式	52
第 45 条 主催者	
第 46 条 開催場所とコース	
第 47 条 大会役員	
第 48 条 参加資格	
第 49 条 開催日程	53
第 50 条 参加申込み・チーム編成登録書送付先	
第 51 条 参加申し込み	
第 52 条 ライダー	54
第 53 条 ビットクルー	
第 54 条 クレデンシャル (身分証) と車両通行証	
第 55 条 参加料、登録料と共済会掛け金	55
第 56 条 料金規定	
第 57 条 もてぎ鈴鹿 (MS) 共済会	
第 58 条 参加受付 (書類審査)	
第 59 条 参加車両	56
第 60 条 自動車番読取装置 (トランスポンダー) の装着	
第 61 条 燃料規定	
第 62 条 車両検査	
第 63 条 スタート前チェック	
第 64 条 ビット・パドックの使用	
第 65 条 公式予選	
第 66 条 スタート進行 (手順)	
第 67 条 ビット作業	
第 68 条 ビットサイン	57
第 69 条 決勝 (ファイナルイベント) 中の燃料補給	58
第 70 条 フルコースコースジョン	
第 71 条 走行の中断	59
第 72 条 赤旗中断されたレースの再スタート	
第 73 条 イベント終了	
第 74 条 順位および完走の認定	
第 75 条 暫定表彰と終了後の車両保管	
第 76 条 大会の中止	60
第 77 条 賞典	
第 78 条 ペナルティー (反則行為については、ペナルティーを科す場合がある)	
第 79 条 負傷時の医師室受診	
第 80 条 主催者の権限	
第 81 条 損害の補償	
第 82 条 大会役員の責任	
第 83 条 本規則の解釈	
第 84 条 プルデンおよび公式通知の発行	
第 85 条 広告に関する事項	
第 86 条 本特別規則の施行	

第 3 章 車両規則

第 87 条 車両規則基本仕様	62
第 88 条 DE 耐！クラス車両規則	72
第 89 条 エンジョイクラス車両規則	74
第 90 条 GROM クラスおよび KSR110 (PRO 含む) Z125PRO クラス車両規則	75
第 91 条 NSF100 クラス車両規則	77
第 92 条 GROM Cup クラス車両規則	79
DE 耐！ Q & A	80
索引	82
もてぎ・鈴鹿共済会 会員の皆さまへ	84
もてぎ・鈴鹿共済会 保険金請求手続きの流れ	85
MFJ エンジョイライセンスについて	86
2019 年「DE 耐！限定会員」のご案内	表 3(背表紙裏)
公式シグナル	表 4(背表紙)

参加の手引き

※参加の手引きはあくまでもガイドです。詳細は特別規則・車両規則をご覧ください。

.....

参加の手引き

DE耐!とは?

2輪世界グランプリも開催されるツインリンクもてぎの国際ロードコース(1周 4.8013KM)を、4 サイクルミニバイクでチーム走行する耐久レースイベントです。決勝(ファイナルイベント)のスタートグリッドは、予選走行でなくくじ引きで決定し、スタートは、あの憧れのル・マン式で車両に駆け寄りスタートします。DE 耐!のレース時間は7時間、ちょっとDE 耐!は3時間半で、ライダーの最低走行時間や最長走行時間もありません。モーターサイクルスポーツの入口として、初心者の方でも手軽に楽しんでいただけるイベントです。サーキット走行の経験が無い方でも安心して決勝(ファイナルイベント)を迎えられるように、走行する機会、走行ルールを学ぶステップが用意されています。

モータースポーツは、幅広い多くの仲間と喜びを分かち合える生涯スポーツです。スポーツは、ルールに則って営まれる競技です。会社の同僚、様々な職業の社会人、学生、家族など参加する仲間を募り、これから走行の安全知識を学び、4ストミニバイク走行会で練習を重ね、ルールやマナーを身につけ、ファイナルイベントを是非お楽しみください。



初心者を対象としたイベントのため、走行ルールやマナーを身につける機会が多く設けられています。

① 4ストミニバイク走行会

参加を検討されている方に向けて、ロードコースを走行する走行会です。車両規則に則った仕様であれば参加できます。アンダーカウルは装着必須です。

② 4ストミニバイク初心者走行会

4ストミニバイク走行会の1つを初心者に特化し、走行が不慣れな方に向けた開催する基本走行会です。実際にファイナルイベントで使用する車両での参加が上達します。まず、平地でブレーキングやコーナリングを行った上で、ロードコースの走行に移行していきます。他にミニバイクでは、このような機会はありませんので、まだ走行が間もない方、サーキット走行も経験がなくでどうしようか迷われている方は是非ご参加ください。

③ ビデオ講習

4ストミニバイク走行会にて開催され、参加ライダーは受講必須です。必ず守らなくてはならない最低限のサーキットのルール・マナーの要点をまとめたビデオ講習です。

④ ロードコース バスガイド

4ストミニバイク走行会にて開催され、任意参加です。ライダーでなくても、同伴のヘルパーも国際ロードコースをバス見学できます。アドバイザーが搭乗し、コースの各地点で具体的なルール・マナーを説明します。

⑤ 初心者専用走行枠

4ストミニバイク走行会の中で、初心者専用の走行枠（1時間程度）が設けられています。走行枠の走行券を購入し参加します。走行内容は先導走行を基本に行い、個別アドバイスも出来ます。

⑥ 安全運転座学

4ストミニバイク走行会等で開催される1時間の座学です。参加条件のライセンスがない方の参加資格にもなっています。

⑦ プリーフィング

4ストミニバイク走行会、公開練習会、決勝（ファイナルイベント）の走行前には必ずプリーフィングを開催します。コースの状況やルール、走行時の注意点、決勝では進行など非常に重要な説明します。そのため、ライダーの方は、全員プリーフィングに参加しなければ走行できません。参加の確認をとっています。

⑧ サーキットアドバイザー

4ストミニバイク走行会、公開練習会、決勝（ファイナルイベント）にて、先導走行したり、プリーフィングしたり、各ピットやパドックをまわったりして皆さんの様子を伺っています。気軽に声かけしていただいて、走行ルールとマナーのアドバイスをもらってください。アドバイザーの方々は一流のライダーやチーム監督ですので、ライディングの悩み、車両の悩みなどお気軽にご質問ください。皆様が不安に思っていることや疑問などを解決するサポートをします。上級者の方も初心者の方もどんどん気軽に質問や相談をしてください。アドバイザーの方々も皆さんのお役に立ちたいと思っています。

⑨ 技術アドバイザー

公開練習会、決勝（ファイナルイベント）にて、現MFJ技術アドバイザーにお越しいただき、車両規則や、車両のセッティングなど技術的な疑問や質問をすっきり解決します。DE耐！公開練習会などでは各ピットを訪問し、アドバイスしておりますので、本戦前に車両の悩みは解決してしましましょう。

参加の手引き

※参加の手引きはあくまでもガイドです。詳細は特別規則・車両規則をご覧ください。

● 走行が初めての方

特に走行が初めての方不慣れの方は、4ストミニバイク初心者走行会への参加、4ストミニバイク走行会の中で行われる初心者走行枠への参加が必要です。

また初心者の方が、初心者専用枠以外で他の方と走行する際は、他のライダーから初心者である事を認識してもらうために、走行時に黄色のピブゼッケンを着用してください。中級者以上のライダーは、黄色のピブゼッケンを着用しているライダーに気を遣って走行してください。特に、初心者の方へ無理な追い越しやマナー違反が発見された場合はペナルティーを科す場合があります。参加する全員が無事にイベントを終了できるようにご協力ください。

ツインリンクもてぎでは、スキルアップを目指したスクールを定期的で開催しています。詳しくは、ツインリンクもてぎ (<https://www.twining.jp/>) のホームページから「2輪スクール・走行会※」にご参加ください。その他、アドバイザー、大会事務局に気軽にお声かけください。このDE耐!、ちょっとDE耐!は、初めて参加される方をお待ちしています。※「2輪スクール・走行会」へ参加する車両は2ストローク125cc以上4ストローク150cc以上のロードスポーツモデルに限ります。

● ペナルティー

「みんなでBIKEを楽しむ」ため、安全に走行していただくためにライダー・ピットクルー・応援の方など、全ての参加者の方にルール・マナーを守っていただく必要があります。

チームのメンバー全員およびゲストがこの参加の手引きと特別規則の内容を熟知していない場合には、他の参加ライダーの方に危険をおよぼす事があります。またイベントは、参加者全員に公平である必要があります。そのため、この参加の手引きと特別規則が守ることが出来ない場合には、ペナルティーを与えます。

ペナルティーは、重大なもので「失格」から罰金、ファイナルイベント中のペナルティーストップ、ライドスルーペナルティー、結果周回数の減算、始末書、嚴重注意など、安全面、競技性、悪質性など考慮し様々です。DE耐!では、それに加え参加者の皆さんが安全で気持ちよくイベントを楽しんでいただくためにイエローカード制度を導入しております。危険行為や、ルール・マナー違反、DE耐!を楽しむ精神に反する行動をとったチームに対し、イエローカードやレッドカードを提示し、明確な注意をさせていただきます。重大な違反行為には、イエローカードの段階を踏まずにレッドカードが提示されることもあります。



イエローカード制は、エントリー以降のDE耐!に関する諸手続き、走行会、決勝まで適用となります。レッドカードの提示を受けたチームは決勝に参加することができません。決勝時にレッドカードの提示を受けると、退場していただくこととなります。また、レッドカードの提示を受けたチーム員（ライダー、ピットクルー含む）は次年度の参加をお断りします。

● コース

会場は、栃木県芳賀郡茂木町にあるツインリンクもてぎです。640haの東京ドーム137個入る敷地の中にロードコースの他、ホンダコレクションホール（ホンダ自動車博物館）、ハローウッズ（森のテーマパーク）、アクティブセーフティトレーニングパーク（安全教育センター）のほか、モビパーク（子どものりもの体験）やレストランやホテルなどの施設もあります。

「ツインリンクもてぎクラブスポーツ(TRMC-S)」に入会すれば、2ストローク125cc以上、4ストローク150cc以上の2輪ロードモデルでロードコースを走行できます。その他、イベント日以外の場内入場が無料になる他、場内利用や購入などの割引があります。

コースは、世界2輪グランプリも開催されるツインリンクもてぎ国際格式のロードコースで、右に8つ、左に6つのコーナー、2つのトンネルがあり、幅員は12～15m、高低差は30.4m、全長距離4.801kmあります。

走行車両がアスファルト路面からオーバーランしても、芝上に落ちないように、縁石が走行ライン付近に敷いてあります。また、大きくオーバーランしてもすぐにガードレールに接触しないように、コースからガードレールは遠くに設置してあり、オーバーランした地面にはスピードが落ちるよう玉砂利が敷きつめてあります。気分は世界グランプリライダー、世界配信の映像でばっちり予習復習、コース攻略してください。



参加の手引き

※参加の手引きはあくまでもガイドです。詳細は特別規則・車両規則をご覧ください。

.....

● 車両

- ・排気量が 100cc 以下の 4 サイクルエンジンを搭載した公道用一般市販車が参加できます。その他下記の競技専用車両と GROM、KSR110、Z125PRO が参加できます。クラスにより参加できる車両が限定されています。

YAMAHA TTR90

HONDA GROM、NSF100、XR100R、CRF100F、XR80、XR70、XR50
CRF50、Z50R、ドリーム 50R

※その他の車両につきましては事務局までお問い合わせください。

12 インチタイヤを使用する場合は、競技専用オールウェザータイヤが指定されます。

NSF100



APE100



XR100



KSR110



Z125PRO



GROM



● ライダーの参加資格

以下の 4 つの条件を満たしていれば、一度もサーキットを走ってなくても、どなたでも参加いただけます。

1. 年齢が満 12 歳以上（申込時）
2. MFJ の競技ライセンス
（MFJ ライセンスなき場合、原付以上の運転免許を所持の上、MFJ エンジョイライセンス取得）
3. ライダーの走行経験の条件
4. 安全運転座学の受講（必要当該者のみ）

● 参加のステップ

① 参加申込み

参加クラス、チーム名、チーム代表者、希望ゼッケンを申し込む。この段階では、ライダー名、ピットクルー名は不要です。DE耐！ホームページ（<https://www.twinring.jp/detail/>）のWEBフォームから必要事項を入力し、お申込みください。WEBエントリーが出来ない環境の方は事務局まで問合せください。

ゼッケンに希望番号がある場合、参加申し込み時に2～170までの番号を選択し申請します。この申請は任意で、ゼッケン番号は第3希望まで受付、申し込み時の先着で決定します。ご希望の無いチームにつきましては、大会事務局にて決定いたします。

イベント名	ちょっとDE耐!	DE耐!
開催日	7月13日(土)	11月9日(土)・10日(日)
申込み開始	4月3日(水)10:00	7月31日(水)10:00
申込み終了	5月15日(水)24:00	9月11日(水)24:00
チーム登録編成締切 同ピット申請受付開始	6月5日(水)	10月2日(水)
チーム登録編成内容変更期限 同ピット申請受付終了	6月12日(水)	10月9日(水)
受理書発送予定	6月29日(土)	10月23日(水)

② 参加料支払い

メールで案内される支払い方法を選択し支払います。

「みずほファクター」より支払い方法の案内が、登録されたE-mailアドレスに送信されます。送信内容に従い、クレジットカード支払い、コンビニエンス振込み、ジャパンネット銀行振り替えの3つから支払いを選択し支払います。

③ エントリーリスト公開

登録されたE-mailアドレスに「DE耐! 参加者専用情報ダウンロードサイト」のアドレスが送信されます。

「DE耐! 参加者専用情報ダウンロードサイト」に、申込みされたチーム、ゼッケンを掲載した暫定のエントリーを公開します。

④ 同ピット申請

別のチーム仲間も参加の場合など、双方のチームに同ピットの希望がある場合、この申請を提出ください。

「DE耐! 参加者専用情報ダウンロードサイト」に掲載される「同ピット申請書」を出力し、同じピットを希望するチームの情報を記載し、ライディングハートにFAXを送信してください。ピット全体の配分を考慮し検討しますので、希望に添えない場合もあります。この申請は任意です。

⑤ チーム編成登録書送付

支払いが確認されたチームには、チーム編成登録書、誓約書・承諾書をチーム代表者に送付します。

⑥ チーム編成登録書登録(郵送)

チーム編成登録書登録、誓約書・承諾書を記載し、ライディングハートに郵送し登録します。参加車両、ライダー、ピットクルーの確定情報を記載します。

ライダー詳細情報(住所、緊急連絡先、ライセンス番号、誕生日、血液型等)、ピットクルー詳細情報(ライセンス番号、誕生日)が必要です。誓約書・承諾書は、必ず署名捺印をお願いします。

DE耐! は、ライダー3～10名まで、ピットクルー1～11名まで登録できます。

ちょっとDE耐! は、ライダー2～6名まで、ピットクルー1～6名まで登録できます。

スタートライダーの指定はありません。ライダーの走行時間も管理ありません。

⑦ チーム編成登録内容の変更

変更がある場合には、チーム編成登録内容の変更期限内は、1,100円手数料が発生します。この期限を過ぎると変更料30,600円が発生します。

参加の手引き

※参加の手引きはあくまでもガイドです。詳細は特別規則・車両規則をご覧ください。

⑧ 受理書送付

各チーム編成内容を反映し、受理書を発送します。

正式に確定したタイムスケジュール、受理書、クレデンシャルパス（入場証）、車両通行証を送付します。

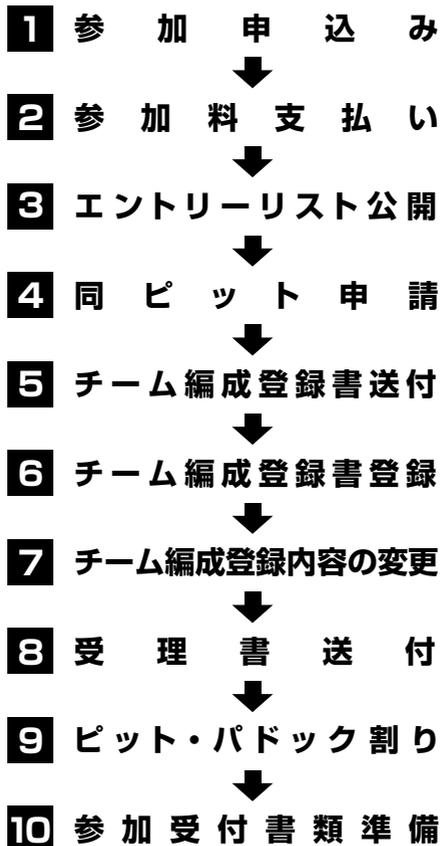
⑨ ピット・パドック割り

DE耐！専用サイトにピット・パドック割り、タイムスケジュールを公開します。

⑩ 参加受付書類準備

提出が必要な書類がある場合には、「DE耐！参加者専用情報ダウンロードサイト」に掲載されます。

参加のステップ



(申し込み事務手続きお問い合わせ先)

〒329-0101 栃木県下都賀郡野木町友沼6601-5

ライディングハート内 DE耐！係

TEL : 0280-23-2756 (11:00～18:00、日・月定休)

FAX : 0280-57-4899

● 代表者ミーティング

参加のステップ、参加に際しての注意事項や心構えを代表者の方に案内します。申請など提出物の抜け漏れなく、レースウィークにゆとりを持って、代表者の方は責任をもってチームメンバーに周知してください。特に、初めて参加のチームは、ご参加をお願いします。代表者ミーティングは、参加は任意で4ストミニバイク走行会およびDE耐！公開練習会にて開催します。

● 4ストミニバイク走行会

4ストミニバイク走行会の情報は、DE耐！ホームページ ⇒ <https://www.twinring.jp/detail/> で案内されます。年4回の開催します。DE耐！、ちょっとDE耐！の参加を検討している方、本大会に向け練習する方、参加資格の走行条件を満たすために参加する方が対象です。12歳以上で、MFJの競技ライセンスがない方は、運転免許証が必要です。

事前にWEBにて申込みが必要で、開催の10日前まで申込みを受け付けます。申込された方に車両通行証が送られます。当日の参加受付にて、運転免許証やライセンスを確認し、共済会の支払いをします。1日のうちで1時間程度の走行枠がいくつかあり、希望する走行帯の走行券を購入し、走行券を車両に貼り走行します。早朝に行われる「フリーフィング」に参加しなければ当日の走行はできません。ゼッケンは、当日配布します。

DE耐！、ちょっとDE耐！の車両規則に準拠した車両が走行できます。保安部品は外し、必ずアンダーカウルを装着しなければなりません。また、決勝（ファイナルイベント）に向けて、車検規則に合致しているかどうかなど、実車両を見ながら車両の改造や細かな仕様を相談できる「車検相談会」を開催しています。

※1度だけ開催される「DE耐！公開練習会」は、「DE耐！」にエントリー受理されたチーム専用の走行会です。

日程	イベント名	参加申込み期間
5/22(水)	4ストミニバイク走行会	4/24(水)～5/12(日)
6/26(水)	4ストミニバイク走行会	5/29(水)～6/16(日)
7/24(水)	4ストミニバイク初心者走行会	6/26(水)～7/14(日)
9/23(祝・月)	DE耐！公開練習会	8/26(月)～9/13(金)
10/29(火)	4ストミニバイク走行会	10/1(火)～10/19(土)

※日程は暫定スケジュールで変更になる場合があります。

参加の手引き

※参加の手引きはあくまでもガイドです。詳細は特別規則・車両規則をご覧ください。

.....

● ファイナルイベント当日の流れ

受理書に同封のタイムスケジュールに従って進行します。事前に確認し、チームで流れを確認しましょう。

① 参加受付

会場に会場したら参加受付を行ってください。当日に余裕ができるように受付時間や車検は前日に済ませるようお願いいたします。参加受付では、共済会の精算、ライダー・ピットクルー腕章受取り、グリッドくじ引き、ガソリンチケット購入（DE 耐！のみ）、計測器受取りを行います。

② 公式車両検査（車検）

車両が車両規則に合致しているかオフィシャルが検査します。事前に車検チェックリスト、ライディングギアチェックシートを記入のうえ、書類、車両、装備品を仮設車検場（43番ピット）に持ち込みます。

事前に車両規則をご確認の上、車両を準備してください。なお、ご不明な点はツイインリンクもてぎの車両検査担当までお問い合わせください。

《 車両検査の注意点！ 》

お電話だけでは明確にお答えできない場合がございます。車検相談会を4ストミニバイク走行会、または公開練習会時に行っておりますので、できる限り車両を実際に見せてください。

③ スタート前チェック

公式車両検査のあと、スタート直前にもう一度車検員により車検場でスタート前に安全の車両最終チェックを行います。エンジン、タイヤ、キャブレター、アンダーカウル、ハンドルバー・レバー類、ブレーキ、フットレスト、チェーンガード、スプロケット等の項目を確認します。

公平を保つために車両をオフィシャルの見えるところに置く必要があります。**これ以降は、車両への作業はできません。**このスタート前チェック以降、車両をピットボックス内に入れると失格になります。

④ 燃料補給（DE 耐！のみ）

補給導線にて車両を移動させ、燃料に規定量の燃料を補給します。その後、燃料タンクを封印します。

⑤ プリーフィング

参加するライダー全員が出席しなければなりません。参加確認リストに署名をお願い致します。チーム内で1人でも欠席や遅刻があった場合は罰則を科します。イベントの参加にあたって、注意事項や重要なお知らせスタート進行の方法を伝えます。

● 公式車両検査（車検）

車検は2つの目的があります。

- ・公平にイベントができるように、車両がルールに合っているかを確認します。
- ・安全にイベントを楽しめるように、車両が安全かどうかを確認します。

車両の他に、ライダーのヘルメットつなぎなど装備品も検査します。DE 耐！おいては、燃料の補給監査において、消火器や燃料補給対応の方の服装も検査します。

ワンメイクから改造範囲が広いクラスまで、車両規則はクラスごとに大きく異なります。詳しくは、第3章 車両規則の合致した車両でなければ参加できません。車両規則違反は、公平性を乱す重大な違反となります。

安全面に重大な影響がある最低項目を下記の通り車検で確認します。この箇所以外もチェックします。必要事項を記入してうえで、車検チェックシート、ライディングギアチェックシートを持参し車検を受けてください。

・車両

① エンジン

オイル系統のワイヤリング、オイルクーラーの取付け（装着車のみ）、オイルホースの素材（耐油、耐高温）

② タイヤ

タイヤの銘柄（12 インチのみ）

③ キャブレター・インジェクション

キャブレターのホースの長さ、角度、燃料ホースの取り回し

④ ガソリンタンク

カウリングのエッジや尖った箇所の確認、カウルの取り付け方法

⑤ 外装

加工タンクの防爆材

⑥ アンダーカウル

アンダーカウルのオイル受け容量と水抜き穴

⑦ ハンドルバー、レバー類

アクセルスロットの戻りハンドルの切れ角（最大切れ角で指を挟まないか、ハンドルストッパーは正常に機能しているか）

⑧ ブレーキ

ブレーキが正常に作動するか、パッドのβピンの口縛り、ブレーキホース取り回し

⑨ マフラー

音量・マフラースプリングワイヤーロック

⑩ フットレスト

先端が尖っていないか、折畳み式の場合は自動で戻ってくるか

⑪ チェーンガード

しっかり装着されているか（取付け状態の確認）

⑫ オイル／ガソリンキャッチタンク

素材（ホース）、取り付け位置、取り付け状態

⑬ 保安部品

保安部品の取り外し

参加の手引き

※参加の手引きはあくまでもガイドです。詳細は特別規則・車両規則をご覧ください。

⑭ その他

ボルト・ナットの緩みトランスポンダのβピンの口縛り（NG ならスタ前まで 車検は合格）

⑮ ガソリントank

ガソリントank、ガソリン残量なし、加工タンクの防爆材

・ 装備品

⑯ ヘルメット

外観の傷キズ、MFJ 公認マーク

⑰ レーシングスーツ

ブーツ、グローブ、名前（カタカナ）他人の名前のままは NG、MFJ 公認マーク、やぶれ等

⑱ チェストガード、脊柱プロテクション

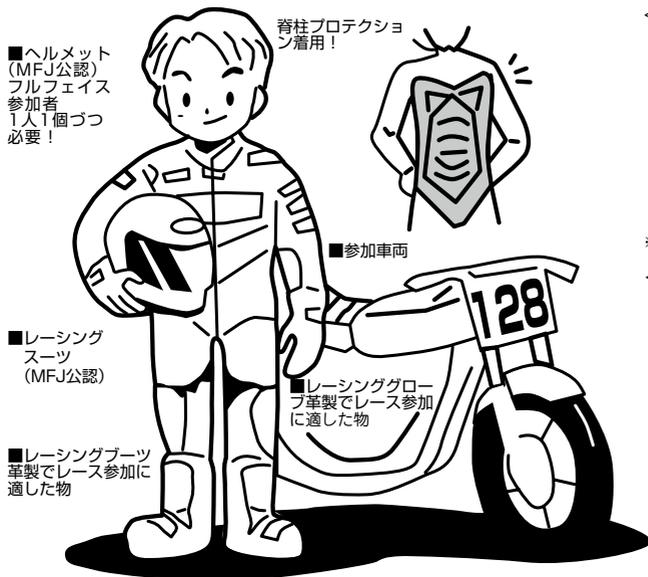
外観の傷、ほつれ等

脊柱プロテクションの外側は、硬質の樹脂製素材でなくてはならない。

⑲ エアバッグ

使用者のみ、やぶれ等

18 歳以下は装着義務です。2019 年は 60 歳以上の装着を特に推奨します。2020 年以降は義務化。



<MFJ 公認ヘルメット認証マーク>



※ヘルメットの内側に付いています。

<MFJ 公認レーシングスーツ認証マーク>



車両規則についてご不明な点がございましたらお気軽に下記までお問い合わせください。

ツインリンクもてぎ モータースポーツ課 DE 耐！車検担当

電話：0285-64-0200

FAX：0285-64-0209

※ 定休日の都合により、2～3日お待たせする場合がございます。

・DE 耐！事前ショップ車検

車検は、150 台以上の車両検査、約 1000 人近いライダーの装備品を確認するため、当日大変混雑します。スムーズにレース準備をしていただくために、ツインリンクもてぎの会場以外の点検する 2 輪ショップにおいて、「装備品検査」を事前に済ませておく「事前ショップ車検」が受けられます。是非ご利用ください。事前ショップ車検にて合格となった項目は公式車検の装備品検査項目が免除となります。ヘルメットとエアバッグのみ、公式車検日に装備品チェック場所で検査を受ける必要があります。

(事前ショップ車検 - 装備品検査について)

※ ヘルメットとエアバッグを除く下記項目の検査が可能です。

- ・ MFJ 公認レーシングスーツ
- ・ レーシンググローブ
- ・ レーシングブーツ
- ・ 脊柱プロテクション
- ・ MFJ 公認のヘルメットリムーバー
- ・ チェストプロテクター

ライディングギアチェックシートを事前にご記入の上、ご協力ショップにて検査を受けてください。

ライディングギアチェックシートは公式車検時に、ヘルメットと一緒にオフィシャルへご提出ください。

(事前ショップ車検期間・手順)

期間 2019 年 9 月 4 日 (水) ~ 11 月 3 日 (日)

手順① 訪問予定のショップに、訪問日とライダー人数を連絡する。

手順② 「装備品チェックシート」にライダー名、チーム名等必要事項記載する。

手順③ 店舗に訪問し、装備品検査を受け、装備品チェックシートを記載してもらい受取る。ショップ検査にて合格後、装備品を使用することは可能ですが、使用後に必ず合格時の状態である事をご確認ください。万一合格時の状態から変化があった場合は再度検査を受けてください。

※ ご協力店舗や日程は変更になる場合があります。変更があった場合は、随時 WEB にてご案内いたします。

(ご協力ショップ様)

ライコランドCuBe宇都宮店
〒321-3226
栃木県宇都宮市ゆいの杜5-10-5
TEL 028-670-8555

ライコランド水戸店
〒310-0836
茨城県水戸市元吉田町1012-3
TEL 029-309-8891

ライコランド土浦店
〒300-0051
茨城県土浦市真鍋5-8-15
TEL 029-893-3920

ライコランド高崎店
〒370-0074
群馬県高崎市下小鳥町421
TEL 027-370-0107

参加の手引き

※参加の手引きはあくまでもガイドです。詳細は特別規則・車両規則をご覧ください。

.....

ライコランド伊勢崎店
〒372-0801
群馬県伊勢崎市宮子町 3427-12
TEL 0270-26-1010

ライコランド埼玉店
〒326-0021
埼玉県上尾市原市 247-1
TEL 048-723-8211

ライコランド柏店
〒277-0922
千葉県柏市大島田 394
TEL 04-7193-4182

ライコランド TOKYO BAY 東雲店
〒135-0062
東京都江東区東雲 2-7-12
TEL 03-3527-7431

ライコランド新横浜店
〒222-0011
神奈川県横浜市港北区菊名7丁目9-25
TEL 045-540-3051

ライコランド多摩境店
〒194-0215
東京都町田市小山ヶ丘 4-3-5
TEL 042-700-7311

ライコランド東京多摩ベース店
〒208-0022
東京都武蔵村山市榎 3-23-1
TEL 042-590-3611

南海部品 宇都宮店
〒320-0065
栃木県宇都宮市駒生町 799-1
TEL 028-650-4001

南海部品 小山店
〒323-0820
栃木県小山市西城南 3-1-11
TEL 0285-31-2695

南海部品 太田店
〒373-0852
群馬県太田市新井町 501-1
TEL 0276-30-3491

南海部品 熊谷店
〒360-0833
埼玉県熊谷市広瀬 496-1
TEL 048-520-6029

南海部品 南東京店
〒146-0083
東京都大田区千鳥 2-34-15
TEL 03-5482-7700



ge RICOLAND
RIDERS COMMUNITY LAND

オートバイ用品とパーツの専門店 ライコランド



MOTORCYCLE TOP FASHION LEADER

NANKAI

FOR GOOD MOTORCYCLE LIFE

● スタート進行方法

① グリッドへ車両移動

通常レースといえば、決勝のグリッド順を決定する予選走行がありますが、DE 耐！は予選走行がありません。グリッドはなんとクジ引きで決まります！運次第でポールポジションを GET！参加受付のグリッド抽選後にグリッド順が発表されます。サインマンエリア側のグリッドに自身の車両を手押しして並べます。スタートライダーの指定も申告も不要です。ライダーはサインマンエリアの対岸のコース左端の白線に移動します。ピットクルー 1 名は車両を支えます。また、スタートライダーがエアバッグをつけている場合、もう 1 名のピットクルーも車両付近でハーネスを取付けるサポートができます。

② ウォームアップラップ

コースを 1 周ウォームアップラップ走行し、元いたグリッドに車両を並べます。いよいよスタートに備えます。

● スタート

スタートは、憧れのル・マン式スタートです。もう気分は 8 耐！?

いよいよ旗が振られ、スタートです。台数が多い場合には、最大 3 グループに分かれて、グループごとにスタートを行います。気持ちが高ぶって、つい実際のスタートより早く走り出す（フライングスタート）方には、ペナルティーが科せられますのでご注意ください。

スタートの自信がない、皆がスタートした後に自分のペースで最後尾からスタートすることができます。「後方からのスタート申請書」を記載し期日までに事務局へ申請してください。

● 燃料補給

燃料補給の方法は DE 耐！独自のルールです！

給油制限、ピット制限共に DE 耐！、ちょっと DE 耐！に違いがあります。給油中は、火災に備え、事前にチームにて用意した消火器を構えます。

● DE 耐！の燃料補給

- ① 給油制限があります。
- ② 参加受付時に購入する給油チケットで、給油回数を管理します。
- ③ 第 1 パドックのガソリンスタンドで給油を行います。
- ④ 使用できる燃料の総量は、21 リットルです。
- ⑤ 1 回の給油は 3 リットルのみです。

参加の手引き

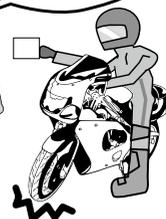
※参加の手引きはあくまでもガイドです。詳細は特別規則・車両規則をご覧ください。

- ⑥ 給油目的でピットに入った場合は、給油導線内で 10 分間滞在しなくてはなりません。

21 L 3 L / 回 10 分 / 回

■燃料補給エリア出口も一旦停止です！

・出口には大型のデジタル時計が設置予定



滞在時間は各チームで判断

一旦停止！！時刻の打刻されたタイムカードを受け取ってください

参加受付時に購入する給油チケットは 7 枚つづりです。給油チケットの料金は、ガソリン価格で変動しますが、概ね 4,300 円程度です。

燃料タンクへ給油でガソリンが入りきらず余った場合は、あらかじめチームで持参の携行缶に入れておき、ガソリンスタンド営業時間内で最後に余ったガソリンを持ち帰ることができます。希望の方は、あらかじめ携行缶に「クラス」「ゼッケン」「チーム名」を記入の上ガソリンスタンドへ持参ください。

規定総量の燃料 21 リットルを使いきってしまってもコースを走行することができますが、競技周回数とはしません。その場合、給油チケットの「余りガス券」を使用し、規定量以外のガソリンを使用し走行してください。

レース終了後、給油チケットが余っても返金には応じられませんが、チケットに応じた残ガソリンをお渡しできます。

給油エリアでは、エンジンを切って車両を押し歩いてください。給油エリアには、一度に 1 チームあたり 3 名まで入ることができます。クレデンシャルパスを着用したピットクルーおよび走行していないライダーが給油経路に入ることができます。給油エリア内での給油以外の一切の作業（ライダー交換含む）は禁止です。ガソリンキャッチタンク内のガソリンは、燃料タンクに戻すことはできません。

ピットイン時、給油エリアに入り忘れ自身のピットまで走行した車両は、1 番ピット横にてオフィシャルに申し出てください。係員が誘導し、パドックを通過し給油エリアに移動させます。（上記の対応は特別措置です。誘導にかかる時間などにつきましては一切抗議を受け付けません。係員やオフィシャルが居ない場合は 1 番ピット横で待機してお待ちください）

● ちょっと DE 耐！の燃料補給

- ① 給油制限はありません。
- ② 各自のピットで給油を行います。
- ③ 使用できる燃料の総量に制限はありません。
- ④ 1 回の給油に制限はありません。
- ⑤ 1 度ピットに入ったら、給油の有無に関わらずピットレーン～ピットレーン出口間で 3 分間滞在しなくてははいけません。

給油時は、火災防止のため給油以外の事はできません。給油する前に、ライダーは降車し、スタンドをかけ安定させてください。給油時には、消火器を構えてください。



参加の手引き

※参加の手引きはあくまでもガイドです。詳細は特別規則・車両規則をご覧ください。

.....

● 決勝（ファイナルイベント）の一時停止

決勝（ファイナルイベント）中に、天候上の理由、あるいはその他の理由からレースの中断を決定した場合、赤旗を掲示するか、「セーフティーカー」を導入する2つの方法のいずれかで中断します。

・赤旗

すべてのライダーは最大限の慎重さと注意を持って、それぞれのピットに戻ってください。追越し禁止です。

・フルコースコースション

ピットに入る必要はありません。走行する車両を全車追越し禁止にし、コース走行を継続します。この状態を「フルコースコースション」と呼びます。天候上の理由、あるいはその他の理由となるものが取り除かれるまで継続されます。

コース上の各監視小屋（ポスト）から黄色の旗振動と「SC」と記載のボードが表示されたら、この状態です。走行する全車両は追越し禁止です。「セーフティーカー（Safty Car）」を導入することから「SC」と表示し、この状態を「エスシー」や「フルコースコースション」と呼びます。

この状態では、コース上にオイル漏れで、転倒が多発し、部品が散乱しているかもしれませんので、周囲に注意払い、追突や接触しないよう注意して1列に整列し走行してください。この状態中の周回は、競技周回数としてカウントします。1～2台のセーフティーカーがコースインし、競技車両を先導します。天候上の理由、あるいはその他の理由となるものが取り除かれたら、セーフティーカーは、ピットインしレースを再開します。SCの解除で追越しが可能となるのは、ホームストレートのコントロールライン（フィニッシュライン）を通過してからです。気持ちが先走ってしまい、ついライン手前で追越ししてしまう「追越し違反」は重大なペナルティーですので、特にご注意ください。

● ゴール

規定時間を走りきると待ち受けているのは感動のチェッカーフラッグです。このイベントはまずは完走することに意味があります。同一LAP数なら同着扱いです。周回数の多いトップ車両からチェッカーが振られます。チェッカーが振られると、ピットレーン出口がクローズされ、コースに入れません。チェッカー時にピットに留まっていた車両は、コントロールライン（フィニッシュライン）の延長されたピットレーン上のラインでチェッカーを受けることができます。

チェッカー後は、全車ホームストレート上で車両保管です。正式結果が出るまで車両を保管します。チェッカー後は車両に一切触れないでください。再車検を行う場合があります。上位車両および抗議の対象となっている車両は、再車検を行います。分解検査を行いますのでピットクルーの方は分解できる工具を持って44番ピットへお越しください。分解検査完了後に、正式決勝結果が発行されるため、正式結果発行には時間がかかる場合があります。

● 表彰

決勝終了後、表彰式を行います。ライダー、ピットクルー、ヘルパーの皆様はご参加ください。

● **賞典**

ちょっとDE耐!では、総合順位、各クラスの順位賞です。

DE耐!では、順位と関係がない多くの特別賞を予定しています。チーム編成登録時の申告の中から決定するレディース賞、ベストデザイン賞、ベストコスプレ賞、ベストユニフォーム賞、ヘビーウェイト賞などもあり、多くの参加者が笑顔で帰宅できる、話題ができる賞を用意しています。

サーキットのルールとマナー

※参加の手引きはあくまでもガイドです。詳細は特別規則・車両規則をご覧ください。

.....

● サーキットのルールとマナー

DE 耐！は、お祭りイベントですが、サーキットをたくさんのBIKEで走る“スポーツ”です。参加する全ての方が、ルール、マナーを守っている、という信頼関係がなければ、みんなでBIKEを楽しむ事ができません。

楽しんでいただくためには、この参加の手引きと特別規則の内容についてチームのメンバー全員およびゲストで熟知することが必要です。

サーキットを走行する者は、ルールとマナーの共通認識のもと、安全に走行しなくてはなりません。走行経験の参加資格は、安全に楽しんでいただくための最低基準です。怪我なく安全走行を楽しんでもらうためには、さらに練習を重ね、安全に走行するための知識を学ぶことが非常に重要です。以下が基本内容です。

- ① コース走行するものは全て、シグナルおよびフラッグ（シグナル）を確認し、それに従う義務があります。
- ② 通常予想できない地点での不必要な急減速をしてはなりません。
- ③ いかなる場合も、逆方向への走行あるいは規定外のコースを走行してはなりません。
- ④ 直線部分では、前車を追い越す以外の目的で進路を著しく急激に変更することは禁止されます。
- ⑤ 他のライダーの走行を妨害するような走行をしてはなりません。
- ⑥ 必要以外にハンドルから手を離したり、足をステップから離し、また、外に突き出したりするような危険な姿勢をとってはなりません。

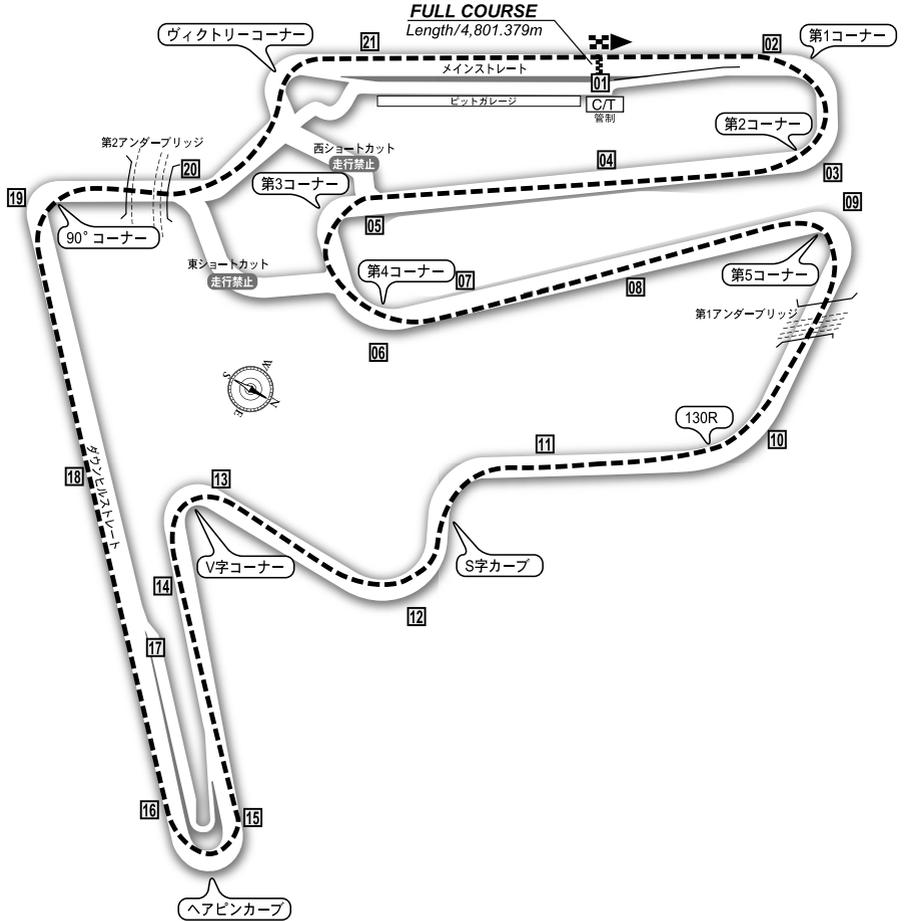
特に走行中のルール違反、マナー違反については、走行中の他の参加ライダーの方に危険がおよぶ場合があります。やむを得ず走行時に接触したなどの場合には、相手が怪我をしてないかなど気遣う思いやりが必要です。

・ コース

ロードコースは、右回りの一方通行で、各コーナー・カーブに名称がつけられています。コースには、レコードラインと呼ばれる仮想ラインがあります。実際のコースに線が引かれているわけではありません。レコードラインは、コースを無理なく出来る限り安全にかつ速く走るための理想的な走行軌跡の事です。排気量や運転技術で若干の差がありますが、コース走行しているどんな車両も、おおよそ全て数m幅の同じ走行軌跡を走行します。幅広いコースですが、その中でも車両が走行する（仮想のコース）目に見えない一定のラインがあるイメージです。サーキット走行では、このレコードラインを走行する車両が優先し、レコードラインを走行する車両を妨げてはなりません。

レコードラインイメージ図

※車両やライダーの運転技術によりレコードラインは異なります。この図はイメージです。



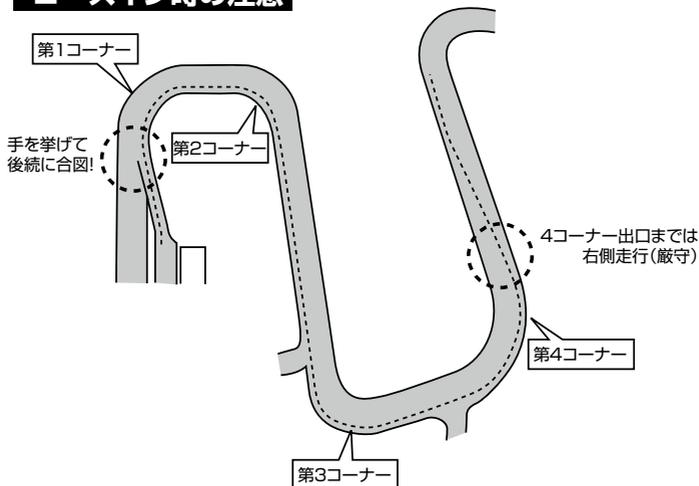
スロー走行車は、ツインリンクもてぎの場合コースの右端を走行しなければなりません。レコードラインを走行するライダーを妨げないように配慮しなければなりません。

・コースイン

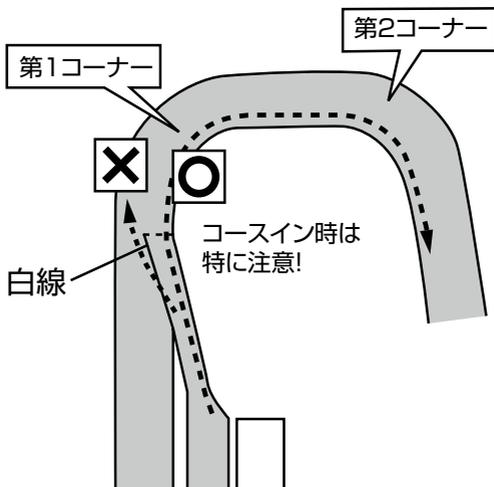
後続車に手で合図をして、第4コーナー立ち上がりまでコース右側を走行してください。後続の車両の走行を妨げないようにしてください。

※ コースイン直後にレコードラインに合流して、追突事故になった事例があります。大変危険ですのでコースイン時は、4コーナー立ち上がりまで右側を走行してください。

コースイン時の注意



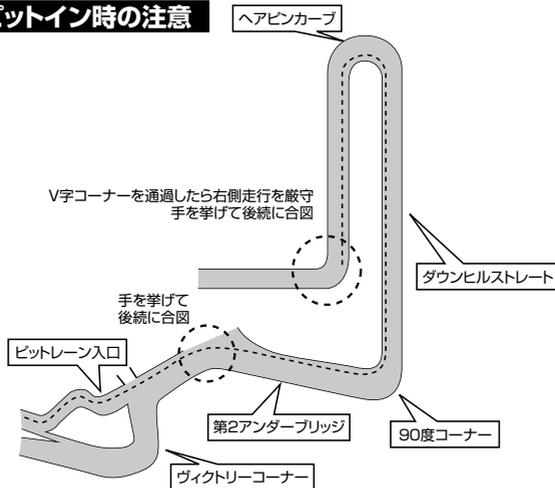
すでにコースを走行している車両とコースインした車両の衝突を避けるために、ピットレーン終わりからコース上に白線があります。この白線を越えてコースインするとレコードラインと重なり大変危険です。白線を越えてコースインした場合は罰則を科す場合があります。



・ピットイン

ピットインする車両のライダーは、ヘアピンコーナー出口より後方を確認したのち、コース右側に車両を寄せ、手または足でピットインの合図を行なったのち、安全を確認しピットレーンを徐行しなければなりません。

ピットイン時の注意



・コースアウト

- ① コースアウトしたら、コース脇の安全な場所へ車両を移動する。絶対に、コース脇で再スタートを試みてはいけません。
- ② コース上やコース脇で車両を押しピットに戻ることは禁止です。レッカー車が回収に迎えにいきますのでガードレール外側でお待ちください。
- ③ コースに復帰する場合は後方を確認したのちコースに復帰することができますが、マシンの確認（破損・オイル漏れ・グラベルの砂利等）も留意してください。
- ④ トラブルなどで走行を止める場合は、マシンをコース外の安全な場所に止めてから退去してください。
- ⑤ 自分が転倒もしくは故障で停止した場合、二次災害の防止つまり後続車にひかれる、あるいは後続車を転倒させる等の事故の増大を防止するように心がけてください。
- ⑥ 転倒したら状況判断によりまず安全な場所へ避難してください。特にオイルによる転倒は、後続車も同じ場所で続々と転倒してくる可能性があるので注意してください。
- ⑦ 安全な場所から、できるだけ限り後続車へ知らせる努力をすること。安全なタイミングを見て電源と燃料コックをオフにして火災やガス漏れを防止してください。また、可能な限り散乱部品を撤去してください。
- ⑧ ガードレールの外に出るまでは、ヘルメットを着用してください。
- ⑨ 転倒したマシンは、オイル・ガソリン等をこぼす場合が多いので、転倒車両を目撃したら次の周回は充分注意して走行してください。
- ⑩ 安全な場所にてマシンが走行可能かどうか確認した後、コース復帰できます。
- ⑪ オイル・ガソリン・冷却水・ブレーキオイル等の漏れがないか確認する。漏れがあった場合は、無理にピットまで帰還しないでください。

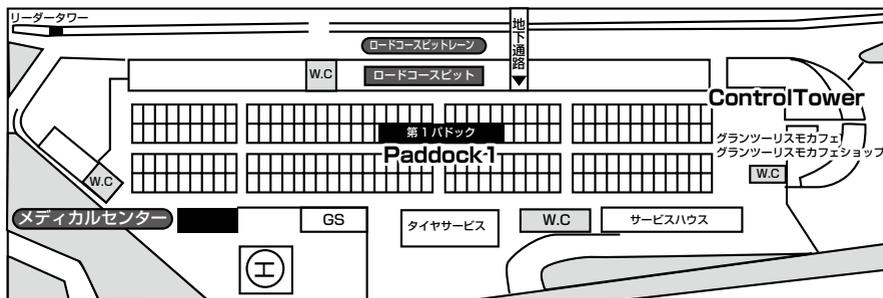
サーキットのルールとマナー

※参加の手引きはあくまでもガイドです。詳細は特別規則・車両規則をご覧ください。

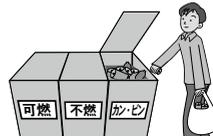
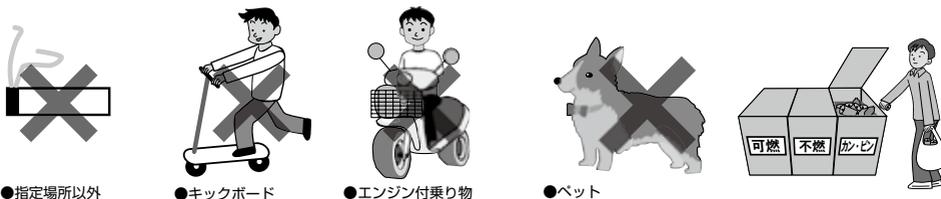
- ⑫ 走行に危険がある部分の破損、重要保安部品の破損、または破損部が鋭利になっていないかを確認してください。
- ⑬ カウリング内に泥、砂利、草等が入っていないか確認し、また、タイヤに泥が付着したままライン上に復帰しないでください。
- ⑭ 後方の安全を十分に確認して余裕を持ってコースに復帰してください。

● ピット・パドックの使用方法

パドックとは、競技車両を降ろしたり積載車両、来場した車両を駐車するスペースです。



パドックは、走行者の往来が多く接触事故も発生するため、ペットの同伴の他、マシンのウォーミングアップ走行やプレーキテストは出来ません。DE 耐！では、特に自転車以外の車輪のついた乗り物(キックボード、原動機付き乗り物、セグウェイ等)は禁止です。決勝(ファイナルイベント)時は、パドックの駐車場所が指定される場合があります。



盗難および事故につきましては責任を負いかねますので、各自責任を持って管理してください。ピット・パドックは、ガソリンや多くの可燃物を取り扱うため、火気厳禁です。タバコはコントロールタワーブリーフィングルーム出入口の灰皿のあるエリアで喫煙してください。

ごみはお持ち帰りください。場内で回収するごみは、燃えるもの(紙、ビニール類)、カン・ビン、ペットボトル、廃油、砂利、金属クズです。指定のごみ箱へ分別して入れてください。廃油入れには、ガソリン・クーラントを入れしないでください。タイヤ、バッテリー、エンジン、フレームなどの粗大ごみはお持ち帰りください。

ピットボックスとは、パドックと競技コースをつなぐ、走行するために準備をしたり競技車両を整備するエリアです。4ストミニバイク、DE 耐！公開練習会では、ピット・パドックは指定されません。決勝(ファイナルイベント)では、各チームのピットボックスが指定されます。

ツインリンクもてぎでは、屋内のピットボックスが45個あり、ピット側、パドック側にシャッターがついており、車両整備することができます。ピットボックス1つは、奥行きが12m、幅が5m、高さが3mあり、照明、電源コンセント、アース線、エア配管、計測された結果やツインリンクもてぎ場内に配信されるモニターが完備されています。ピットの電源コンセントは容量を超えて使用するとピット全体のブレーカーが落ちます。できる限り発電機をご使用ください。

ピットボックスは他のチームと共有です。お互い譲りあい、使用している皆さんが不快にならないようにご協力ください。

ピットクルーの方は、安全のためかかとの固定された履き物を着用し、長袖長ズボンを着用してください。

ピットボックスの鍵を借りる場合は、必ず同じピットに入る全チームの同意を得た上で、9:00～17:00の間にコントロールタワー1階の受付カウンターにて受付をしてください。全チームの同意が得られない場合、鍵は貸し出せません。なお、鍵を紛失した際は、**補修費用を頂きます。**

サインマンエリアは、走行しているライダーにサインを出す場所です。ピットレーンとロードコースを挟むように、サインマンエリアという場所があります。多くのピットクルーがここに滞留すると危険なので、各チーム2名の制限があります。サインマンエリアに行く際は、走行している車両に接触しないように、十分注意してピットからピットレーンを横断してください。MS共済会に加入しピットクルー登録され、ピットクルー腕章を身につけた人のみ立ち入れます。ピット作業エリア～サインマンエリアは、お子様の立ち入りはできません。ピットクルーのみ立ち入ることができます。また着ぐるみ等視界や行動を制限されてのピットレーンの横断はご遠慮ください。

サインマンエリアはコースに接しているエリアなので、傘・パラソル・のぼり等、風で飛ばされやすい物は持ち込まないでください。雨天の場合にはカッパ着用してください。サインマンエリアに陽よけやイスを設置する場合には、同じエリアを使用するチームや隣のチームに配慮し、迷惑とならないようにしてください。

ピットレーン（ピットボックス前の部分）は、次の3つに区分されます。60km/h以下の速度で徐行してください。ピットレーンでの追い越しは禁止です。

- ① 減速区域：ピットサインエリアとコース側黄色破線の間の部分。ファストピットレーン。ピットインおよびピットアウト専用の区域です。
- ② 補助区域：コース側黄色破線とコンクリート路面の間の部分。
減速区域から停車区域、あるいは停車区域から減速区域へ移動する時に通過する区域です。イベント役員を除き、この区域にとどまることは禁止です。

サーキットのルールとマナー

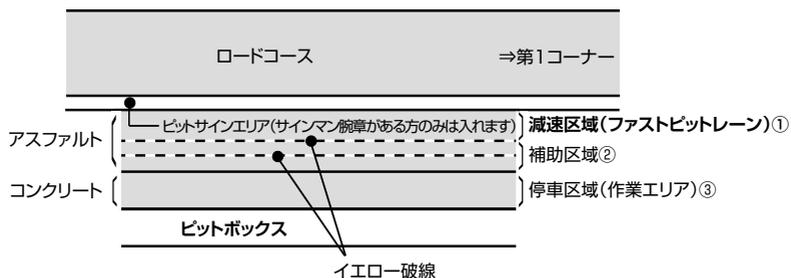
※参加の手引きはあくまでもガイドです。詳細は特別規則・車両規則をご覧ください。

.....

③ 停車区域（作業エリア）：コンクリート路面とピットボックスまでの部分。

ピット作業のための部分であり、車両の停車を行う区域です。走行禁止です。

※ 減速区域や補助区域に停止したり、停車区域を走行して自己のピットに戻れません。
コース走行同様にピットレーンの逆走もできません。



公 示

2019 誰でもエンジョイ耐久“DE耐！”および“2019ちょっとDE耐！”は、一般財団法人日本モーターサイクルスポーツ協会（MFJ）承認のもと、2019 MFJ 国内競技規則および競技会特別規則に基づいて開催される。

第1章 DE耐！特別規則

第1条 競技会の名称・格式

小さなBikeの大きなお祭り

2019 誰でもエンジョイ耐久“DE耐！”（MFJ承認ミニバイク競技会）

第2条 主催者

●株式会社モビリティランド

〒321-3597 栃木県芳賀郡茂木町桧山120-1

TEL：0285-64-0200 FAX：0285-64-0209

●エムオースポーツクラブ（M.O.S.C）

〒321-3597 栃木県芳賀郡茂木町桧山120-1

TEL：0285-64-0202 FAX：0285-64-0209

第3条 開催場所とコース

～1) 開催場所

ツインリンクもてぎ

栃木県芳賀郡茂木町桧山 120 - 1

TEL：0285-64-0201（代表）

～2) コース

ツインリンクもてぎ ロードコース フルコース：4.8013km

第4条 大会役員

大会役員は、公式プログラムに示す。

第5条 参加資格

～1) チーム代表者

本特別規則、参加の手引き、走行のルール・マナーを理解し、責任を持ってチーム員を統制できる者。

～2) ライダーの年齢

申し込み時に満 12 歳以上であること。

～3) ライダーのライセンス

9月23日（祝・月）（DE耐！公開練習会）までに当該年度有効な以下のMFJライセンスを所持していること。

・エンジョイ・ピットクルーA・ロードレースジュニア・ロードレースフレッシュマン

・ロードレース国内・ロードレース国際

※ ロードレース国際ライセンスのライダーが参加できるのは「DE耐！クラス」のみとする。

～4) ライダーの走行経験の条件

参加ライダーは以下のいずれかの条件を満たさなくてはならない。

- ① 2018年のDE耐！（ちょっとDE耐！除く）決勝を走行。
- ② 2018年以降のツインリンクもてぎのロードコースにて、2輪スポーツ走行もしくは2輪スクールプログラムを事前に予約をしてから1時間以上を走行。
- ③ 2018年以降にツインリンクもてぎで開催された4ストミニバイク走行会もしくはDE耐！公開練習会を走行。
- ④ 2018年4月以降に、ツインリンクもてぎのロードコースで開催の2輪レース（ちょっとDE耐！除く）に参加。

～5) ライダーの「安全運転座学」受講

「MFJエンジョイライセンス」および「MFJピットクルーライセンス」での参加者は、当該年の『安全運転座学』受講しなければならない。ただし、ロードコース、北ショートコース TRMC-S 会員ならびに2018年のDE耐！（ちょっとDE耐！除く）に参加ライダーは、「安全運転座学」受講は免除される。

「安全運転座学」は、4ストミニバイク走行会、DE耐！公開練習会時に無償で開催される。決勝（ファイナルイベント）日の「安全運転座学」は有償3,000円で早朝に開催される。

～6) ピットクルーの年齢

申し込み時に満16歳以上であること。

第6条 開催日程

2019年11月9日（土）7時間耐久イベント DE耐！クラス・NSF100クラス

11月10日（日）7時間耐久イベント エンジョイクラス・GROMクラス
GROM Cupクラス・KSR110クラス
Z125PROクラス

第7条 参加申込み・チーム編成登録書送付先

●参加申込み書送付先

〒321-3597 栃木県芳賀郡茂木町桧山120-1
ツインリンクもてぎ モータースポーツ課 DE耐！事務局
TEL：0285-64-0200 FAX：0285-64-0209

●チーム編成登録書送付先

〒329-0101 栃木県下都賀郡野木町友沼6601-5
ライディングハート内 DE耐！係
TEL：0280-23-2756（11:00～18:00、日・月定休） FAX：0280-57-4899

第8条 参加申し込み

～1) DE耐！ホームページ（<https://www.twinring.jp/detai/>）より、原則ウェブエントリーのみとする。但し、特別に事務局が認めた場合に限り、現金書留、直接持参での申込みも可とする。

- ～2) 申込み定員は、先着順で以下とする。
 - 土曜日7時間耐久イベント
(DE耐！クラス・NSF100クラス) 160台(内主催者招待10台)
 - 日曜日7時間耐久イベント
(エンジョイクラス・GROMクラス・GROM Cupクラス・KSR110クラス
Z125PROクラス) 160台(内主催者招待10台)
- ～3) 参加申込みは、参加クラス、チーム名、チーム代表者、希望ゼッケンを申し込む。
- ～4) 参加申込期間は、2019年7月31日(水)10:00～2019年9月11日(水)24:00とする。
- ～5) 申込みの後、案内される方法にて参加料を支払う。参加料支払いをもって、申込みを完了とする。
- ～6) ゼッケンは、参加申込み時の希望ゼッケンを先着順にて大会事務局で決定する。
- ～7) 申込み締め切り後、チーム編成登録書、誓約書・承諾書がチーム代表者に送付される。
- ～8) チーム編成登録書は、参加車両、ライダー、ピットクルーの詳細情報(住所、緊急連絡先、ライセンス番号等)を登録する。※インターネットによる情報入力でのチーム編成登録も可能。入力するアドレスはチーム編成登録書で案内される。
- ～9) 承諾書・誓約書は、署名捺印をすること。鉛筆、消せるボールペンで記入は認めない。
- ～10) チーム編成登録書および誓約書の送付締め切りは、2019年10月2日(水)とする。
- ～11) 20歳未満のライダーは参加申込書の誓約書・承諾書に親権者または保護者の署名と実印の捺印とその印鑑証明書(3ヶ月以内に取得したもの)を必要とする。ただし、事前に年間の誓約書・承諾書、印鑑証明書を提出している場合、当該大会において印鑑登録証明書は提出不要だが、当該大会の署名捺印(印鑑証明の捺印)の誓約書・承諾書は提出すること。
- ～12) 完全に提出できないものは、いかなる理由があろうと競技に参加することはできない。
- ～13) 代表者は、1名の登録しなければならない。
- ～14) ライダーは、3名～10名まで登録しなければならない。ライダーは同日開催の複数チームに重複して登録できない。
- ～15) 申込時に満18歳以下のライダーは、「エアバッグ機能付きウエア」を装着しなければならない。
- ～16) 60歳以上のライダーは、年に一度ご自身で健康診断や心電図検査を実施し、モータースポーツにするにあたり問題ない確認することを推奨する。
- ～17) ピットクルーは、1名～11名まで登録しなければならない。
- ～18) ライダー・ピットクルーを含めチームに所属する者は、品格を疑われるような言動は厳に慎み常にスポーツマンとしての態度を保たなければならない。
- ～19) ライダー・ピットクルーを含めチームに所属する者は、パドックではアルコール(ノンアルコール含)類あるいは薬品(興奮剤)を飲用できない。
- ～20) 参加申込者に対しては締め切り後、大会事務局から参加受理または、参加拒否が通知される。参加を拒否された申込者に対しては、参加料が返還される。(ただし、事務手数料料金として2,000円を差し引く)
- ～21) 参加申込後、参加を取り消す申込者に参加料は返却されない。
- ～22) 大会組織委員会は、理由を明らかにする事なく、参加申し込みを拒否する権限を有する。参加申し込みの拒否に関しては締め切り後に連絡する。

第9条 ライダー

- ～1) 18歳以下のライダーは、エアバックを装着しなければならない。
60歳以上のライダーも、エアバッグの装着を特に推奨します。2020年より義務予定。
- ～2) ライダーは、以下の名称とし腕章の色にて識別される。

○Aライダー・・・赤色	○Fライダー・・・・・・青色
○Bライダー・・・黄色	○Gライダー・・・オレンジ色
○Cライダー・・・緑色	○Hライダー・・・・・・うす緑色
○Dライダー・・・白色	○Iライダー・・・・・・紫色
○Eライダー・・・桃色	○Jライダー・・・・・・水色
- ～3) 決勝でのライダーの走行の順番、走行時間は制限しない。
- ～4) スタートするライダーは、走行経験が豊富で安全にスタートをできる者とする。初心者はスタートライダーをできない。スタートライダーの申告や申請は不要とする。
- ～5) ライダー腕章を、走行中必ず右腕上腕部に装着すること。

第10条 ピットクルー

- ～1) ピットクルーとは、車両に直接触れ作業する者、およびピット作業エリア～ピットレーン～ピットサインマンエリアに立ち入る者をいう。ピットクルーの登録をしていない者が上記行為を行った場合はチームに対して罰則が与えられる。
- ～2) サインマンエリアに立ち入ることができるのは、登録されたピットクルーおよびライダーの中から2名までとし、サインマンエリアに立ち入り際には、サインマン腕章を着用しなければならない。
- ～3) ピットクルーの服装は、安全上長袖長ズボンとし、事故防止のため履物はサンダル、ハイヒール等は禁止とする。
- ～4) ライダーを別チームのピットクルーとして登録することはできない。ただし、同日開催のクラスではライダー登録できないが、別日に開催されるクラスのみライダーをピットクルーとして登録できる。

第11条 クレデンシャル（身分証）と車両通行証

- ～1) 参加申し込みが正式に受理された参加者には、指定登録されたライダー、ピットクルーなどの身分証が主催者より送付され、特別スポーツ走行日当日より有効となる。
- ～2) 参加者のサービスカーは、大会事務局が交付する通行証を貼付していなければパドックへの通行ができない。また、駐車中も通行証を車の前方から見える位置に提示すること。通行証を確認できない場合は予告無しでレッカー移動する場合がある。
- ～3) パドック通行が許される参加者のサービスカーは、原則として参加1チームにつき、第1パドック・第2パドック2枚とするが、参加台数により増減する場合がある。
- ～4) クレデンシャル（身分証）は、登録人数分のほか、1チームにつき12枚のヘルパー他ゲスト用パスを送付する。
- ～5) パドックおよびツインリンクもてぎ内における通行、駐車、行動の指示は公式通知と案内標識に従わなければならない。駐車場所以外に車両を駐車した場合は、レッカー移動し、参加者に罰則を科す場合がある。
- ～6) 交付された身分証や通行証は他に貸与したり転用してはならない。貸与、転用した場合、また、複製等不正使用した場合は1件につき罰金1万円を科す。

第1章 DE 耐！特別規則

～7) 身分証、通行証を紛失または破損した時は事務局に再交付の手続きを取り、再交付を受けること。

第12条 参加料、登録料と共済会掛け金

～1) 参加料および共済会掛け金

参加料 **52,500円** (税込) / 1チーム

参加料とは別に、以下の登録料と MS 暫定共済会費を当日の参加受付にて支払わなければならない。

	TRMC-S・SMSC会員	TRMC-S・SMSC非会員
ライダー	0円	登録料 3,200円 +MS暫定共済会費 7,000円
ピットクルー	登録料 700円	登録料 700円 +MS暫定共済会費 500円

※登録料は、チーム編成登録時に発生する。登録削除しても支払わなければならない。

第13条 料金規定

項目	料金(税込)	備考
ピットクルーの変更・追加手数料(1名)	無 料	参加受付時のみ対応
ライダー 変更 手数料 (1名)	1,100円	チーム編成登録締切～ チーム編成内容変更期限
ライダー 変更 手数料 (1名)	30,600円	チーム編成内容変更期限以降
ライダー 削除 手数料 (1名)	1,100円	チーム編成内容変更期限以降
その他の登録内容の変更	5,100円	
車両 変更 手数料 (1台)	5,000円	※競技監督が認めた場合に限る。 参加申込締切～公式車検前
車両の 1 部品(エンジンまたはフレーム) 変更手数料(1台)	10,000円	※競技監督が認めた場合に限る。 公式車検以降～
車両 通行証 再発行 (1枚)	5,100円	
クレデンシャル再発行 (1枚)	5,100円	
トランスポンダー補償料 (1個)	55,000円	
ピットサインマン腕章 (1枚)	1,200円	

第14条 もてぎ鈴鹿 (MS) 共済会

～1) ツインリンクもてぎにおいてスポーツ走行および競技に参加出場するライダーおよびピットクルーはMS共済会に加入しなければならない。

～2) MS共済会は年間加入または暫定加入とする。

① 年間加入は TRMC-S 会員もしくは SMSC 会員として登録され所定の共済会費を納めた者のみとする。

〈走行会員 / 10,000円・ピットクルー / 4,000円〉

② 暫定加入は当該大会 (特別スポーツ走行、予選、決勝) のみ有効とする。

〈ライダー / 7,000円・ピットクルー / 500円〉

第15条 参加受付（書類審査）

～1) 参加受付時に下記書類を提示もしくは提出しなければならない。不備がある場合は参加を認めない。

- ① 参加受理書
- ② 登録料・共済会費
- ③ 自家発電機 使用申請書
- ④ チームプロフィール
- ⑤ その他 主催者が指定したもの

※「車検チェックシート」「装備品チェックシート」は事前に記載し、車検で提出。

～2) 参加受付前の指定期日までに事前に送付が必要なもの

- ① ライセンスコピーシート（MFJ・TRMC-S・SMSC ライセンス）
- ② チーム編成登録書

第16条 参加車両

～1) 本規則書題3章車両規則 基本仕様に合致した車両でなければならない。

～2) ゼッケンナンバー

数字ははっきり読めるように、また太陽光の反射を避けるために、地の色同様につや消して書かれなければならない。数字の字体は、Futura Heavy を基準とするゴシック体とし、蛍光色は禁止とする。

(ゼッケン色一覧)	ベース色	文字色
DE 耐!クラス	白	黒
NSF100クラス	赤	白
エンジョイクラス		
GROMクラス	黄	黒
KSR110クラス		
Z125PROクラス		
GROM CUPクラス	黒	白

第17条 自動車番読取装置（トランスポンダー）の装着

～1) 全ての参加者は主催者が用意した自動車番読取装置を車検時まで装着し、ファイナルイベントを通じ装着していなければならない。取り付けを拒否した場合、当該車両およびライダーは出走を認められない。

～2) 自動車番読取装置の配布は、選手受付時に行い、返却についてはレース終了後1時間以内とする。万一破損・紛失した場合、1個につき54,000円が主催者より請求される。

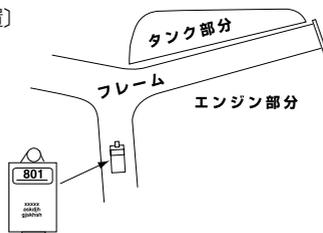
～3) 取り付け方法および箇所について

- ① 自動車番読取装置専用ホルダーを指定の場所にタイラップ等で確実に固定すること。
- ② 地面から 60cm 以内で、熱や振動の受けにくい位置とする。取り付け位置は図を参照のこと。

～4) 参加者は、主催者が用意する自動車番読取装置の代わりに、自身で所有する『AMB社製TranX260・TranXPRO（通称：マイポスター）』を使用することができる。ただし、使用する際は以下の項目を遵守すること。

- ① 参加受付の際に使用申請を行うこと。
- ② 取り付け方法・箇所については、図（推奨位置）を参照のこと。
- ③ 計時長の判断により指示があった場合には、直ちに主催者の用意する自動車番読取装置に付け替えること。

〔推奨位置〕



第18条 燃料規定

- ～1) ツインリンクもてぎ第1パドック内ガソリンスタンドのガソリンが指定される。
- ～2) 燃料にはオクタン価を高めたり燃料の性質を変えるような装置をつけたり、添加剤を混入してはならない。

第19条 車両検査

第3章車両規則に基づく。

- ～1) 参加車両の公式車両検査およびライダーの装備品検査は公式通知に示されたタイムスケジュールに従って車検場で行う。
- ～2) 車検場には、車両チェックシートを持参し、アンダーカウルを外した形で車両を持ち込み、外したアンダーカウルも持参しなければならない。
- ～3) 燃料タンクは取り外し、逆さにし空を確認できる状態で持ち込むこと。ただしGROMは除く。
- ～4) 公式車両検査を受けない車両あるいは検査の結果、参加が不相当と判断された車両はレースへの出場が拒否される。
- ～5) 決勝（ファイナルイベント）を通じて公式車両検査時と異なる車両、装備を使用した場合、罰則が課せられる場合がある。
- ～6) ライダーが競技中に着用しなければならないものとして車両検査の際、車検員によって点検を受けるものは次の通りである。

① ヘルメット

フルフェイス形のもので、MFJが公認した2輪ロードレース専用でなければならない。（MFJが公認したヘルメットには認証マークが貼付されている）極端に古い物や傷があるものは使用を認めない。オフロード用、モタード用ヘルメットは認めない。ライダー同士での共有は認めない。

② ヘルメットリムーバーシステム

③ ブーツ

革もしくは革と同等の素材であり、フックなどが外部に突き出していないものでなければならない。

④ グローブ

革もしくは革と同等の素材であり、フックなどが外部に突き出していないものでなければならない。

⑤ レーシングスーツ

MFJ が公認したロードレースもしくはモタード用でなければならない。(MFJ が公認したレーシングスーツには認証マークが貼付されている)

※ 左胸前部内側または胸部前部下前立てに氏名をカタカナ、および血液型をアルファベットで明記しなければならない。直接記載できない場合には、ガムテープ等貼りその上に明記でも可とする。

⑥ チェストガード

⑦ 脊柱プロテクション

脊柱プロテクションの外側は、硬質の樹脂製素材でなくてはならない。

⑧ エアバッグ

エアバッグを使用するライダーは検査を受けなくてはならない。

※ エアバッグベスト並びにエアバッグ機能付きのレーシングスーツの使用を推奨する。

⑨ 消火器

容量は 2kg 以上の消火器とする。

⑩ 燃料給油を行うピットクルーの服装

燃料補給に携わるピットクルーは、難燃素材（綿 100%可）の肌の露出の少ない長袖長ズボンの服とする。

～6) 車両に打刻されたナンバー（エンジン部・フレーム部）が研磨および切削、部品として購入などにより失われている車両については、販売店の販売証明書または譲渡証明書を提出すること。過去に証明書を提出した場合は、再度の提出は不要とする。販売証明書を添付されない場合は原則として競技会への参加は認められない。

第20条 スタート前チェック

タイムスケジュールに従って、決勝（ファイナルイベント）レース出場者は、指定された場所にて、必ずスタート前チェック（車検員による最終確認）を受けなければならない。チェックを受けるものは、公式車検にて合格した車両とヘルメットとする。車両は決勝レースが走行できる状態で持ち込むこと。（転がしタイヤの装着は禁止）

第21条 ピット・パドックの使用

～1) タイヤサービス前、サービスハウス前には参加者は、車両を駐車することができない。

～2) パドックおよびピットには、ペットなど小動物の同伴はできない。

～3) パドックおよびピットには、自転車以外の車輪のついた乗り物（キックボード、スケートボード、エンジン付乗り物、セグウェイ等）は使用してはならない。

～4) 特別スポーツ走行、決勝（ファイナルイベント）レースの使用ピットならびにサインマンエリアは、大会事務局によって割当てられる。

～5) 割当てられたピット・パドックを、参加者相互で交換・変更する場合は、双方のチーム代表者が署名をしたピット変更届を大会事務局に提出し、事務局長の許可を得なければならない。

第1章 DE 耐！特別規則

- ～6) 特別スポーツ走行、決勝（ファイナルイベント）レースを問わずレーシングコース側のピットのシャッターは開けておくこと。
- ～7) ピット内でタバコ等火気を取り扱わないこと。また、ピット使用後は責任を持って清掃をすること。
- ～8) ピットを割当てられた参加者は、特別スポーツ走行、決勝（ファイナルイベント）レースを通じて、ピット内の黄色の破線より前部分（コース側）は、当該走行クラスのパッドとして使用できるよう工具、部品等は置かないこと。
- ～9) ピットの鍵を借りる場合は、チーム代表者が顔写真付の身分証を提示し、使用するピットの全参加代表者に了解を得た上で借りること。貸出は特別スポーツ走行終了後から開始する。使用後は責任を持って速やかに返却すること。返却予定時刻後2時間以内に返却できない場合は、シリンダー錠交換代金として50,000円を請求する。
- ～10) ピット・パッド使用時に出るゴミ、廃液等は使用者が責任をもって処理し、ゴミは分別して処分すること。粗大ゴミ等（カウル、マフラー、タイヤなど）は必ず参加者が持ち帰ること。また、廃油入れには、ガソリン・クーラントは入れないこと。

ゴミ箱に捨てられる物	紙類 ビニール類 カン、ビン、 ペットボトル 廃油 砂利 金属
特に気を付けて 持ち帰って頂く物	タイヤ フレーム その他家電製品等 エンジン バッテリー

第22条 公式予選

- ～1) 公式予選は行わない。
- ～2) 決勝のグリッドは、参加受付時の抽選により決定される。

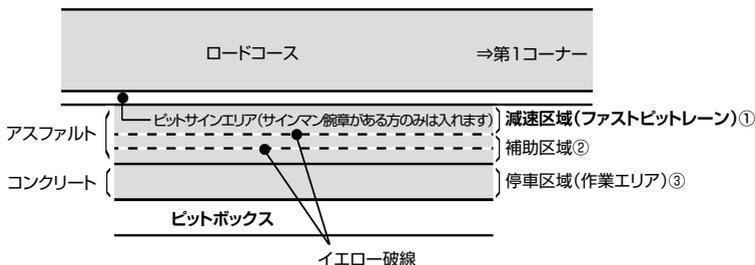
第23条 スタート進行（手順）

- ～1) 決勝のスタート方法はスタッガード式ル・マンスタートとする。
ただし、スタッガード式ル・マンスタートが困難な場合は、スタート方式が変更になる場合がある。
- ～2) スタート時に安全上問題がある場合は、競技監督の判断によりスタートを遅らせる場合がある。特に豪雨や雷雨の場合は急遽スタート方法を変更する場合がある。
- ～3) スタート進行（手順）の詳細については、スタート進行表として公式通知にて発表する。
- ～4) スタートを遅らせた場合でも競技終了時間は変更しない。
- ～5) スタートが遅れても燃料補給は一切認められない。
- ～6) ウォームアップラップ中に極端に遅い車両がいる場合は、マーシャルカーが追い越す場合がある。
- ～7) マーシャルカーに追い越された車両は、トラブルの有無に関わらずピットレーンスタートとする。
※ 燃料の節約の為とはいえ、スタート進行に支障をきたすためウォームアップラップが極端に遅くならないよう、常識的なスピードにてウォームアップラップを行わなければならない。
- ～8) スタート時は、ピットサインマンエリアに立ち入りはできない。
- ～9) スタート進行（手順）においてピットクルーが指示に従わなかった場合は、反則スタートとして認定され、当該チームに対してイエローカードが科せられる場合がある。

- ～10) ジャンプスタート（フライングスタート）と認定された場合、ペナルティーストップの罰則が科せられる。ペナルティーストップの罰則を科せられた車両は、コントロールタワー前ペナルティーストップエリアでオフィシャルの指示により停止しなければならない。
- ～11) 反則スタートの判定に対する抗議は受け付けない。
- ～12) ペナルティーストップの際にエンジnstールした場合は、スタート合図後ピットクルーの援助により、押しがけをすることができる。

第24条 ピット作業

- ～1) ピット作業とは、工具や部品等で車両に対して手を加えること、およびライダーの乗降行為を言う。
- ～2) **ライダー交代する時は、エンジンを停止しなければならない。**
- ～3) 車両がピットインしたとき、当該車両のメカニックは自己のピット前の停車区域に出て作業することができる。ピット作業の場合を除いて停車区域に出ること、部品や工具を停車区域に置くことはできない。
- ～4) 決勝中のピット作業要員は、その車両に登録されたライダーおよびピットクルーとする。作業に携っていない者は停車区域に留まってはならない。
- ～5) ピット内において火の粉が出る作業（サンダー等）はできない。エアツールの使用は認める。
- ～6) スタート前チェック以降、決勝（ファイナルイベント）中にピットボックス内に車両を入れた場合は失格とする。
- ～7) ピット以外の地点で停車した車両に対して、作業をすることはできない。
- ～8) 決勝（ファイナルイベント）中に、フレーム、クランクケース、燃料タンク、キャブレターの交換は認められない。ただし、競技監督が止むを得ない事情と判断し許可しその場合には、交換が認められる場合がある。車両変更手数料が支払い車検員の検査により安全が確認された場合は走行ができる。元の部品を掲示および車検において保管を指示する場合がある。



第25条 ピットサイン

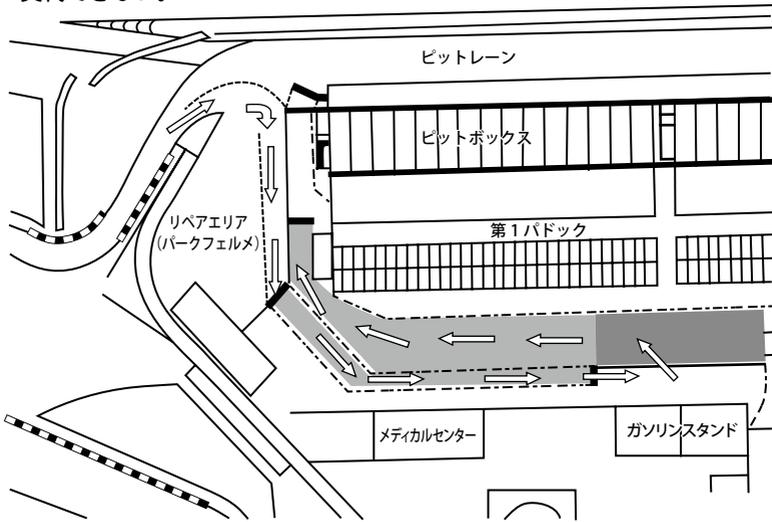
- ～1) チームのサインマンエリアは大会事務局により指定される。コンクリートウォールに貼られたゼッケンナンバーを確認し、自身のゼッケンナンバーの場所を使用すること。
- ～2) サインマンエリアの専有は禁止とする。ただし、同じ場所を使う全チームの許可を得た場合は認められる。
同じ場所を使うチームに許可無く専有することはできない。

- ～3) ピットサインは指名登録されたピットクルーが、指定の腕章を着用し、ピットサインエリアまで出てサインを送ることができる。
- ～4) ピットサインエリアには、1チーム2名まで入ることができる。
- ～5) ピットサインエリアまで出入りする際にはピットインおよびピットアウトする車両に充分注意するとともに、車両の通行を妨げてはならない。
- ～6) ピット前およびピットサインエリアでは傘等の風で飛ばされるものを身に付けてはならない。
- ～7) 決勝のスタート時には、ピットサインエリア内の立ち入りは禁止です。
全車スタートが完了し放送の指示が有るまではサインエリアに立ち入らない。
- ～8) 走行中のライダーと無線機（携帯電話含む）等の通信は使用してはならない。
- ～9) 使用するサインボードの大きさは100cm×60cmの長方形を超えるものであってはならない。（風によって飛ばされる可能性がある構造物・テント・傘等は、ピットサインエリア内に設置してはならない。またオフィシャルの指示があった場合その指示に従わなければならない。）
- ～10) サンドルおよびヒールの高い履物はピットエリアの立ち入りは禁止とする。ピットクルー要員等の履物は運動靴・スニーカーなどが望ましい。

第26条 決勝（ファイナルイベント）中の燃料補給

- ～1) スタート前に入れられるガソリンの量は3リットルとする（スタート前燃料補給時に給油される）。
- ～2) **燃料の全容量は21リットルまでとし**、1回のピットインで給油できる量は3リットルまでとする。参加受付時にガソリンチケットを購入し、給油所にて補給すること。
- ～3) 決勝の朝はタンクを空の状態にしてから車検場にてスタート前チェックを受けること。
- ～4) 燃料補給とは、燃料給油のため燃料タンクの蓋を開けたところから、給油を終え蓋を閉じ、こぼれた燃料をふき取るまでをいう。
※ 燃料タンクの残量確認で燃料タンクの蓋を開け燃料タンク内を見る場合は、火災に備え消火器を構えて確認すること。
- ～5) エンジンを停止しライダーが降車しなければ、燃料補給してはならない。
- ～6) 燃料補給作業の際に燃料タンクから溢れた燃料は必ず拭き取らなければならない。
- ～7) 決勝中に燃料補給を行う場合、補給監査員の監視のもと、指定されたエリアで給油を行わなければならない。
- ～8) 燃料補給に携わるピットクルー（消火スタッフも含む）は、化繊素材の服およびサンダルの着用は禁止です。基本的に難燃素材（綿100%可）の肌の露出の少ない長袖長ズボンの服を着用すること。
なお、補給導線に入れるピットクルーは1チームにつき3名以下に制限する。
- ～9) こぼれた燃料等はハウキ、ウエス等を使用して必ず拭きとらなければならない。給油エリアで、補給以外の作業は禁止とする。
- ～10) 各自のチームにて容量2kg以上の消火器を燃料補給場所に持参すること。
- ～11) 燃料補給中は、登録されたピットクルーもしくはライダーが消火器を持ち、火災に備えなければならない。
- ～12) 補給導線内に入る場合は必ずクレデンシャルを携行すること。

- ～13) 燃料補給は、ピットボックス45番とリペアエリアの間から補給導線を通しガソリンスタンドの前で行う。
- ～14) 燃料補給エリアの入口から出口まで10分間以上滞在しなければならない。この間ライダー交代できない。



第27条 フルコースコーション

事故発生時および危険な状態が確認された場合に、競技監督の決定によって、セーフティーカーが介入する。

- ～1) 競技監督がフルコースコーションを決定したら、直ちに全ポストから黄旗振動およびSCボードが提示され、セーフティーカーの介入を告知する。また、オレンジ色の回転灯を点灯した1台または複数のセーフティーカーが先頭ライダーの位置に関係なくコースインする。
- ～2) 全ての車両はセーフティーカーを先頭に1列に整列しなければならない。この時ライダーの追い越しは厳禁とされる。ライダー間の距離は10m（車両5台分程度）以内とし、万が一ゲートラブル等で隊列についていけなくなった場合は、後続車両に合図を送りラインを外して走行すること。
- ～3) セーフティーカーは処理が終了するまで走行を続ける。
- ～4) フルコースコーションの間にピットインすることは許可されるが、ピットアウトは、コースインシグナルの指示に従うこととする。
- ～5) 競技監督が次のコントロールラインからの再開を決定したら、セーフティーカーはオレンジ色の回転灯を消灯する。セーフティーカーはその週の終了時点でピットレーンに入る。
- ～6) セーフティーカーがピットレーンに入り、ライダーがコントロールラインに近づいた時点で、メインフラッグ台から緑旗が振動表示され、シグナルブリッジに緑色ランプが点灯される。各グループの先頭がコントロールラインを通過した時点でフルコースコーションは解除され、各ライダーはコントロールライン通過までは追越し禁止です。
- ～7) フルコースコーション中の走行ラップも周回数としてカウントされる。

第28条 走行の中断

- ～1) やむを得ない事情により、イベントの続行が不可能と判断された場合、競技監督は審査委員会の指示または同意を得てイベントを中断させることができる。ただし、緊急の場合は競技監督の判断で中断、あるいは必要な処置をすることもある。
- ～2) イベント中断の場合は、全てのポストで赤旗を振動提示する。またシグナルによる赤色灯の併用によって合図される。
- ～3) イベントが中断された場合、ライダーは最大限の慎重さと注意をもって進み、必ずその周にピットインしなければならない。競技監督により作業再開の指示があるまで予めピットインしていた車両を含め、全ての車両への作業は禁止され、給油導線は閉鎖される。但し、給油作業中の車両に関しては、一連の作業を終えることとする。
また、中断の合図が出された時点でピットレーンを走行中のライダーは、ピットインしていたものとする。
- ～4) 公式通知により発表されたイベント終了時刻の1時間前以後にイベントが中断した場合は、イベントは成立したものとみなされる。順位はイベントが停止される前の周回における順位とする。
《ピットボックスに車両を入れると失格になります》

第29条 赤旗中断されたレースの再スタート

- ～1) 中断されたレースの再開手順
 - (1) 危険な状態が解消された場合、競技監督は大会審査委員会の同意を得てレースを再開することが出来る。
 - (2) スタート後先頭車両と同一周回数 of 全車が3周を走行完了する前に中断した場合、最初のスタートは無効になり、当初のスタート手順よりやり直しとなる。この場合レースの終了は第1章 DE 耐！特別規則第28条 1) の通りとする。
 - (3) スタート後、先頭車両と同一周回数 of 全車が3周以上走行し、レース成立時刻前にレースが中断された場合、レースの最終結果は複数レースの周回数を合算し順位が決定される。
 - (4) 再開されるレースのスタート方法はセーフティーカー先導によるローリングスタートとし、その手順は下記の通りとする。
- (4)-1 再開が決定された後、各車両はピットレーン上に2列に隊列を作って整列をする。
- (4)-2 隊列は参加受付時に抽選したスタートグリッドの順番で整列する。ピットレーン出口に停車したセーフティーカーを先頭にピットウォール寄りにグリッド番号1番～75番までを1列目とし、ピット寄りに最大76～160番までを2列目とする。フルグリッドに満たない場合は該当レースの総参加台数が均等になる様2分割し、1番からその半分のグリッド番号を1列目、その翌グリッドから最終グリッドまでを2列目とする。台数が奇数等により2分割にならない場合は、半数を切り上げし、1列目が1台多い形とする。
例：当日の総参加台数 135 台の場合
1列目は1番グリッド～68番グリッドまで（68番目を1列目に繰り上げ）
2列目は69番グリッド～135番グリッドまで
ただし、競技監督の判断により3列（3グループ）でスタートする場合もある。

- (4)-3 メインフラッグ台にてグリーンフラッグが振られ、最初のセーフティーカーに先導された1列目の隊列がスタートする。
- (4)-4 最初の隊列がスタートした後、次のセーフティーカーに先導された2列目の隊列がスタートする。この際コース上の全ポストでは黄旗が振動表示される。
- (4)-5 セーフティーカーは回転灯を点けて走行し、2つの隊列はそのまま1列ずつ走行しその間追い越しは禁止です。万がトラブル等で隊列に付いて行けなくなった場合は、後方車両に合図を送り、ラインを外して走行すること。
- (4)-6 セーフティーカーを先導にしたローリングラップは1周以上行い、ピットインは許可される。
- (4)-7 セーフティーカー先導によるスタートが決定されたら、セーフティーカーは回転灯を消灯し、その週の終了時点でピットレーンに入る。
- (4)-8 セーフティーカーがピットレーンに入り、ライダーがコントロールラインに近づいた時点でメインフラッグ台からグリーンフラッグが振動表示され、グリーンランプが点灯される。同時に全ポストから黄旗の振動表示は一斉に解除されレースは再開となる。各自がコントロールラインを通過するまで追い越しは禁止とする。
- (4)-9 ローリングラップ中の走行ラップも周回数としてカウントする。

第30条 イベント終了

- ～1) イベント終了時間は公式通知にて発表される。イベントの中断が途中であってもレース終了時間は変更にはならない。
- ～2) トップのライダーにチェッカーフラッグが掲示される。チェッカーフラッグは6分間経過した時をもってレース終了となる。
- ～3) チェッカー後は全車減速し、オフィシャルカーの先導でコースを1周する。

第31条 順位および完走の認定

- ～1) **チェッカーが振られた時点で、完了する周回数を元に順位認定が行われる。**
解釈補足）同一周回数の場合同一順位となる。
- ～2) チェッカーの際にピットエリアにいた車両は、自走（手押し可能）でピットレーン上のコントロールラインの延長線上を通過することで、ピット内でもチェッカーを受けた車両として扱う。ただし、チェッカーと同時にピットレーン出口は閉鎖されているため、コースインしてはならない。
- ～3) 最多周回数チームの走行した周回数の50%以上を走行したチームは、完走とする。
- ～4) チェッカーが振られた時点で完了する周回数を元に各賞の認定が行われる。

第32条 暫定表彰と終了後の車両保管

- ～1) イベント終了後はホームストレートにて全車車両保管となる。車両保管中は競技役員以外の者が車両に触れる事はできない。
- ～2) 車両保管は正式結果発表とともに同時に解除となる。
- ～3) いかなる理由があっても、車両保管および再車検は拒否できない。再車検の対象となった車両は車検長の指示があるまで車両保管は解除されない。
- ～4) 車両保管解除発表後、保管車両の責任は一切負わない。出場者は車両保管解除と同時に保管車両を速やかに引き取らなければならない。

第1章 DE 耐！特別規則

第33条 大会の中止

- ～1) 大会組織委員会は、特別な事情が生じた場合、イベントを中止することができる。
- ～2) 大会組織委員会の決定に対して全ての関係者は従わなければならない。
- ～3) 大会の中止と参加料等の返却は、下記の表のとおりとする。参加者は、その他一切の損害賠償を主催者に請求することはできない。

事 例	出場料	共済会掛金
大会期間中走行が1回も行われず中止	受付をした全チームに返却	共済会の適用となる練習走行が行われていなければ返却する
走行は行われ決勝グリッド発表後中止	受付をした全チームに返却	共済会の適用となる練習走行が行われていなければ返却する
決勝のスタートが行われたのち中止	返却しない	返却しない

第34条 賞典

- ～1) 特別賞は以下とし、変更の場合には公式通知にて告知する。
 - ◆最多周回数賞 各クラスにおいて最多周回数を記録したチーム
 - ◆優秀周回数賞 各クラスにおいて最多周回数賞に次ぐ周回数を記録したチーム
 - ◆ブービー賞 開催日ごとの総合結果の完走チームの中で下位から2番目のチーム
 - ◆メディア対抗賞 開催日ごとの専門誌名が入りチームで最多周回数を記録したチーム
 - ◆最多チーム員数賞 ライダー+ピットクルーの登録総数が最も多かったチーム
 - ◆ジャンプアップ賞 スタートグリッド順位より、最終順位が最も上がったチーム
 - ◆1周だけ速かったで賞 ベストラップを記録したチーム
 - ◆ベテランシニア賞 開催日ごとの総合結果の完走チームの中の平均年齢が50歳以上で最上位のチーム。
(オーバー50賞)
 - ◆アンダー30賞 開催日ごとの総合結果の完走チームの中の平均年齢が30歳以下で最上位のチーム。
(副賞：翌年の4ストミニバイク、公開練習会の1回分1日券走行料無料)
 - ◆最年少ライダー賞 開催日ごとの総合結果の完走チームの中で最年少のライダーがいるチーム
 - ◆遠くから参加しにきたで賞 開催日ごとの総合結果の完走チームの中で最も遠方の登録ライダーがいるチーム
(副賞：翌年の4ストミニバイク、公開練習会の走行料無料)
 - ◆来年リベンジしま賞 開催日ごとの総合結果の規定周回数を走行できなかったチームで、最多周回数を記録したチーム

- ◆アドバイザー賞 開催日ごとにアドバイザーが選ぶチーム（完走しないチーム含）
- ◆オフィシャル賞 開催日ごとにオフィシャルが選ぶチーム（完走しないチーム含）
- ◆MC賞 開催日ごとにアナウンサーが選ぶチーム（完走しないチーム含）
- ◆事務局賞 開催日ごとに事務局が選ぶチーム（完走しないチーム含）

～2) 以下の特別賞は、チームの申告より決定される。受理書に同封する申告用紙にて申請をする。

- ★レディース賞 最も輝いていた女性ライダー
- ★ベストデザイン賞 最もデザインが優れていた車両
- ★ベストコスプレ賞 最も輝いていた面白かったコスプレしたライダー
- ★ベストユニフォーム賞 最も輝いていたユニフォームを着用していたチーム
- ★ヘビーウェイト賞 チームに登録しているライダーの平均体重が75kg以上で最上位チーム

第35条 ペナルティー（反則行為については、ペナルティーを科す場合がある）

- ～1) 走行中の反則、妨害行為。
- ～2) イベント期間中の違反に対するペナルティーは競技監督が大会審査委員会に諮って審査委員会によって決定される。
- ～3) 大会審査委員会は状況に応じてペナルティーを軽減したり強化したりすることができる。
- ～4) 大会審査委員会はチームに対して下記の罰則を科することができる。

軽重順位	罰則	内容	決定機関
1	イエローカード	注意・・・3枚目のイエローカードを提示された場合はレッドカードの提示を行う	大会審査委員会 大会事務局
2	罰金	現金¥20,000以下	大会審査委員会
3	タイム／ポイント／周回数に対する罰則	当該チームの実際の成績に影響をおよぼすタイム／周回数の加算・減算・順位の変更のペナルティー／ストップ&ゴーペナルティー	大会審査委員会
4	失格	大会、イベント、レースまたは結果から失格となる	大会審査委員会
5	レッドカード	失格の罰則内容に加え、翌年のイベントに登録したチーム員全員の参加が認められない	大会審査委員会 大会事務局

- ～5) 決勝中以外（走行会や公開練習会等）の違反に対するペナルティーは大会事務局長が大会審査委員会に代わって科すことができる。
- ～6) 大会審査委員会もしくは大会事務局長により科された罰則に対して控訴する場合は、控訴保障料金10万円と控訴書を添えて通告を受けてから60分以内に大会審査委員会もしくは大会事務局にて申請すること。
- ～7) 競技運営団の判定に対して抗議する場合は、抗議料金1万円を添えて通告を受けてから、もしくは暫定結果発表後30分以内に大会事務局にて申請すること。
- ～8) ジャンプスタート（フライングスタート）に対するペナルティーは、ライドスルーペナルティーとする。ライダーはペナルティボードが提示されたら3周以内にライドスルーペナルティーを受けなければならない。提示開始から3周以内にライドスルーペナルティーが行われない場合は競技結果より5周減算とする。
- ～9) 給油時間不足およびピットレーン速度違反のペナルティーはペナルティーストップとする。ストップ時間については審査委員会により決定される。ペナルティーストップを消化できない場合（チェッカー直前等）は競技結果に対し相当の時間を加算する。加算する時間は審査委員会により決定される。
- ～10) サイティングラップもしくはウォームアップラップを行わなかった場合は、それぞれにおいて競技結果から2周減算される。

第36条 負傷時の医務室受診

負傷した際は、必ずサーキット内医務室の診断を受けなければならない。受診していない場合、共済会の適用から除外される場合がある。

●負傷時の指定病院

- (1) 芳賀日本赤十字病院
栃木県真岡市中郷 271（2019年2月末までは真岡市台町 2461）
TEL:0285-82-2195
- (2) 獨協医科大学病院
栃木県下都賀郡壬生町北小林 880
TEL:0282-86-1111
- (3) 自治医科大学附属病院
栃木県下野市薬師寺 3311-1
TEL:0285-44-2111
- (4) 水戸済生会総合病院
茨城県水戸市双葉台 3-3-10
TEL:029-254-5151
- (5) 水戸医療センター
茨城県東茨城郡茨城町桜の郷 280
TEL:029-240-7711

第37条 主催者の権限

主催者は次の権限を有するものとする。

- ～1) 参加申し込みの受付に際して、その理由を示すこと無く、参加者、ライダー、ピットクルーを選択あるいは参加を拒むことができる。
- ～2) チーム名が公序良俗に反する場合、公式プログラム・結果表への表記の拒否または変更を命じることができる。
- ～3) 競技監督が必要と認めた場合、ライダーに対し、指定医師による健康診断書の提出を要求し、健康上の理由による競技出場の可否を最終的に決定することができる。
- ～4) 競技番号の指定、ピットの割当等にあたり、各参加者の優先順位を決定することができる。
- ～5) やむを得ない理由により、公式プログラムの印刷に間に合わなかったライダーの氏名登録または変更について許可することができる。
- ～6) すべての参加者、ライダー、ピットクルーの肖像権およびその参加車両の音声、写真、映像など、報道、放送、放映、出版に関する権限を有し、この権限を第三者が使用することを許可することができる。
- ～7) 公序良俗に反する言動がある参加者に対しては、選手受付後であっても参加を拒否することができる。
- ～8) 保安上または不可抗力による特別の事情が生じた場合、大会審査委員会の了承を得てレースの延期、中止、およびレース距離の短縮、コースの変更等を決定することができる。
- ～9) 各レース区分において申し込み数が15台に満たない場合、そのレース区分を他のレースとの混走のレースとして開催、またはそのレース区分を取り止めることができる。また、決勝レース出場台数が10台に満たない場合も同様とする。

第38条 損害の補償

車両の破損：参加者は、車両が競技役員によって保管されている期間をのぞき車両およびその付属品が破損した場合、その責任を各自が負わなければならない。

損傷の責任：行事開催期間中、またはその前後におきたライダーおよびメカニック、ヘルパーの損傷は自らが責任を負うものとする。

第39条 大会役員の責任

参加者、ライダーおよびピットクルーは主催者・大会役員・競技役員が一切の損害補償の責任を免ぜられていることを知っていなければならない。すなわち大会役員はその職務に最善を尽くすことは勿論であるが、もしその行為によって起きた参加者、ライダー、ピットクルーおよび車両等の損害に対して、大会役員は一切の補償責任のないことをいう。

第40条 本規則の解釈

本特別規則およびイベントに関する公式通知や諸規則の解釈についての疑義がある場合、参加者はイベント前日までに文書によって質疑申し立てができる。質疑に対する回答は、審査委員会の解釈または決定を最終的なものとして関係当事者に文書または口頭で通告される。

第1章 DE耐！特別規則

第41条 ブルテンおよび公式通知の発行

本規則に記載されていないイベント運営上の細則や、参加者に対する指示、本規則発表後に生じた必要指示事項は、DE耐!ブルテンもしくは公式通知によって示される。

DE耐!ブルテンは下記のホームページに掲載される。参加者は参加前に下記ホームページのブルテンの内容を確認すること。

● <https://www.twinring.jp/detail/>

公式通知は下記のいずれかの方法により参加者に通告される。

- 1) 代表者の住所に郵送される。
- 2) コントロールタワー前のレースリザルト掲示板に掲出される。
- 3) 公式練習後、あるいは公式練習や決勝前など必要に応じて招集されるライダーズブリーフィングで指示される。
- 4) 場内アナウンスによって案内される。

第42条 広告に関する事項

オーガナイザーは次のものに関し抹消する権限を有し、かつライダーはこれを拒否することができない。

- ～1) 公序良俗に反するもの
- ～2) 政治・宗教に関連したもの
- ～3) イベントに関係するスポンサーと競合するもの

第43条 本特別規則の施行

本特別規則は、第1条に示されるイベントに適用されるもので、イベントの参加申し込み受付開始と同時に有効となる。

第2章 ちょっとDE耐！特別規則

2019“ちょっとDE耐！”は、一般財団法人日本モーターサイクルスポーツ協会（MFJ）承認のもと、2019MFJ 国内競技規則および本行事特別規則に基づいて開催される。

第44条 競技会の名称・格式

2019 ちょっとDE耐！（MFJ承認ミニバイク競技会）

第45条 主催者

第1章DE耐！特別規則第2条 主催者に準ずる。

第46条 開催場所とコース

第1章DE耐！特別規則第3条 開催場所とコースに準ずる。

第47条 大会役員

大会役員は、公式プログラムに示す。

第48条 参加資格

～1) チーム代表者

本特別規則、参加の手引き、走行のルール・マナーを理解し、責任を持ってチーム員を統制できる者。

～2) ライダーの年齢

申し込み時に満12歳以上であること。

～3) ライダーのライセンス

6月12日（水）（チーム登録編成内容変更期限）までに当該年度有効な以下のライセンスを所持していること。

・エンジョイ・ピットクルー A・ロードレースジュニア・ロードレースフレッシュマン
・ロードレース国内・ロードレース国際

※ ロードレース国際ライセンスのライダーが参加できるのは「DE耐！クラス」のみとする。

～4) ライダーの走行経験の条件

参加ライダーは以下のいずれかの条件を満たさなくてはならない。

① 2018年のDE耐！（ちょっとDE耐！除く）決勝を走行。

② 2018年以降にツインリンクもてぎで開催された4ストミニバイク走行会もしくはDE耐！公開練習会を走行。

③ 当該年のちょっとDE耐！決勝前日の特別スポーツ走行を走行。

～5) ライダーの「安全運転座学」受講

「MFJエンジョイライセンス」および「MFJピットクルーライセンス」での参加者は、当該年の『安全運転座学』受講しなければならない。ただし、ロードコース、北ショートコース TRMC-S 会員ならびに2018年のDE耐！（ちょっとDE耐！除く）に参加ライダーは、「安全運転座学」受講は免除される。

「安全運転座学」は、4ストミニバイク走行会、DE耐！公開練習会、ちょっとDE耐！決勝当日に無償で開催される。

- ～6) ピットクルーの年齢
申し込み時に満16歳以上であること。

第49条 開催日程

2019年7月13日(土) 3時間30分耐久イベント
DE耐！クラス・NSF100クラス・エンジョイクラス・GROMクラス・GROM Cupクラス
KSR110クラス・Z125PROクラス

第50条 参加申込み・チーム編成登録書送付先

- 参加申込み書送付先
〒321-3597 栃木県芳賀郡茂木町松山120-1
ツインリンクもてぎ モータースポーツ課 DE耐！事務局
TEL：0285-64-0200 FAX：0285-64-0209
- チーム編成登録書送付先
〒329-0101 栃木県下都賀郡野木町友沼6601-5
ライディングハート内 DE耐！係
TEL:0280-23-2756 (11:00～18:00、日・月定休) FAX:0280-57-4899

第51条 参加申し込み

- ～1) DE耐！ホームページ (<https://www.twinring.jp/detail/>) より、原則ウェブエントリーのみとする。但し、特別に事務局が認めた場合に限り、現金書留、直接持参での申込みも可とする。
- ～2) 申込み定員は、先着順で160台(内主催者招待10台)とする。
- ～3) 参加申込みは、参加クラス、チーム名、チーム代表者、希望ゼッケンを申し込む。
- ～4) 参加申込期間は、2019年4月3日(水) 10:00～2019年5月15日(水) 24:00とする。
- ～5) 申込みの後、案内される方法にて参加料を支払う。参加料支払いをもって、申込みを完了とする。
- ～6) ゼッケンは、参加申込み時の希望ゼッケンを先着順にて大会事務局で決定する。
- ～7) 申込み締め切り後、チーム編成登録書、誓約書・承諾書がチーム代表者に送付される。
- ～8) チーム編成登録書は、参加車両、ライダー、ピットクルーの詳細情報(住所、緊急連絡先、ライセンス番号等)を登録する。※インターネットによる情報入力でのチーム編成登録も可能。入力するアドレスはチーム編成登録書で案内される。
- ～9) 承諾書・誓約書は、署名捺印をすること。鉛筆・消えるボールペンでの記入は認めない。
- ～10) チーム編成登録書および誓約書の送付締め切りは、2019年6月5日(水)とする。
- ～11) 20歳未満のライダーは参加申込書の誓約書・承諾書に親権者または保護者の署名と実印の捺印とその印鑑証明書(3ヶ月以内に取得したもの)を必要とする。ただし、事前に年間の誓約書・承諾書、印鑑証明書を提出している場合、当該大会において印鑑登録証明書は提出不要だが、当該大会の署名捺印(印鑑証明の捺印)の誓約書・承諾書は提出すること。
- ～12) 完全に提出できないものは、いかなる理由があろうと競技に参加することはできない。
- ～13) 代表者は、1名の登録しなければならない。

第2章 ちょっとDE耐！特別規則

- ～14) ライダーは、2名～6名まで登録しなければならない。ライダーは同日開催の複数チームに重複して登録できない。
- ～15) 申込時に満18歳以下のライダーは、「エアバッグ機能付きウエア」を装着しなければならない。
- ～16) ピットクルーは、1名～6名まで登録しなければならない。
- ～17) 参加申込者に対しては締切後、大会事務局から参加受理または、参加拒否が通知される。参加を拒否された申込者に対しては、参加料が返還される。（ただし、事務手数料金として2,000円を差し引く）
- ～18) 参加申込後、参加を取り消す申込者に参加料は返却されない。
- ～19) 大会組織委員会は、理由を明らかにする事なく、参加申し込みを拒否する権限を有する。参加申し込みの拒否に関しては締め切り後に連絡する。

第52条 ライダー

- ～1) ライダーは、以下の名称とし腕章の色にて識別される。
 - A ライダー・・・赤色 ○D ライダー・・・白色
 - B ライダー・・・黄色 ○E ライダー・・・桃色
 - C ライダー・・・緑色 ○F ライダー・・・青色
- ～2) 決勝（ファイナルイベント）でのライダーの走行順番、走行時間は管理しない。
- ～3) スタートするライダーは、走行経験が豊富で安全にスタートをできる者とする。スタートライダーの申告や申請は不要とする。
- ～4) 走行中は、必ず腕章は右腕上腕部に装着すること。

第53条 ピットクルー

第1章DE耐！特別規則第10条 ピットクルーに準ずる。

第54条 クレデンシャル（身分証）と車両通行証

- ～1) 参加申し込みが正式に受理された参加者には、指定登録されたライダー、ピットクルーなどの身分証が主催者より送付され、特別スポーツ走行日当日より有効となる。
- ～2) 参加者のサービスカーは、大会事務局が交付する通行証を貼付していなければパドックへの通行ができない。また、駐車中も通行証を車の前方から見える位置に提示すること。通行証を確認できない場合は予告無しでレッカー移動する場合がある。
- ～3) パドック通行が許される参加者のサービスカーは、原則として参加1チームにつき、第1パドック1枚・第2パドック2枚とするが、参加台数により増減する場合がある。
- ～4) クレデンシャル（身分証）は、登録人数分のほか、1チームにつき4枚のヘルパー他ゲスト用パスを送付する。
- ～5) パドックおよびツインリンクもてぎ内における通行、駐車、行動の指示は公式通知と案内標識に従わなければならない。駐車場所以外に車両を駐車した場合は、レッカー移動し、参加者に罰則を科す場合がある。
- ～6) 交付された身分証や通行証は他に貸与したり転用してはならない。貸与、転用した場合、また、複製等不正使用した場合は1件につき罰金1万円を科す。
- ～7) 身分証、通行証を紛失または破損した時は事務局に再交付の手続きを取り、再交付を受けること。

第55条 参加料、登録料と共済会掛け金

～1) 参加料および共済会掛金

参加料 36,000円(税込) / 1チーム

参加料とは別に、以下の登録料とMS暫定共済会費を当日の参加受付にて支払わなければならない。

	TRMC-S・SMSC会員	TRMC-S・SMSC非会員
ライダー	0円	登録料3,100円 +MS暫定共済会費7,000円
ピットクルー	登録料600円	登録料600円 +MS暫定共済会費500円

第56条 料金規定

項目	料金(税込)	備考
ピットクルーの変更・追加手数料(1名)	無料	参加受付時のみ対応
ライダー変更手数料(1名)	1,000円	チーム編成登録締切～ チーム編成内容変更期限
ライダー変更手数料(1名)	30,000円	チーム編成内容変更期限以降
ライダー削除手数料(1名)	1,000円	
その他の登録内容の変更	5,000円	
車両変更手数料(1台)	5,000円	※競技監督が認めた場合に限る。 参加申込締切～公式車検前
車両の1部品(エンジンまたはフレーム)変更手数料(1台)	10,000円	※競技監督が認めた場合に限る。 公式車検以降～
車両通行証再発行(1枚)	5,000円	
クレデンシャル再発行(1枚)	5,000円	
トランスポンダー補償料(1個)	54,000円	
ピットサインマン腕章(1枚)	1,100円	

第57条 もてぎ鈴鹿(MS)共済会

第1章DE耐！特別規則第14条 もてぎ鈴鹿(MS)共済会に準ずる。

第58条 参加受付(書類審査)

～1) 参加受付時に下記の書類を提示もしくは提出しなければならない。不備がある場合は参加を認めない。

- ① 参加受理書
- ② 登録料・共済会費
- ③ ピット防火に関する誓約書
- ④ 自家発電機 使用申請書
- ⑤ チームプロフィール
- ⑥ その他 主催者が指定したもの

※「車検チェックシート」「装備品チェックシート」は事前に記載し、車検で提出。

第2章 ちょっとDE耐！特別規則

～2) 参加受付前の指定期日までに事前に送付が必要なもの

- ① ライセンスコピーシート (MFJ・TRMC-S・SMSC ライセンス)
- ② チーム編成登録書

第59条 参加車両

第1章DE耐！特別規則第16条 参加車両に準ずる。

第60条 自動車番読取装置 (トランスポンダー) の装着

第1章DE耐！特別規則第17条 自動車番読取装置 (トランスポンダー) に準ずる。

第61条 燃料規定

第1章DE耐！特別規則第18条 燃料規定に準ずる。

第62条 車両検査

第1章DE耐！特別規則第19条 車両検査に準ずる。

第63条 スタート前チェック

タイムスケジュールに従って、決勝 (ファイナルイベント) レース出場者は、指定された場所にて、必ずスタート前チェック (車検員による最終確認) を受けなければならない。チェックを受けるものは、公式車検にて合格した車両とヘルメットとする。車両は決勝レースが走行できる状態で持ち込むこと。スタート前チェックを受けた車両は各自ピット前にて車両保管すること。ピットボックス内に車両を入れた場合は、リタイヤとする。(転がしタイヤの装着は禁止)

第64条 ピット・パドックの使用

第1章DE耐！特別規則第21条 ピット・パドックの使用に準ずる。

第65条 公式予選

第1章DE耐！特別規則第22条 公式予選に準ずる。

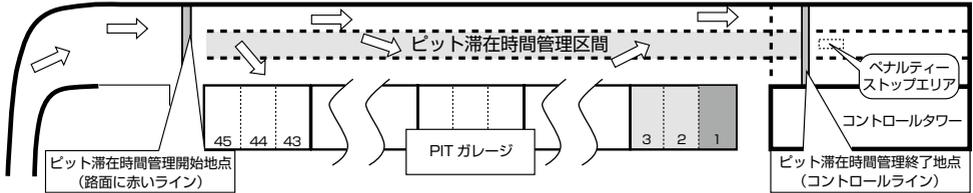
第66条 スタート進行 (手順)

第1章DE耐！特別規則第23条 スタート進行 (手順) に準ずる。

第67条 ピット作業

- ～1) ピット作業とは、工具や部品等で車両に対して手を加えること、およびライダーの乗降行為を言う。
- ～2) ライダー交代する時は、エンジンを停止しなければならない。

- ～3) 決勝（ファイナルイベント）中に、給油の有無およびライダー交代の有無に関わらず、ピットインした場合は、3分間のピットストップをしなければならない。時間ラインの管理区間は下記とする。
また、時間管理は各チームの責任において行うものとし、下図に記載の区間に滞在していた時間を管理するものとする。



- ～4) 車両がピットインしたとき、当該車両のメカニックは自己のピット前の停車区域に出て作業することができる。ピット作業の場合を除いて停車区域に出ること、部品や工具を停車区域に置くことはできない。
- ～5) 決勝（ファイナルイベント）中のピット作業要員は、その車両に登録されたライダーおよびピットクルーとする。作業に携わっていない者は停車区域に留まってはならない。
- ～6) ピット内において火の粉が出る作業（サンダー等）はできない。エアツールの使用は認める。
- ～7) スタート前チェック以降、決勝（ファイナルイベント）中にピットボックス内に車両を入れた場合は失格とする。
- ～8) ピット以外の地点で停車した車両に対して、作業をすることはできない。
- ～9) 決勝（ファイナルイベント）中に、フレーム、クランクケース、燃料タンク、キャブレターの交換は認められない。ただし、競技監督が止むを得ない事情と判断し許可しその場合には、交換が認められる場合がある。車両変更手数料が支払い車検員の検査により安全が確認された場合は走行ができる。元の部品を掲示および車検において保管を指示する場合がある。

第68条 ピットサイン

- ～1) チームのサインマンエリアは大会事務局により指定されない。
- ～2) ピットサインは指名登録されたピットクルーが、指定の腕章を着用し、ピットサインエリアまで出てサインを送ることができる。
- ～3) ピットサインエリアには、1チーム2名まで入ることができる。
- ～4) ピットサインエリアまで出入りする際にはピットインおよびピットアウトする車両に充分注意するとともに、車両の通行を妨げてはならない。
- ～5) ピット前およびピットサインエリアでは傘等の風で飛ばされるものを身に付けてはならない。
- ～6) 決勝のスタート時には、ピットサインエリア内の立ち入りは禁止です。
全車スタートが完了し放送の指示が有るまではサインエリアに立ち入らない。
- ～7) 走行中のライダーと無線機（携帯電話含む）等の通信は使用してはならない。

- ～8) 使用するサインボードの大きさは100cm×60cmの長方形を超えるものであってはならない。
(風によって飛ばされる可能性がある構造物・テント・傘等は、ピットサインエリア内に設置してはならない。またオフィシャルの指示があった場合その指示に従わなければならない。)
- ～9) サンドルおよびヒールの高い履物はピットエリアの立ち入りは禁止とする。ピットクルー要員等の履物は運動靴・スニーカーなどが望ましい。

第69条 決勝（ファイナルイベント）中の燃料補給

- ～1) 給油量は規定しない。
- ～2) 燃料補給とは、燃料給油のため燃料タンクの蓋を開けたところから、給油を終え蓋を閉じ、こぼれた燃料をふき取るまでをいう。
※ただし、燃料タンクの残量確認で燃料タンクの蓋を開け燃料タンク内を見る場合は、火災に備え消火器を構えて確認すること。
- ～3) 燃料給油機器は、市販されている金属製ガソリン携行缶（消防法適合品）とする。
- ～4) 決勝中に燃料補給を行う場合、各自のピット前の作業エリア（停車区域）にて給油を行わなければならない。
- ～5) 燃料補給の前に、車両はスタンドによって完全に支持され安定した状態でなければならない。（スタンドの構造、支持方法は問わない。）
- ～6) エンジンを停止しライダーが降車しなければ、燃料補給してはならない。
- ～7) 燃料補給に携わるピットクルー（消火スタッフも含む）は、化繊素材の服およびサンドルの着用は禁止とする。基本的に難燃素材（綿100%可）の肌の露出の少ない長袖長ズボンの服を着用すること。顔面保護のため、ゴーグルまたはシールド付きのヘルメット装着を強く推奨する。
- ～8) 燃料タンクから溢れた燃料は、確実に拭き取らなければならない。
- ～9) 各自のチームにて容量2kg以上の消火器を準備すること。
- ～10) 燃料補給中は、登録されたピットクルーもしくはライダーが消火器を持ち、火災に備えなければならない。

第70条 フルコースコーション

第1章DE耐！特別規則第27条 フルコースコーションに準ずる。

第71条 走行の中断

- ～1) やむを得ない事情により、イベントの続行が不可能と判断された場合、競技監督は審査委員会の指示または同意を得てイベントを中断させることができる。ただし、緊急の場合は競技監督の判断で中断、あるいは必要な処置をすることもある。
- ～2) イベント中断の場合は、全てのポストで赤旗を振動提示する。またシグナルによる赤色灯の併用によって合図される。

- ～3) イベントが中断された場合、ライダーは最大限の慎重さと注意をもって進み、必ずその周にピットインしなければならない。競技監督により作業再開の指示があるまで予めピットインしていた車両を含め、全ての車両への作業は禁止される。但し、給油作業中の車両に関しては、一連の作業を終えることとする。
また、中断の合図が出された時点でピットレーンを走行中のライダーは、ピットインしていたものとする。
- ～4) 公式通知により発表されたイベント終了時刻の30分前以後にイベントが中断した場合は、イベントは成立したものとみなされる。順位はイベントが停止される前の周回における順位とする。
《ピットボックスに車両を入れると失格になります》

第72条 赤旗中断されたレースの再スタート

第1章DE耐！特別規則第29条 赤旗中断されたレースの再スタートに準ずる。

第73条 イベント終了

第1章DE耐！特別規則第30条 イベント終了に準ずる。

第74条 順位および完走の認定

- ～1) 順位認定は、コントロールライン上（ピットレーンも含む）でチェッカーを受けて最終周回を完了したチームに対して優先的に与えられる。
- ～2) 順位は、レース終了時の周回数の多いチームから決定される。同一周回数の場合は、コントロールライン（ピットレーン上も含む）通過順位によるものとする。
※ DE 耐！と異なり、同一周回数は同一順位とならない。
- ～3) 優勝チームの走行した周回数の50%以上を走行したチームは、完走として認定される。
- ～4) ピットレーン上にもコントロールラインは存在するものとし、そのコントロールラインを通過することによりチェッカーフラッグを受けることができる。
※ピットレーン上のコントロールラインは、コース上のライン延長線上とする。
- ～5) ピットレーンでチェッカーを受ける場合については、以下の規定を遵守すること。
 - ① 乗車しているライダーは、正規に登録されたライダーであること。
 - ② ライダーは車検に合格した装備を完全に装着していること。
- ～6) チェッカーを受けられなかったチームの内、完走認定されたチームは、チェッカーを受けた後に順位付けされる。

第75条 暫定表彰と終了後の車両保管

第1章DE耐！特別規則第32条 暫定表彰と終了後の車両保管に準ずる。

第76条 大会の中止

第1章DE耐！特別規則第33条 大会の中止に準ずる。

第2章 ちょっとDE耐！特別規則

第77条 賞典

賞典は各クラスごとに与えられる。

順位	賞典内容
優勝	トロフィー
2位	トロフィー
3位	トロフィー
4位	トロフィー
5位	トロフィー
6位	トロフィー

第78条 ペナルティー（反則行為については、ペナルティーを科す場合がある）

第1章DE耐！特別規則第35条 ペナルティーに準ずる。

第79条 負傷時の医務室受診

第1章DE耐！特別規則第36条 負傷時の医務室受診に準ずる。

第80条 主催者の権限

第1章DE耐！特別規則第37条 主催者の権限に準ずる。

第81条 損害の補償

第1章DE耐！特別規則第38条 損害の補償に準ずる。

第82条 大会役員の責任

第1章DE耐！特別規則第39条 大会役員の責任に準ずる。

第83条 本規則の解釈

第1章DE耐！特別規則第40条 本規則の解釈に準ずる。

第84条 ブルテンおよび公式通知の発行

第1章DE耐！特別規則第41条 ブルテンおよび公式通知の発行に準ずる。

第85条 広告に関する事項

第1章DE耐！特別規則第42条 広告に関する事項に準ずる。

第86条 本特別規則の施行

第1章DE耐！特別規則第43条 本特別規則の施行に準ずる。

第2章ちょっとDE耐！特別規則に記載なき内容は、第1章DE耐！特別規則および運用とする。

第3章 車両規則

第87条 車両規則基本仕様

～1) 用語の定義

- ① 改造＝オリジナル（車両公認時に装着されたもの）のパーツに対し切削、追加、研磨を行う行為。
- ② 変更＝オリジナル（車両公認時に装着されたもの）のパーツまたは仕様を、他のパーツ・仕様に置き換える行為。
- ③ 修理＝転倒などによりダメージを受けたパーツに対し、公認車両と同等の機能に回復される行為。
溶接または接着剤により、公認車両と同じ材質の部材追加することのみ許可される。切削、研磨（表面処理を除く）をすることは許可されない。
- ④ 材質＝「鉄、アルミニウム、カーボンなど」の分類を指し、製造方法まで規制するものではない。各材質は、各々の材質を主成分としたものである。材質については、必要に応じて製造方法も併記して規制の運用を行う。
- ⑤ 素材＝材質と製造方法を含む。
- ⑥ フレーム＝エンジンが取り付けられている部分を中心にステアリング取付け部分とリヤサスペンション取付け部分を含む構造体のこと。シートを取付けるためのサブフレームはフレーム本体に溶接されている場合はフレームとみなす。ボルトオン（脱着可能）のものはフレームとみなさない。

～2) 参加車両

排気量が100cc以下の4サイクルエンジンを搭載した公道用一般市販車と公道用一般市販車 GROM、KSR110、Z125PRO および下記の一部の競技専用車両。

YAMAHA TTR90

HONDA GROM、NSF100、XR100R、CRF100F、XR80、XR70、XR50、CRF50、Z50R、ドリーム 50R

～3) フレーム

- ・フレームの載せ換え、改造は禁止する。ただし、不要なステーの切断、カウル取り付けの為にステーとハンドルストッパーの溶接は認められる。燃料タンクやステップ取り付けのための溶接や、フレーム補強と主催者が判断するものは認められない。メインスタンド、サイドスタンドブラケットおよびピリオンステップブラケットのカットも認められる。
- ・フレームに車体番号が無い物は盗難品の使用を防ぐために使用できない。ただし、フレームの破損等により交換した場合は販売店の販売証明書または譲渡証明書があれば参加を認める場合がある。ただし、過去に証明書を提出した方は再提出は不要とする。
※ 証明書は決勝の車検時に持参すること。（コピー可）
- ・オリジナルフレームでの参加できない。
フレームの加工は禁止する。

~4) ナンバープレート（ゼッケン）

- ・車両のフロントとシートカウルの両サイドにゼッケンナンバーが装着され、観客とオフィシャルが明白に認識できるようにしなければならない。また、ライダーが自分のシートに座った時に身体で隠れてしまわないようにすること。
ただし、アンダーカウルが装備され、サポートナンバーが規定の寸法で貼り付け可能な車両についてはシートカウルまたはシート上部に数字の上部をライダーに向けてるようにゼッケンナンバーを装備することが認められる。サポートナンバーとは、アンダーカウル内で前後のタイヤの上端を結ぶ線の下部内の左右両面にゼッケンを装着する事の出来る車両で、貼り付け位置は、アンダーカウル後端部を推奨位置とする。
- ・ゼッケンベースを取り付ける場合、楕円形または長方形で頑丈な材質でなくてはならない。最低寸法は横250mm×縦190mmの貼り付け面積を確保したものをマシンの前と左右、3箇所スペースを取ること。もしくは別個のナンバープレートを装着する代わりにボディまたはフェアリング両サイドに同寸法のスペースをつや消しでペイントするかあるいは固定することが認めらる。
- ・ゼッケンナンバーの色数字の字体は、第1章 DE 耐！特別規則第16条 車両規則とする。いかなる場合においても文字は判別しやすいようにすること。なお、ナンバーをつけるためのアンダーカウルの形状変更は認めらる。アッパーカウルとアンダーカウルの分割位置も変更可能。
- ・正規のナンバーと混同する恐れのあるその他のナンバープレート、またはマーキングは競技会の開始前にすべて取り外すこと。

~5) ボディワーク（フェアリング、ウィンドスクリーン、エアダクト）

- ・追突や接触時の危険を避けるため、車両の一部がリアタイヤの最後端より後ろに出ないようにすること。
- ・エンジンおよびその他のすべての電気部品を停止する事のできる効果的なエンジンストップスイッチがハンドルレバーのグリップを握った状態で手の届く範囲に取り付けること。

レースのために取り外さなければならない部品

- ・下記の部品を取り外すこと。
ヘッドライト／テールライト／ウインカー／リフレクター
バックミラー
ナンバープレートと、リヤフェンダーと別体式の場合のナンバープレートブラケット
セーフティバー／サイドスタンド／メインスタンド
同乗者用フットレスト／グラブレール
シートレールに取り付けられた荷掛けフック（溶接されたものの切削可）
ホーン
その他車検時に安全上取り外しを指示された部品

- ・カウリングをアフターマーケットのものに変更することは認めらる。また、外見の変更も認められる。公認車両にカウルが装備されていない場合はナンバープレート兼ねたアッパーカウルと、規定のオイル量を保持できるアンダーカウルおよびそれらを取り付ける為のステーの追加が認められる。ただし、カウルを追加する場合の取り付けはアッパーカウルとアンダーカウルは個々に独立して保持される構造にすること。
- ・カウリングを交換した場合はカウリングの吸気口のメッシュフィンが付いてなくても良い。
- ・ウインドスクリーンの先端と全てのフェアリングの露出部分の先端は丸めること。
- ・カウリング取り付けのためのブラケットの改造・変更は認められる。ただし、露出しているエッジはすべて丸めること。
- ・リヤフェンダーの形状変更、追加・削除することができる。

～6) ボルト・ナット

- ・ボルトおよびナットは変更を含めて自由とするが、フロント／リヤホイールスピンドル、リヤフォークピボット、エンジンハンガー、ステムシャフトに軽合金製およびチタニウム製のボルト・ナットの使用は禁止する。

～7) 突起物

- ・車両にライダー等を傷つける恐れのある突起物（尖ったレバーや破損して鋭利になった部分）がある場合は必ず除去すること。

例：フレームにタンデムステップが溶接されている「XR100モタード」の場合は、安全性を高めるために柔軟性のある物（ゴムやウレタンスポンジなど）で覆うかステーを切断すること。

※エイプの場合はボルトで付いており、パーツの取り外しでよい。

- ・転倒時の車両ダメージを最小限に抑えるためフレームにプロテクティブコーンの取付けが認められる。ただし使用するプロテクティブコーンの先端を10mm以上の曲面で面取りすること。またプロテクティブコーンにエンジン保護以外の機能を持たせることは禁止とする。
- ・尖っているエッジは、少なくとも半径8mmの丸みを持たせること。（プレーキクラッチレバー、ハンドルバーエンド、プレーキ／シフトペダル、フットレスト等）
- ・ハンドルバーの末端が露出している場合は、固形物質を詰めるかゴムでカバーすること。

～8) ハンドルストッパー

- ・ライダーの指が挟まれないようにするために、ハンドルを左右いっぱい切ってもハンドルバー（レバーを含む）と燃料タンクの間で最低20mmの間隔があるように、ストッパー（ステアリングダンパー以外のもの）を取りつけてください。ステアリング・ダンパーを追加する、またはアフターマーケット・ダンパーに変更することができる。ステアリングダンパーをハンドルストッパーとしての使用はできない。

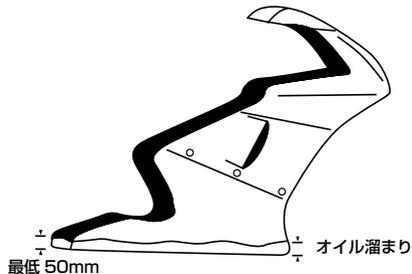
～9) シート・シートカウル

- ・シートの変更が認められます。また、ライディングポジション調整のための最小限度の部品（パッド、樹脂類など）を追加することが認められる。ただし後端がタイヤよりはみ出ないようにすること。

～10) アンダーカウル

- ・必ず使用しているオートバイのエンジンオイル全容量を受け止める事のできる容量と形状を確保しているアンダーカウルを装着しなければならない。また、エンジンのどこからオイルが出ても受け止められるようにエンジン下面をすべて覆うこと。アンダーカウルには水抜き穴を設けること。この穴はドライコンディションの時は閉じ、競技役員の指示があった場合のみ開ける事ができること。
 - ・アンダーカウルの取り付けはフレーム等にしっかりと取り付け、走行中に脱落したり路面に接地しないような構造にすること。タイラップやワイヤーだけの固定方法は禁止とする。
- ※ 毎年コース上にアンダーカウルを落とす車両が多く、大変危険なため取り付けはしっかり行うこと。

オイル溜まり



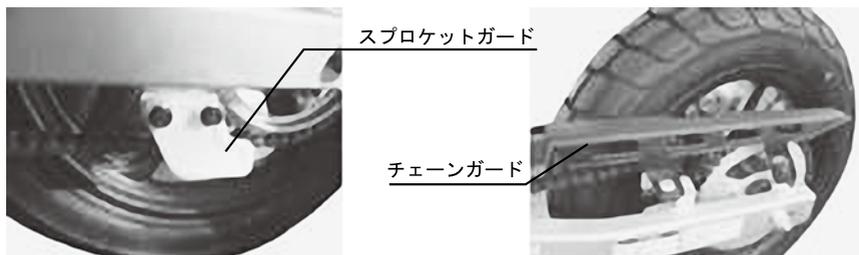
～11) スタンドブラケット

- ・リアホイールスタンドのブラケットはリアフォーク（スイングアーム）に取り付けるための加工、またはボルト止めが認められる。但し必要以上に長く鋭角なものは安全上使用が認められない場合がある。
- ・ブラケットを取り付けするためのフェアリングのカットは認められる。但し、ブラケットとフェアリングのクリアランスを5mm以上取ること。

～12) チェーンガード&スプロケットガード

- ・必ずチェーンガード&スプロケットガード（フロントおよびリア）を取付けること。
※チェーンガードについては、メーカー純正で装着されているもので可とする。
- ・チェーンとリアスプロケットの間に身体の一部が誤ってはさまれることがないように、リアスプロケットガードを取り付けること。そのリアスプロケットガードはスプロケットとドライブチェーンの正回転方向の噛合部を覆う物を使用してください。材質は金属、頑強なプラスチックまたは樹脂とし、取り付け方法はスイングアームにボルト・オンまたは溶接し、安易に脱落しないよう確実に固定すること。タイラップやワイヤー等のみでの取り付けは認められない。形状はチェーンとスプロケットの間にライダーの手足が巻き込まれないという目的にかなったもので、外観部にシャープエッジでないこと。リアフォークの補強とリア・スプロケットガードを兼ねることは認められる。リア・スプロケットガードの板厚は最低2mm以上の厚みが必要。

- ・車両にはフロント・スプロケットガードを装着すること。ただし、純正のスプロケットガードを使用し逆シフトにする際に、フロント・スプロケットガードが干渉する場合には最小限の加工が認められる。しかし本来の機能が果たせなくなるような加工は認められない。



～13) スプロケット・ドライブチェーン

- ・スプロケットおよびドライブチェーンはサイズも含めて変更が認められる。ただし、ドライブチェーンはモーターサイクル用のものに限定される。

～14) エキゾーストパイプおよびシステム

- ・エキゾーストパイプとサイレンサーの交換は認める（NSF100 クラスは除く）。ただし、非常に音量の大きい車両は運営に支障をきたす場合があるため下記の排気音量を越えてはならない。

- ・音量は 4000rpm で測定時、99dB / A 以下とすること。

違反した場合は失格になる場合がある。

※ 測定方法：測定のためのマイクロフォンの位置は、排気管後方端から 500mm で、車体の中心線から後方 45 度で排気管と同じ高さとする。但し、高さが 200mm 以下である場合は 45 度上方の点で行う。ギヤはニュートラルにしてエンジンを回転させ、所定の回転数に達するまでエンジンの回転を増していき、測定は所定の回転数に達したときに行う。（公開練習で任意の音量測定／お試し測定のを設ける。）

- ・エキゾーストパイプの後端はリアタイヤの後端垂直線より後ろにあってはならない。またエキゾースト・パイプ先端を含む鋭利な部分は丸みを帯びさせていなければならない。

エキゾースト・パイプ先端を含む鋭利な部分の丸みを帯びさせるとは、エキゾースト・パイプ先端の板厚が 2mm 以上、その角部は 0.5R 以上とする。板厚を確保するために複数の板の溶接構造は可とする。

- ・排気ガスは後方に排出しなければなりません。ほこりを立てたり、タイヤやブレーキを汚したり、他のライダーに迷惑を掛けるような放出方法は認められない。

～15) ハンドルバー・レバー類

- ・ハンドルバーおよびグリップは改造および変更が認められる。形式（パイプタイプ、セパレートタイプ）の変更も可能です。
- ・ブレーキレバー／クラッチレバー（ホルダーを含む）およびブレーキ／クラッチケーブル／スロットルケーブルの変更が認められる。

- ・ブレーキレバーに関しては、調整機構つきのものも認められますが、リモート式への変更は認められる。
 - ・ハイスロットルのためのスロットルホルダーの変更は認められる。
 - ・スロットルワイヤーの改造および変更が認められる。
 - ・アクセルは手で握っていないときは、自動的に閉じる仕様にしなければならない。
 - ・ブレーキ／クラッチレバーの先端はボール状にしてください。このボールを平たくすることができるが、端部は丸みをもたせること。
 - ・車両には、他の車両との接触等の場合に、ブレーキレバーが作動しないようにブレーキレバープロテクションの装着を推奨する。(2021年より装着を義務づける。)
 - ・装着の際には、スロットルグリップの作動に支障がないように注意すること。
 - ・クラッチレバープロテクションの装着も認められる。
 - ・レバープロテクターの最大幅は、取り付け部を含めて左右のグリップラバーエンドから50mm以上突出していないこと。形状は自由とするが、鋭利な部品やエッジが無い状態で、取り付け方法は方持ちタイプに限定される。レバープロテクションに使用される材質は、規定されない。
- ～16) ワイヤーハーネス・スイッチ類・CDIユニット・スパークプラグ
- ・ワイヤーハーネスは自作を含めて、改造および変更ができる。
 - ・スイッチ類の変更が認められる。
 - ・CDIユニットおよびイグニッションコイルの変更が認められる。
 - ・スパークプラグ、ハイテンションコード、プラグキャップの変更が認められる。
- ～17) エンジンストップスイッチ
- ・緊急時エンジンを停止できるスイッチを必ず取り付けること。
 - ・エンジンストップスイッチはハンドルを握ったまま操作できる位置に取り付けること。
- ～18) 始動装置
- ・すべての車両にキックまたはセルスターターによる始動装置を装備してください。押しがけによる始動は禁止とする。
 - ・バッテリーの変更および取り外しも認められるが、エンジンはキックまたはセルスターターで始動できること。
- ～19) フットレスト・チェンジレバー・ブレーキペダル
- ・フットレストの改造および変更は認められますが、下記条件を満たさなければならない。ただし車両公認時から改造および変更しない場合は、突起物を取り外し車検長の許可を得れば下記仕様を満たさなくても使用できる。なお、APE100などメーカー純正ステップをそのまま使用している車両で、ゴムタイプのステップが削れて心棒が露出しないよう、ゴム部分の交換をしなくてはならない。また、ステップに取付けられているバンクセンサーボルトも外すこと。決勝中にステップが削れて心棒が露出した場合も含み、先端が鋭利なものは一切不可としますので必ず丸く加工すること。
 - ・ブラケットの改造および変更によりステップおよびブレーキペダルの位置を移動することは認められますが、加工せずに取付けできる様にブラケットは元の取付け位置に固定すること。
 - ・フットレストの先端は、最低半径8mmの中空ではない一体構造の球状にすること。
 - ・折りたたみ式の場合は、自動的に戻るようにすること。

- ・折りたたみ式でないフットレストには、アルミニウム、プラスチック、テフロン、または、同等の材質でできたエンドプラグ（最低半径8mm以上）にて先端を固定すること。

～20) ブレーキ

- ・各ホイールに最低1つの効果的なブレーキがなければならず、これは各ホイール別々に作動しなければならない。
- ・前後ブレーキパッドとホースの変更は認めらる。
- ・ブレーキホース変更に伴うバンジョウボルトの変更は認められる。鉄製・ステンレス製のボルトを推奨する。
- ・ブレーキフルードの変更は認められる。
- ・フロントとリアのブレーキディスクの変更は可とするが、交換されるブレーキディスクの材質は鉄素材（ステンレス含む）のみとする。
- ・ブレーキパッドスプリングの取り外しおよび加工は認められない。
- ・ β ピン付のパッドピンを使っている場合は β ピンにワイヤーロックをすること。
- ・フロントとリアのブレーキマスターシリンダーの変更も認められる。
- ・フロントとリアのブレーキリザーバータンクステー取り付け位置の変更と追加を認められる。
- ・マスターシリンダーおよびキャリパーへのガードプレートの取付けが認められる。

～21) タイヤ・ホイール

- ・ホイールは12インチ以上とし、サイズに関わらずスリックタイヤ、レインタイヤ（公道用雨天向けタイヤを含む）は使用できない。市販時に12インチ未満のホイールが装着されている車両も、ホイールサイズを12インチ以上にすれば参加を可とする。
- ・12インチタイヤ使用車両は、下記の競技専用指定タイヤのみに使用が限定され、指定タイヤ以外のタイヤではイベント・公開練習および4ストミニバイク走行会にもご参加できない。

※指定タイヤに追加や変更があった場合は、プルテンにて発表する。

競技用専用指定タイヤ（2018年12月現在）

ブリヂストン : Front SO1、SO1 Soft、Rear SO2、

ダンロップ : KR337

《競技専用タイヤについて》：株式会社ブリヂストン様と住友ゴム工業株式会社様より発売されている競技専用12インチオールウェザータイヤ。

- ・12インチ以外のホイールを使用の場合、タイヤ銘柄の指定はないが、タイヤのスピードレンジQ以上を使用しなければならない。
- ・決勝（ファイナルイベント）のスタート前チェックからスタートまでの間は、タイヤウォーマーは使用できない。
- ・タイヤへの追加工（ハンドカット等）は禁止とする。

～22) 燃料タンク

- ・燃料タンクは必ず装着しなければならない。
- ・市販状態のノーマルタンクを使用できる。

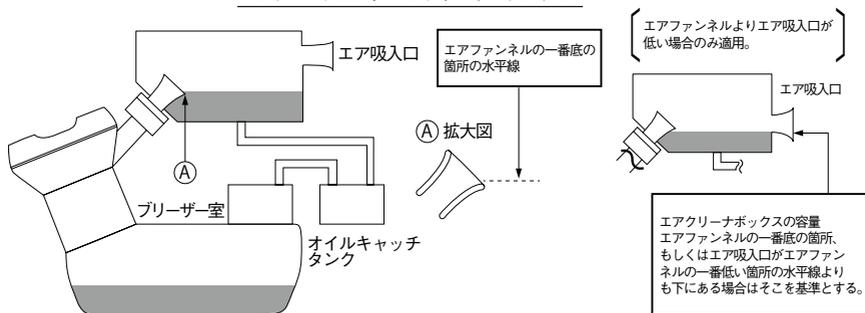
- ・燃料タンクブリーザーパイプにはノン・リターンバルブを取り付けなくてはならない。これは適切な耐油性のある材質でできた透明で（中身が一目でわかるもの）容量 250cc 以上のキャッチタンクに排出すること。
- ・競技専用車両を除いた車両で市販状態のノーマルタンクとタンクフィルターキャップを無加工で使用の場合は、燃料タンクにノン・リターンバルブを取付けなくても可とする。
- ・燃料タンクフィルターキャップは閉じた状態で漏れてはならない。さらに、いかなる場合においても誤って開く事がないように完全にロックすること。
- ・燃料タンクは単体で外せる状態にすること（GROM 車両除く）。また、シートおよびシートカウル等と切り離せる状態で固定すること。ただしタンクカバーは除く。
- ・給油のために容易に脱着できる取替えタンクは使用できない。スペアタンクの登録・使用はできないが、イベント中は競技監督がやむを得ない事情（転倒等による破損）と判断し許可した場合は交換が認めらる。
- ・XR100 等の樹脂製（ポリカーボネートFRPなど）燃料タンクの車両について燃料タンクにシュラウドのないタイプの車両については、金属もしくはプラスチック製のタンクカバーを装着すること。
- ・ガソリン残量を確認するためのタンク外側へのチューブ等の取り付けは禁止とする。転倒時に路面と接触しないタンク底面に取り付けるバイパスは認められる。
※ 車検時に漏れのある物や、明らかに強度に問題があると判断されたタンクは使用できない。（破損しているノーマルタンクも含む）

～23) オイル／ガソリンキャッチタンク

- ・エンジンオイル、グリス類は、どのような種類、グレードおよびメーカー問わず使用を認める。
- ・オイルキャッチタンクは金属製で 500cc 以上のものを使用してください（飲料水などの空き缶は使用不可）。転倒時、路面に接触せず転倒した場合も容易に脱落・破損しないものを使用しなければならない。取り付けはボルトオン、もしくは金属製のバンドでしっかりと固定とし、タイラップでの固定は禁止とする。
※ オイルキャッチタンクとはエンジンブリーザーからオイルを受取る物で、エンジン→キャッチタンク→キャブレター吸入口の大気開放。エアファンネルの場合はエアファンネル内にホースの出口を引き込み固定。パワーフィルターの場合は接続すること。
- ・ブリーザーシステムのパイプ類は耐油・耐熱・耐圧性のある素材で、パイプ類の締め付けは金属性バンドを使用すること。タイラップでの締め付けは禁止とする。
- ・ブリーザー付き燃料タンクおよびキャブレターにはガソリンキャッチタンクを必ず装着すること。ガソリンキャッチタンクにはガソリンタンクの燃料オーバーフローを受け止めるものと、キャブレターからのオーバーフローを受け止めること。双方の機能を兼ねているものでも認めらる。また、転倒時にコース上にガソリンがこぼれる事を防ぐため、キャブレターのエアイベントからもチューブを出しキャッチタンクに入れること。
※ 一部キャブレターにはエアイベントチューブを付けると、通路をふさがれる場合がありますので、その場合はオーバーフローのみでも可とする。

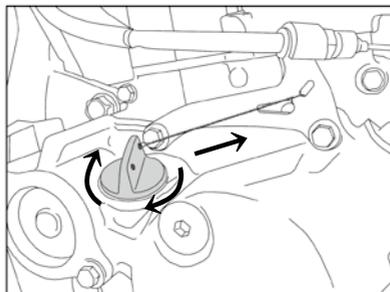
- ・ ガソリンキャッチタンクの容器は外見から中身が確認できる耐油性（耐ガソリン）の容器を使用すること。空き缶やペットボトルは使用できない。
 - ・ ガソリンキャッチタンク内のガソリンはコースインする前に空の状態にすること（走行中に溢れないようご注意ください）。また、ガソリンキャッチタンク内のガソリンはガソリンタンクに戻す事はできない。
- ※ 4ストミニバイク走行会や公開練習において無料で車両相談を実施しています。
仕様や改造変更等、実車を見ながら確認できますので、是非ご利用ください。

4ストロークエンジンのブリーザーシステム



～24) オイルドレンボルト・オイルフィルターキャップ

- ・ オイルドレンボルトおよびオイルフィルターキャップは閉じた状態で漏れないようにすること。さらにこれは如何なる場合においても誤って開くことのないように完全にワイヤーロックしなければならない。また、フィルターキャップをブリーザーチューブ等を装着するために変更している場合は、ホース等を固定するためのワイヤリングを行うこと。
 - ・ 全てのドレーンプラグはワイヤーロックしなければならない。外部オイルフィルタースクリューおよびオイルフィルターボルトでオイルパンに進入するもの、オイルクーラー、フロントフォークドレンボルト等のオイル供給パイプについても全て安全にワイヤーロックしなければならない。
- ※ワイヤーは0.5mm以上の物をご使用すること。
 ※ワイヤーロックのためのボルト・ナット等への穴あけ加工は認めらる。
 ※ワイヤーロックは締め方向にテンションをかけること。



～25) テレメトリー

- ・走行しているバイクへの情報を伝える、または動いているバイクからの情報を得ることは禁止とする。例えば無線や携帯電話をヘルメットに内蔵してチームとやり取りをする事などは一切禁止とする。

～26) カメラ搭載について

競技車両へのカメラ搭載については、以下誓約項目を了承の上、公式車検において取付状態の確認を受けること。(カメラ取付方法)

① カメラにストラップ穴がない場合

防水カバーにタイラップ等を巻き、カバーをマウントしているステーと車体間をワイヤリングし、脱落防止すること。

② カメラにストラップ穴がある場合

カメラのストラップ穴と車体間をワイヤリングし、脱落防止すること。

③ 上記①・②に該当しないカメラの場合

ガムテープ等でカメラ本体と車体間を確実に固定し、脱落防止すること。

(誓約項目)

1. 私はヘルメット及び装備品に、ウェアラブルカメラを取り付けないことを誓約します。
2. 私は、車載カメラを競技車両に安全上確実な方法で取り付けを行ないます。
3. 私は、競技車両に車載カメラを搭載するにあたり、撮影したものを以下1)～3)の内容で使用しないことを誓約します。
 - 1) 個人の私的利用の範囲を超え、営利目的の使用
 - 2) 広告宣伝活動等
 - 3) レース競技判定等
4. 私は、車両回収および車両撤去時において、万が一車載カメラが破損した際も、その当事者や主催者に一切の損害賠償責任は問わないことを誓約します。

～27) 決勝中のパーツ交換について

決勝中の以下のパーツの交換はできない。ただし、競技監督の許可した場合のみできる。

- ・メインフレーム ※1万円の手数料金が必要。
- ・クランクケース ※1万円の手数料金が必要。
- ・燃料タンク ※1万円の手数料金が必要。
- ・キャブレター/スロットルボディ (ジェット類、ニードル等のセッティングパーツを除きます)

※ 許可無く交換した場合はペナルティーが科せられる。

第3章 車両規則

第88条 DE耐!クラス車両規則

車両規則基本仕様下記に下記の制限が加えられる。

～1) 参加車両

排気量が100 c c以下の4サイクルエンジンを搭載した公道用一般市販車および下記の一部の競技専用車両。

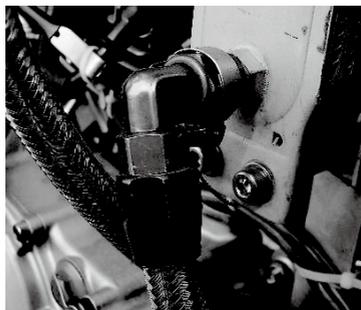
YAMAHA TTR90

HONDA XR100R, CRF100F, XR80, XR70, XR50, CRF50, Z50R,
ドリーム50R

※ GROM, KSR110, Z125PRO, NSF100 は、このクラスへの参加はできない。

～2) オイルクーラー

- ・ DE 耐！クラスのみオイルクーラーを取り付けすることができる。
- ・ オイルクーラーホースの取り付けについては、ねじ込み式ジョイントでなければならない。**バンドでのホース固定は禁止する。**(図1参照)
- ・ オイルクーラーホースは必ず耐熱・耐圧・耐油ホースを使用すること。
- ・ オイルクーラー本体は、堅牢なステーで車両本体(フレーム)に確実に取りつけること。
その為のステー追加とフレームへの最小限の加工は認める。
- ・ オイルシャワーは使用できない。



(図1)

～3) エンジン関連

- ・ ボルトオンで乗せ換え可能な同型エンジンへの変更認められる。
- ・ 排気量100cc以下を守る範囲で改造および変更が認められる。
- ・ ミッションは6速までの範囲で変更が認められる。
- ・ ウェットタイプからドライタイプへのクラッチの変更が認められる。
- ・ クラッチワイヤーの改造および変更が認められる。

～4) キャブレター/スロットルボディ

- ・ キャブレターは自然吸気のみとし、過給器の使用、フェールインジェクションは使用できない。
- ・ キャブレター本体のベンチュリー口径は22φ相当以下とする。なお、オーバル形状のキャブレター(XR100R等)については、横と縦の直径を計測し、22φ相当か判定する。
※エイブ、XR、ドリーム50等のノーマルキャブレターは使用認める。

※ リストリクターによる口径制限はありませんので、24φのキャブレターをリストリクターによって22φにしても参加は認められない。また、ベンチュリー部分の加工による調整は一切不可とする。

(例) 24φのキャブレターにスリーブを入れ22φにする等。

- ・キャブレターの各ジェットおよびニードル類、フューエルホース、エアファンネル、インシュレーター、コネクティングチューブの変更が認められる。

～5) 燃料タンク

- ・改造(追加加工含む)および自作したタンクも使用できる。ただし、事前に公開練習会や走行会で実施される車検相談会にてガソリン漏れ等が無いかチェックを受けなくてはならない。公式車検において、改造タンク申請書を提出しなくてはならない。

- ・改造(追加加工含む)および自作したタンクを使用の場合は、タンク内に防爆材を完全に補充すること。

※ 防爆材…耐ガソリンのスポンジ形状のもので、ガソリンの急激な移動を防止する。ツインリンクもてぎパドック内「グランツーリスモカフェ」や大型2輪用品販売店等でも販売されている。イベント日やレース直前は売り切れる場合がございますので早めに準備すること。

- ・車両に固定された1つの燃料タンク内に燃料を入れること。シートタンクおよび補助タンクの取り付けは禁止とする。

～6) ボディーワーク

- ・カウリングをアフターマーケットのものに変更することが認められる。また、外観の変更も認められる。DE耐公認車両にカウルが装備されていない場合は、ナンバープレートを兼ねたアッパーカウルと規定のオイル量を保持できるアンダーカウルおよびそれらを取り付けるため、のステーの追加が認められる。ただし、カウルを追加する場合の取り付けは、アッパーカウルとアンダーカウルは個々に独立して保持される構造にすること。

～7) フロントフォーク

- ・フロントフォークは形式(正立か倒立か)を含めて変更が認められる。
- ・セッティングパーツ(内部バルブ機構、スプリング、カラー等)およびオイルの変更、プリロードアジャスターの追加等も可とする。
- ・ステアリングステムセット(アッパーブラケット、アンダープレケットアッセンブリー)の変更も認められる。ただし、ステムセットにチタニウムを使用することは禁止とする。

～8) リヤサスペンションユニット

- ・リヤサスペンションの変更が認められる。ただし、フレームを改造しない範囲(ボルトオン)で取り付けられること。フレームを改造しないで、ボルトオンのアタッチメントを介して取り付けられるユニットは使用可とする。
- ・リヤクッションの形式(1本または2本)の変更も認められるが、DE耐!公認車両のフレームを改造なして取り付けできること。
- ・セッティングパーツ(内部バルブ機構、スプリング、カラー等)およびオイルの変更は可とする。

- ～9) リヤフォーク（スイングアーム）
 - ・リヤフォークは改造および変更が認められる。ただし、D E 耐公認車両のフレームに改造なし（ボルトオン）取り付けられること。
 - ・リヤフォークの材質にチタニウムを使用することは禁止とする。
- ～10) 電装
 - ・プラグの他、イグニッションコイル、イグニッション、プラグキャップは変更可とする。

第89条 エンジョイクラス車両規則

《 エンジョイクラスの趣旨 》

エンジョイクラスは、初心者の方に低コストで気軽に参加していただく為に2011年から開催しているクラスです。「車両にあまりお金をかけたくない」「初参戦だからまずはノーマルに近い車両で参戦」という方が楽しめるように改造範囲を制限しています。

例えば、エンジョイクラスの規則の中で車両を作り込み、「軽く速いライダーを集めて優勝を狙う！」というチームはエンジョイクラスの趣旨に合わない為、D E 耐！クラスへ参加ください。

なお、参加するライダーの資格は国内・フレッシュマン・ジュニア・エンジョイライセンスに制限しており、国際ライセンス所持ライダーは参加いただけません。

車両規則基本仕様に加えて下記の制限が加えられる。

- ～1) 参加車両
 - 排気量が100 c c 以下の4サイクルエンジンを搭載した公道用一般市販車 APE100、APE100 タイプ D、XR100 モーターのみとする。
 - ※ GROM、KSR110、Z125PRO、NSF100 の車両は、このクラスへの参加は不可。
- ～2) タイヤ・ホイール
 - ・メーカー出荷時のホイールサイズからサイズを変更は禁止とする。
(12インチから17インチに変更できない)
- ～3) オイルクーラー
 - ・オイルクーラーの使用できない。
- ～4) エンジン関連
 - ・シリンダーを純正部品以外へ変更および改造は禁止とする。
カムシャフト、カムバルブ、バルブスプリング等の変更および改造は認められる。
カムバルブ変更に伴うバルブシート面すり合わせについては、改造とみなさない。
 - ・ピストンを純正部品以外へ変更および改造することは禁止とする。
 - ・シリンダーヘッドは市販時の純正品を使用しなければならない。改造も不可とする。
 - ・6速のミッションは使用できない。
 - ・オイルシャワー機能は使用できない。
- ～5) キャブレター／スロットルボディ
 - ・キャブレターは自然吸気のみとし、過給器の使用、フュエルインジェクションは使用できない。

- ・キャブレター本体のベンチュリー口径は 22 φ相当以下とする。なお、オーバル形状のキャブレター（XR100R 等）については、横と縦の直径を計測し、22 φ相当か判断する。
- ※エイブ、XR、ドリーム 50 等のノーマルキャブレターは使用を可とする。
- ※リストラクターによって 22 φにしても参加は認められない。また、ベンチュリー部分の加工による調整は一切不可とする。
- （例）22 φのキャブレターにスリーブ入れ 22 φにする等。
- ・キャブレターの各ジェットおよびニードル類、フュエルホース、エアファンネル、インシュレーター、コネクティングチューブの変更が認められる。

～6) サスペンション

- ・倒立式のフロントサスペンションは使用できない。
- （フロントのみ制限いたします。）

第90条 GROMクラスおよびKSR110（PRO含む）Z125PROクラス車両規則

下記記載以外の部分については車両規則基本仕様とし、以下の内容を除き改造変更は不可とする。

～1) 参加車両

- ・GROM クラスは、（株）ホンダモーターサイクルジャパンより販売されている、GROM の一般販売車両のみとする。（並行輸入車は参加出来ません。）（株）ホンダ・レーシング（HRC）より販売されている『HRC GROM レースベース車』は参加できない。
- ・KSR110 および Z125PRO クラスは、（株）カワサキモータージャパンより販売されている、KSR110 および Z125PRO の一般販売車両のみとする。（並行輸入車は参加出来ません。）

～2) ボディーワーク

- 1) フロントスタンドをかけるためのフロントフェンダーへの最小限の穴あけ加工は認められる。
- 2) ナンバーブラケット用ステーの取り外しは認められる。
- 3) GROM および Z125PRO クラスのフロントフェンダーは、タイヤとの干渉を防ぐ目的として最低限の改造および追加が認められる。ただし、追加したものが走行時に脱落しないようにボルト・ナットまたはビス等で確実に固定してください。タイラップによる固定は禁止とする。

～3) ブレーキ

- 1) ブレーキホース、ブレーキオイル、ブレーキレバー、ブレーキパッド（ブレーキシュー含む）の改造および変更は認める。リモート式のブレーキレバーへの変更は禁止とする。

～4) タイヤ・ホイール

- 1) KSR110 クラスは、ホイールの変更が認められる。ただし、市販車と同サイズのアルミホイールに限定され、市販車に改造なしで取り付けられること。
- 2) スピードメーター駆動部の取り外しとスペーサー（カラー）の変更が認められます。

～5) エンジン関連

・エンジンは、メーカー出荷時の純正品とする。ただし、以下のエンジン関連部品については、アフターマーケット品を含め以下の内容が認められる。※**ハイカム、ハイコンピピストンは使用できない。**

- 1) スパークプラグ、ハイテンションコード、プラグキャップの変更
- 2) アクセルワイヤー、クラッチワイヤー、スロットルグリップの改造および変更
- 3) CDI ユニット、イグニッションコイルの変更
- 4) ECU (エンジンコントロールユニット) のユニットおよびデータの変更
※ただし、**GROM クラスは、「HRC 製 ECU」に限る。**
- 5) サブコンの追加 (**KSR110、KSR110PRO に限る**)
- 6) ワイヤーハーネス・スイッチ類の改造および変更
- 7) リミッター解除装置の追加
- 8) クラッチスプリングの変更
- 9) マニュアルクラッチへの変更 (KSR110、KSR110PRO に限る)

～6) キャブレター／スロットルボディ

- 1) KSR110 クラスは、キャブレターセッティングパーツおよびベンチュリー口径φ22 で型式違いのキャブレターに変更することが認められる。
- 2) GROM および Z125PRO クラスは、スロットルボディおよびインジェクターは市販車から改造、変更することは禁止とする。

～7) ギヤレシオ／チェーン

・ドライブおよびドリフンスプロケットの変更は可とする。
・ドライブチェーンは市販車と同じ材質およびサイズのものであれば変更は可とする。
・KSR110 クラスはアフターマーケット品のミッション (セットおよび段数変更含む) への変更は可とする。

～8) 吸気系

- 1) エアクリーナーエレメントは改造、変更もしくは取り外しを認める。
- 2) 吸気系 (エアクリーナー回り)
 - (1) KSR110 クラスは、キャブレターとエンジンを接続するインシュレーターおよびインレットパイプは、取り外しもしくはキャブレターのエンジン側の口径と同径までのアフターマーケット品に変更するか、追加工することが出来る。
 - (2) スロットルとエアクリーナーを接続するコネクティングチューブは改造が認められません。取り外しおよび変更は禁止とする。
 - (3) エアクリーナーボックスは市販車から変更は禁止とする。ただし、下記については除外とする。
 - ・エアクリーナーに取り付けられている吸気ダクトは、改造および取り外しが認められる。
 - ・KSR110 クラスはエアクリーナーボックス内の隔壁のみ切除を可とする。
 - (4) クローズドブリーザーシステムを市販車仕様から変更することは禁止とする。

～9) 排気系

- 1) エミッション対策用2次空気供給装置はパイプ部分で孔を塞ぐことは可とする。エンジン内部で、孔を塞ぐ加工をすることは禁止とする。

～10) 燃料系

- 1) 燃料タンクおよびフューエルコック、フューエルライン、フューエルコネクターの改造および変更は禁止とする。
- 2) 燃料ポンプおよびプレッシャーレギュレーターは市販車から改造および変更は禁止とする。

～11) サスペンション

- 1) フロントサスペンションはオイルの変更・油面の調整、プリロード調整用のカラーの改造、変更および取り付け位置調整による車高変更は可とする。フォークキャップの変更を含めて、プリロードアジャスターの追加も認められる。KSR110 クラスに限りスプリングの変更も認められる。
- 2) リヤサスペンションは本体を改造することなしに取り付けられるスプリングおよびカラー（ワッシャーおよびプリロード調整機構含む）を追加、変更することが認められる。バンブラバーは各機種毎に指定された長さまで、市販車に装備された状態から長さ調整（カット）することが認められる。
- 3) リヤサスペンションユニット本体の改造および変更は禁止とする。

～12) 計器類

- 1) 市販車に標準装備されている計器類から追加および変更が認められる。
- 2) タコメーター装備の為に車両への最低限の加工が認められる。
- 3) スピードメーターの駆動用ギヤおよびワイヤーの取り外しが認められる。

～13) 電装系

- ・バッテリーは変更することが出来るが、セルスターターによる始動装置が装備された市販車はスタータースイッチで、始動装置が作動してエンジンが始動出来ること。
- ※ 押しがけでの始動は禁止

第91条 NSF100クラス車両規則

下記記載以外の部分については、市販ノーマル状態とし改造・変更はできない。

～1) 参加車両

使用車両は、(株)ホンダ・レーシング（HRC）より販売されている NSF100 市販モデルのみとする。

～2) ナンバープレート（ゼッケン）

・車両規則基本仕様に準ずる。

～3) ボディーワーク

・カウリング、ウィンドスクリーン、フロント／リヤフェンダーの外観変更は認められない。

・ボルト・ナット類の変更は認める。

～4) シート・シートカウル

・シートカウルの変更は認めます。(但しシートカウルの後端はリヤタイヤの後端から垂直に引かれた線より後ろに出てはならない。)

・シートラバー

～5) マフラー

・メーカー出荷時の純正品のみとする。

- ～6) ハンドルバー・レバー類
 - ・ブレーキレバー、クラッチレバー（レバー先端はボール上にして下さい。このボールを平らにすることが出来るが、端部は丸くなくてはならない）
 - ・ハンドルグリップの変更は可とする。
- ～7) フットレスト・チェンジレバー・ブレーキペダル
 - ・ステップ・フットレストの変更は可とする。
 - ・フットレストの先端は最低半径8mmの中空ではない一体構造の球状すること。
- ～8) ブレーキ
 - ・ブレーキパットの変更は可とする。
 - ・ブレーキホースの変更を認める。
 - ・前後ブレーキローターについては下記の物のみ変更は可とする。
【NSR Mini および NSR50・80 純正ブレーキディスクローター】
フロント ・45121-GT4-000 ・45121-GT4-710
リヤ ・43121-GT4-000 ・43121-GT4-710
 - ・ブレーキフルードの変更は可とする。
 - ・キャリパーガード、マスターシリンダーガードの取付・変更は可とする。
- ～9) タイヤ・ホイール
 - ・車両規則基本仕様に準ずる。
 - ・前後ホイールについては下記のものに限り変更が認められる。
【NSR Mini および NSR50・80 純正ホイール】
フロント ・44650-NLA-000 ・44650-GT4-305
 ・44650-GT4-306 ・44650-GT4-710
リヤ ・42650-NLA-000 ・42650-GT4-305
 ・42650-GT4-306 ・42650-GT4-710
- ～10) オイルクーラー
オイルクーラーは使用できない。
- ～11) エンジン関連
 - ・キックペダルの取付・変更は可とする。
 - ・エンジンオイルの変更は可とする。
- ～12) オイル／ガソリンキャッチタンク
車両規則基本仕様に準ずる。
- ～13) オイルドレンボルト・オイルフィルターキャップ
車両規則基本仕様に準ずる。
- ～14) キャブレター／スロットルボディ
キャブレターセッティングパーツ（ジェット類、ニードル類）変更を可とする。
エアクリーナーボックスの取り外しを認める。エアファンネルの取付は可とする。
- ～15) スプロケット、チェーン
ファイナルスプロケット、チェーンの変更は認める。チェーンサイズの変更はできない。
- ～16) スパークプラグ
スパークプラグの変更は認めますが、プラグキャップ、コードの変更はできない。

～17) サスペンション

・前後サスペンションスプリングについては下記のものに限り変更が認められる。

【HRC 純正のオプション】

51402-NLA-003 SPRING, FRONT FORK(SHOWA)

52402-NLA-003 SPRING, REAR CUSHION

52403-NLA-003 SPRING, REAR CUSHION

～18) 電装系

CDI は変更を認める。ただし、純正ハーネスの状態で取付可能なものに限る。

第92条 GROM Cupクラス車両規則

(株)ホンダ・レーシング (HRC) にて告知される『HRC GROM Cup』の車両規則に準拠した車両とし、以下の内容を除き改造変更は不可とする。

～1) 参加車両

(株)ホンダ・レーシング (HRC) より販売されている『HRC GROM レースベース車』もしくは公道用一般市販車『GROM』のみとする。

～2) ナンバープレート (ゼッケン)

・車両規則基本仕様に準ずる。

～3) ハンドルバー・レバー類

・ハンドルグリップの変更は可とする。

～4) タイヤ・ホイール

・車両規則基本仕様に準ずる。

～5) オイル／ガソリンキャッチタンク

・車両規則基本仕様に準ずる。

～6) オイルドレンボルト・オイルフィルターキャップ

・車両規則基本仕様に準ずる。

～7) キャブレター／スロットルボディ

・フューエルインジェクターの変更は出来ない。

～8) 電装系

・ECU は「HRC レースベース車用」への変更は可とする。

・サブコンピューターの追加は出来ない。

質問内容	回答例
走行会・公開練習会について	
走行会に行ったらまず何をすればいいですか？	施設につきましたらまずはコントロールタワー 1Fのブリーフィングルームにて参加受付と走行券の販売を行っていますので、ライセンス(4ストミニバイク走行会は免許証でも可)の提示と誓約書の提出を行ってください。また、ライダーはもちろん車両用に触るメカニックおよびヘルパーの方は、参加受付時に暫定MS共済会に必ずご入会ください。 (ライダー：¥7,000、ピットクルー：¥500) 参加受付終了後はビデオ講習(約7分間ビデオを見る)を受け、時間になりましたらブリーフィングを受けてください。
ブリーフィングとはなんですか？	“走行の注意点”や“旗の説明”を行う説明会です。走行会や公開練習など開催する場合は必ず走行前にブリーフィングを行いますので、毎回必ずライダー全員でブリーフィングに参加してください。
バス走行(アドバイザーによるコース説明)に参加したいのですが、どうすればいいですか？	ピットレーンエンド(ピットレーンの出口付近)からバスが随時出ていますので、ピットレーンエンドにいる係員にお申し出ください。
初心者走行枠を走行するにはどうすればいいですか？	走行会や公開練習会のタイムスケジュール内「初心者グループ」と記載された枠が初心者走行となります。参加受付時に初心者走行枠の走行券をご購入の上ご参加ください。 7/24(水)の4ストミニバイク初心者走行会は初心者だけの専用日となります。そちらも是非ご参加ください。
初心者走行とはどんな内容ですか？	まずはレコードラインをアドバイザーの先導にて約4周走行します。先導走行終了後はフリー走行と引き続き先導走行を行うグループに分かれて練習します。また、先導走行中のライダー交代も可能ですので、初心者の方はふるってご参加ください。
参加資格について	
DE耐!に参加するにはどんなライセンスが必要ですか？	MFJライセンスが必要となります。原付以上の運転免許証があればMFJエンジョイライセンスが取得できます。MFJエンジョイライセンスにてご参加する場合は、走行会や公開練習会時に行われる『安全運転座学』を受講する必要があります。また、TRMC-S会員以外の方は、走行会・公開練習会・ちょっとDE耐!・DE耐!本番にそれぞれ暫定共済会に入会する必要があります。(それぞれ暫定共済会会費¥7,000が必要となりますので、TRMC-S会員になったほうがお得な場合もございます)
エンジョイライセンスが必要な場合は、エントリー後の公開練習の時に取得できますか？	MFJライセンスはお客様から直接MFJに申請していただくこととなります。MFJホームページにて申請方法をご確認ください。WEB申請または郵送での申請があります。
ステー等を取り付ける場合にフレーム本体に加工等してもいいですか？	カウルの取り付けのためのステー溶接は認められていますので、溶接にて取り付けても問題ございません。

質問内容	回答例
車両について	
溶接でないフレーム補強(発泡ウレタン注入etc)はできますでしょうか？	ウレタン注入自体は認めておりますが、ウレタンを注入する際に穴を開けて、その穴を溶接にて塞いだ場合、溶接による補強に該当してしまいますのでご注意ください。
エンジンなのですが、クランクケースを破損してしまい新品を購入しましたが、販売店に確認したところ、エンジン番号の再打刻は行っていないとのことなので、止むなくエンジン番号無しの物を使用しています。参加可能ですか？	DE耐では盗難品などの使用を防ぐために、エンジンナンバーの無いエンジンの使用はできませんので、ナンバー無しのままですとDE耐にはご参加できません。しかし、販売店の販売証明があれば参加を認めさせていただきますので、一度販売証明やエンジンのナンバー部分を拝見させていただきたく思います。
ヘルメットは、オリジナル塗装されているものでも問題ないですか？	ヘルメットの塗装は特に問題ございません。ただしヘルメットにはMFJ公認マークが必ず必要となります。
ツナギの上には、チームのブルゾンやトレーナーみたいなものは着てもいいですか？	ツナギの上にブルゾンやトレーナーを着用することは禁止ですので、申し訳ございませんが、ツナギのみ着用いただき走行していただけますようお願い申し上げます。
カッパを着て走行しても良いですか？	雨天時に限り認められます。
ステップ取り付けのブラケットがボルトオンでフレームの補強も兼ねてしまうようなものの装着はできますでしょうか？	ボルトオンの補強は認めておりますので、装着可能です。
レーシングスーツ、グローブ、ブーツ、脊柱プロテクション・チェストガードは1セットを使い回してもよいのか？	ヘルメット以外は使い回し可能ですので問題ございません。ただし、サイズが合っていない装備の着用は認められません。
エアクリーナーボックス(メーカー純正品)が付いている車両にもOILキャッチタンクは付けなければいけないのですか？	ブリーザーから回路が正しく付いていればOILキャッチタンクの装着は免除されますので取り付ける必要はございませんが、オイル抜き穴はふさいでください。ブリーザーからの回路が不安でしたら走行会や公開練習会時に車検相談会を行っておりますので一度拝見させていただきたく思います。
エイブ50の車体、フレームなのですが、XR100R(レーサーの方)のエンジンを載せているのですが、レースには参加可能でしょうか？	ボルトオンで乗せ換え可能な同型エンジンへの変更は認められておりますので参加可能です。
125ccの車両でも参加できますか？	GROMクラス、GROM Cupクラス、KSR110、Z125PROクラスに該当する車両のみ参加できます。
中空形状のステップを取り付けているのですが、参加は可能ですか？	中空の物は削れた場合に鋭利になり危険なため禁止です。ただし、先端を丸く加工すれば使用可能です。

【あ行】

アドバイザー…………… P7
 安全運転座学…………… P7、P33、P52
 アンダーカウル…………… P15、P65
 エイローカード…………… P8、P47
 イベント終了…………… P45、P59
 イベント中断…………… P44、P58
 ウインカー…………… P63
 受付…………… P37、P55
 エアファンネル…………… P69、P70
 エアイベント…………… P69
 SCボード…………… P43
 MS (もてぎ・鈴鹿) 共済会…………… P84、P85
 MFJエンジンライセンス…………… P86
 MFJ公認…………… P16、P17
 MFJロードレースジュニア…………… 表3
 MFJライセンス…………… P10、P80
 エンジン…………… P15、P67、P72、P74、P76、P78
 エンジンブリーザー…………… P69
 オイルキャッチタンク…………… P69
 オイルシャワー…………… P72、P74
 オイルクーラー…………… P72、P74、P78
 オイルドレンボルト…………… P70、P78、P79
 オイルフィルターキャップ…………… P70、P78、P79
 音量…………… P15、P66
 音量測定…………… P66

【か行】

過給器…………… P72、P74
 ガソリンキャッチタンク…………… P15、P69、P78、P79
 ガソリンタンク…………… P15、P16
 ガソリンケット…………… P14、P20、P42
 キャッチタンク…………… P15、P69、P78、P79
 キャブレター…………… P15、P71、P72、P74、P76、P78、P79
 給油方法…………… P20
 給油量…………… P19、P20、P21
 競技専用タイヤ…………… P68
 共済会費…………… P36、P55
 クランクケース…………… P71
 グリッド…………… P19、P40、P44
 クレデンシャル…………… P35、P42、P54
 グローブ…………… P16、P17、P39
 携帯電話…………… P42、P57、P71
 決勝…………… P22、P57、P58
 減速区域…………… P29、P30、P42
 公開練習会…………… P13、P80
 公式通知…………… P50、P60
 コースアウト…………… 表2、P27
 コースイン…………… 表2、P26
 コースイン時の注意…………… P26

【さ行】

再交付…………… P36、P54
 サインボード…………… P42、P58
 サーキット医務室…………… P48
 参加受付…………… P12、P14、P37、P55
 参加資格…………… P10、P32、P52、P80
 参加のステップ…………… P10、P11、P12
 参加料…………… P36、P55
 シグナル…………… P24、P43、P58
 失格…………… P14、P41、P44、P47、P57、P59、P66
 指定タイヤ…………… P68
 シートタンク…………… P73
 車検…………… P14、P15、P17
 車体番号…………… P62
 車両検査…………… P14、P15、P38、P56
 車両規則…………… P62
 車両の変更…………… P36、P55
 車両保管…………… P45、P59
 ジャンプスタート…………… P41、P48
 主催者…………… P32、P52
 シュラウド…………… P69
 消火器…………… P39
 スタート…………… P19
 スタート進行…………… P40、P56
 スタート進行表…………… P40
 スタート方法…………… P40、P44
 スタート前チェック…………… P14、P39、P56
 スタンド…………… P58、P62、P63
 ステア…………… P62、P64、P68、P71、P72、P73、P75、P80
 ストップ&ゴーペナルティー…………… P47
 スプロケットガード…………… P65、P66
 スリックタイヤ…………… P68
 脊椎パッド…………… P16、P17、P39
 ゼッケン…………… P37、P63、P77、P79
 ゼッケンベース…………… P63
 セーフティーカー…………… P22、P43、P44、P45
 走行経験…………… P33、P52

【た行】

タイムスケジュール……………P1、P2、P12
 タイヤ……………P68、P74、P75、P78、P79
 タンクカバー……………P69
 タンデムステップ……………P64
 チェーンガード……………P14、P15、P65
 チーム編成登録書……………P11、P33、P34、P37、P53
 通行証……………P35、P54
 停車区域……………P29、P30、P41、P57
 テレメトリー……………P71
 テールライト……………P63
 転倒……………P22、P27
 特別賞……………P46、P47
 特別スポーツ走行……………P39、P40、P52

【な行】

燃料タンク……………P42、P58、P68、P69、P73
 燃料補給……………P14、P19、P21、P42、P43、P58

【は行】

排気音量……………P66
 排気量……………P10、P62、P72、P74
 バス走行……………P7、P80
 パドック内のごみ……………P28
 パワーフィルター……………P69
 ハンドル……………P15、P64、P66、P78、P79
 罰金……………P35、P47、P54
 ビデオ講習……………P7、P80
 ビットイン時の注意……………P27
 ビットイン……………P27
 ビットサイン……………P41、P42、P57
 ビットサインエリア……………P42、P57
 ビット作業……………P41、P56
 ビットクレー……………P33、P34、P35、P53、P54
 ビットクレーの変更……………P36、P55
 ビットパドックの使用方法……………P28
 表彰式……………P22
 フィラーキャップ……………P70
 ブーツ……………P16、P17、P38
 フットレスト……………P15、P67、P78
 フェエルインジェクション……………P74
 フライングスタート……………P3、P19、P41、P48
 フラッグ (シグナル)……………P24
 プリーザー……………P69、P81
 プリーザーチューブ……………P70
 プリーザーパイプ……………P69
 プリーフィンク……………P7、P14、P80
 フルコースコーション……………P22、P43、P58
 プルテン……………P50、P60
 フレーム……………P62、P81
 ヘッドライト……………P63

ペナルティー……………P8、P47、P60、P71
 ペナルティーストップ……………P8、P41、P48
 ヘルメットリムーバー……………P17、P38
 変更……………P11、P36、P55、P62
 レースのために取り外さなければならない部品……………P63
 補助区域……………P29、P30
 防爆材……………P15、P16、P73
 4ストミニバイク走行会……………P13

【ま行】

マフラー……………P15、P77
 ミラー……………P63
 無線……………P71
 無線機……………P42、P57
 メインフレーム……………P71

【や行】

溶接……………P62、P64、P65、P66、P80、P81
 予選……………P40、P56

【ら行】

ライダー数……………P11
 ライダーの登録……………P11、P34、P54
 ライダーの変更……………P11
 ライダー腕章……………P35、P54
 ライドスルーペナルティー……………P8、P48
 リストリクター……………P73
 リタイヤ……………P56
 レインタイヤ……………P68
 レコードライン……………P24、P25、P26
 レーシングスーツ……………P16、P17、P39
 レッドカード……………P8、P47

【わ行】

ワイヤー……………P65、P70
 ワイヤロック……………P15、P68、P70
 腕章……………P14、P29、P35、P42、P54、P57

もてぎ・鈴鹿共済会 会員の皆さまへ

2018年12月1日16:00

もてぎ・鈴鹿共済会ご加入の傷害総合保険の概要 ・お支払い保険金のご案内

当保険は、もてぎ・鈴鹿共済会の定めるサーキット内において急激かつ偶然な外来の事故(以下『事故』という)によってその身体に被った傷害に対して、共済会規定、傷害総合保険普通保険約款に従い、保険金をお支払いいたします。

1. お支払いする保険金

保険金の種類	保険金をお支払いする場合	お支払額
死亡保険金	事故によりケガをされ、事故の発生の日からその日を含めて180日以内に死亡された場合、死亡・後遺障害保険金額の全額をお支払いします。ただし、すでに後遺障害保険金をお支払いしている場合は、その金額を差し引いてお支払いします。	3,000万円
後遺障害保険金	事故によりケガをされ、事故の発生の日からその日を含めて180日以内に後遺障害が生じた場合、その程度に応じて死亡・後遺障害保険金額の4%~100%をお支払いします。ただし、お支払いする後遺障害保険金の額は、保険期間を通じ、死亡・後遺障害保険金額を限度とします。	120万円~ 3,000万円
入院保険金	事故によりケガをされ入院された場合、入院日数に対し、1,000日を限度として、1日につき入院保険金日額をお支払いします。	5,000円 (1,000日限度)
手術保険金	事故によりケガをされ、そのケガの治療のため病院または診療所において以下①または②のいずれかの手術を受けた場合、入院保険金日額に所定の倍率(入院中に受けた手術の場合:20倍・外来で受けた手術の場合:5倍)を乗じた手術保険金をお支払いします。ただし1事故につき1回の手術に限りです。 ①公的医療保険制度における医療診療報酬点数表に、手術料の算定対象と列挙されている手術(※1) ②先進医療に該当する手術(※2) (※1)以下の手術は対象となりません。 創傷処理、皮膚切開術、デブリードマン、骨または関節の非観血的または徒手的な整復術・整復固定術および授動術、抜歯手術 (※2)先進医療に該当する手術は、治療を直接の目的としてメス等の器具を用いて患部または必要部位に切除、摘出等の処置を施すものにかぎります。	入院中の手術の場合 100,000円 外来で受けた手術の場合 25,000円
通院保険金	事故によりケガをされ通院された場合、事故の発生の日からその日を含めて1,000日以内の通院日数に対し、90日を限度として、1日につき通院保険金日額をお支払いします。ただし、入院保険金をお支払いするべき期間中の通院に対しては、通院保険金をお支払いしません。 ※通院保険金の支払いを受けられる期間中に新たに他のケガをされた場合であっても、重複して通院保険金をお支払いしません。	3,000円 (90日限度)

2. 保険金をお支払いできない主な場合

- ・故意または重大な過失、自殺行為、犯罪行為または闘争行為による事故。
- ・無資格運転、酒気を帯びた状態または麻薬等により正常な運転をできないおそれがある状態での運転中の事故。
- ・脳疾患、疾病または心神喪失による事故。
- ・地震もしくは噴火またはこれらによる津波による事故。
- ・戦争、暴動(テロ行為を除きます。)などによる事故。
- ・頸部症候群(いわゆる『むちうち症』)または腰痛で医学的他覚症状のないもの などに對しては、保険金をお支払いできません。
- ・外科的手術その他医療処置

もてぎ・鈴鹿共済会 保険金請求手続きの流れ

～ツインリンクもてぎで走行中もしくは走行のためのピット作業で受傷された場合～

1.事故の通知

事故により負傷した場合、必ずツインリンクもてぎメディカルセンターにて診察を受け、利用記録を残すようお願いいたします。

利用記録がなければ、保険金のご請求手続きをしていただく事ができません。

事故にあった場合、必ず当日中にツインリンクもてぎメディカルセンターにて受診ください。

但し、生命に関わるような緊急時はこの限りではありません。



2.ご請求書類は

ツインリンクもてぎメディカルセンターの利用情報から、負傷された皆様に保険会社（損害保険ジャパン 日本興亜株式会社）より、電話にてご連絡を差し上げた後、請求についてのご案内を郵送にてお送りいたします。



3.ご請求手続きは完治してから

保険金ご請求は、お怪我が完治してからご請求ください。

入院された場合、入院日数に対し1,000日を限度として入院保険金をお支払い致しますので、経過した場合は、完治する前でもご請求ください。

ご請求書類は、同封されている保険会社宛て返信用封筒にてご送付ください。



4.保険金が指定された口座に振り込まれます。

保険会社に書類が到着した段階で不備がない場合、通常10日ほどでご指定いただいた口座に振り込まれます。

もてぎ・鈴鹿共済会につきましては、ツインリンクもてぎモータースポーツ課までお問合せください。

TEL : 0285-64-0200

営業時間 : 10時～16時

MFJ エンジョイライセンスについて

このDE 耐！、ちょっとDE 耐！は、MFJの承認のもとイベントが開催されています。そのためライダーは全員が、MFJのライセンスを取得していることが必要です。

『MFJ エンジョイライセンス』は一般財団法人日本モーターサイクルスポーツ協会が発行するミニバイクなどのレースイベントに参加するための会員証です。

● MFJとは…

一般財団法人日本モーターサイクルスポーツ協会（MFJ）は、日本国内のモーターサイクルスポーツを統轄する機関で、モーターサイクルスポーツの世界 統轄機関である国際モーターサイクリズム連盟（FIM）に加盟する唯一の日本代表機関です。モーターサイクルスポーツの普及振興を図り、もって国民の心身の健全な発達に寄与することを目的として様々な活動を行っています。

● MFJエンジョイ会員年会費

年会費 3,350 円（C 区分）、エンジョイ会員会費には、スポーツ安全保険掛金、保険事務手数料が含まれています。

● 取得条件

運転免許証（原付以上）をお持ちの方は申請書をご利用いただき、すぐに取得できます。

● お申込み方法

インターネット（パソコン、スマートフォン）か郵送

● 問合せ先

一般財団法人 日本モーターサイクルスポーツ協会
〒104-0045 東京都中央区築地3丁目11番6号 築地スクエアビル10階
TEL 03-5565-0900（定休日 土・日曜・祝日）



2019年「DE耐!限定会員」のご案内

2019年1月
TRMC-S事務局

〔DE耐!限定会員〕とは、ツインリンクもてぎで開催いたします“DE耐!車両使用クラス”の走行会やレースにご参加される際にもてぎ・鈴鹿共済会（MS共済会）が適用される会員制度です。当制度はDE耐!（走行会・レース）ご参加時にMS共済会会費をその都度お支払いいただく必要がございません。また、参加料金も会員料金に適用され、DE耐!のライダー登録料も無料となります。TRMC-S会員に適用される各種特典はございませんが、その分安価な料金設定になっております。適用されるレースや詳しい料金は下記の通りとなります。皆様のお知り合いの方でご入会をご検討の方がいらっしゃいましたら、ご紹介くださいますようお願い申し上げます。

〔DE耐!限定ライセンス概要〕

入会資格	原動機付自転車免許以上所持者。もしくは、満12歳以上でMFJロードレースジュニアライセンス以上所持者
料金	年会費 5,200円 + MS共済会会費 10,000円 → 計 15,200円
MS共済会適用範囲	<ul style="list-style-type: none"> ・ DE耐! 【レース前日特別スポーツ走行+レース】 ・ ちょっとDE耐! 【レース前日特別スポーツ走行+レース】 ・ もてぎショートコース選手権 【レース前日特別スポーツ走行+レース】 ※ DE耐! レースと同じ車両規則のレースのみ ・ DE耐! 公開練習 ・ 4ストミニバイク走行会
入会条件	<ul style="list-style-type: none"> ・ 4ストミニバイク走行会 / DE耐! 公開練習会時に開催される当該年度の「安全運転座学」を受講した者に限る。 ※ 当該年度の受講確認できない場合は、DE耐! 限定会員の発行はできません。
申込日	5月22日(水)・6月26日(水)・7月24日(水)・9月23日(月・祝)・10月29日(火)
申し込み方法	・ 4ストミニバイク走行会またはDE耐! 公開練習会の参加受付時にお申込みください。
入会時にご提出いただくもの	<ul style="list-style-type: none"> ・ 運転免許証（お持ちでない方は、MFJロードレースジュニアライセンス以上） ・ MFJ競技ライセンス（取得している方のみ） ・ 認印（スタンプ印以外） ・ 料金（15,200円） 【20歳未満の場合、以下も併せてご用意ください。】 ・ DE耐! 限定会員申込書 申込用紙裏面の《誓約書・承諾書》に親権者の署名 / 実印の捺印が必要なため、事前に入会申込書の申請をお願いいたします。 ・ 親権者の実印の印鑑登録証明書（発行日より3ヶ月以内のもの）

※北ショートコースのスポーツ走行では、MS共済会費は不要ですが、スポーツ走行料金は非会員料金となります。
※共済会のみ適用につき入場や割引の特典はございません。

2019年 DE耐! 限定会員有効イベント

日程は変更および中止になる場合がございます。予めご了承ください。

1 DE耐! (レース開催日と前日の特別スポーツ走行)

11月8日(金)～11月10日(日)

2 ちょっとDE耐! (レース開催日と前日の特別スポーツ走行)

7月12日(金)～7月13日(土)

3 もてぎショートコース選手権 (レース開催日と前日の特別スポーツ走行)

※2019ライディングススポーツカップ もてぎショートコース選手権
(北ショートコース開催のミニバイクレース)
特別規則書においてDE耐! クラス適合車両と記載のあるクラスのみ

第1戦 4月27日(土)・28日(日)

第2戦 6月1日(土)・2日(日)

第3戦 7月6日(土)・7日(日)

第4戦 8月9日(金)・10日(土)

第5戦 9月28日(土)・29日(日)

4 DE耐! 公開練習会

9月23日(月・祝)

5 4ストミニバイク走行会

5月22日(水)・6月26日(水)・7月24日(水)・10月29日(火)

※開催日程および開催クラス名称は、変更となる場合がございます。

★「DE耐! 限定会員有効イベント」に2回以上ご参加される方は、入会いただくとお得です。

例えば、DE耐! レースに出場する場合の比較をしてみよう! (例: 公開練習会に参加し、DE耐! 本戦に参加する場合)

	DE耐! 限定会員	非会員
年会費	5,200円	—
MS共済会会費	10,000円	7,000円 × 2回 = 14,000円
レース参加時の登録料	0円	3,200円
合計	15,200円	17,100円

〔入会までの手順〕

- 4ストミニバイク走行会 公開練習日に開催される「安全運転座学」を受講
- 4ストミニバイク走行会 公開練習日に入会手続き

■お問い合わせ

ツインリンクもてぎ TRMC-S事務局

TEL 0285-64-0200 (電話受付時間 10:00 ~ 16:00) FAX 0285-64-0209

DE耐! SIGNAL FLAGS

公式シグナル

<p>国旗</p>  <p>レーススタート (振り降ろされた瞬間にスタートです)</p>	<p>白黒斜分割旗</p>  <p>静止・前方にスロー走行車があることを示す。 振動:スロー走行車と走行ラインが重なる場合。</p>	<p>黄旗(イエローフラッグ)</p>  <p>危険予告 コース上(ランオフエリア含む)に危険がある。 減速・停止準備・追い越し禁止。</p>	<p>白旗(ホワイトフラッグ)</p>  <p>救急車両等の介入車両がある。追い越し禁止。</p>
<p>赤ストライプ付黄旗</p>  <p>雨以外の理由でコース表面が滑りやすい状態。(オイルもれの可能性やコース上に落下物がある場合も含みます)</p>	<p>緑旗(グリーンフラッグ)</p>  <p>・コースクリア ・先に提示された黄旗の解除。 ・レース以外の走行の1周目に各ポストで提示される。 ・サイティング / ウォームアップラップのスタート合図。</p>	<p>赤旗(レッドフラッグ)</p>  <p>すべてのライダーは最大限の慎重さと注意を持ってそれぞれのピットに戻る。</p>	<p>黄旗(イエローフラッグ) + 白地に黒文字のサインボード</p>  <p>SC ボード ベースカー介入によるレースの非競技化 (注意・減速・追い越し禁止)</p>
<p>青旗(ブルーフラッグ)</p>  <p>後方よりベースの速い車両が接近し、追い越される場合に振動提示される。</p>	<p>レドクロス (赤い斜め十字の入った白旗)</p>  <p>コース上のこの付近において、雨が降り始めたことを示す。振動提示される。</p>	<p>レドクロス + 赤ストライプ付黄旗</p>  <p>コース上のこの付近において、雨が降り続けていることを示す。振動提示される。</p>	<p>青旗 + チェッカーフラッグ</p>  <p>トップのライダーはチェッカーを意味するが、直前を走るライダーはもう1周しなければならない。</p>
<p>チェッカーフラッグ</p>  <p>レース終了</p>	<p>黒旗(ブラックフラッグ) + 黒地に白文字サインボード</p>  <p>サインボードで示された番号の競技車両は速やかにピットインする。</p>	<p>ペナルティーストップボード</p>  <p>STOP 31 ボード サインボードで示された番号の競技車両は、速やかにピットインし一旦停止のペナルティを受ける。ピットイン時にピットや給油所に立ち止まらず、ピットレーンエンドのペナルティーストップエリアに進んでください。</p>	<p>オレンジボール旗 + 黒地に白文字のサインボード</p>  <p>提示されたゼッケンナンバーのライダーは早急にコース上から退去し安全な場所に停止すること。</p>

ライドスルー



RIDE THROUGH
31
ボード
サインボードで示された番号の競技車両は、速やかにピットインし、ピットレーンを通過するペナルティを受ける。ピットイン時に自己のピットには立ち止まらず、ピットレーンを通過してください。

※特に赤旗、オレンジボール旗、黄旗を熟知してください。

“DE耐!” は
みんなで楽しむイベントです。

ツインリンクもてぎ

〒321-3597 栃木県芳賀郡茂木町枡山120-1
TEL.0285-64-0200 FAX.0285-64-0209
<https://www.twinring.jp>



再生紙を使用しています